



Title	BIOSIS利用の手引
Author(s)	青井, 信一; 小林, 一男; 馬野, 元秀
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1989, 74, p. 93-205
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/65846
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

BIOSIS利用の手引

システム管理掛 青井 信一
小林 一男
研究開発部 馬野 元秀

第1版

1989年8月

目次

第1章 BIOSIS データベースの概要（必ずお読みください）	97
1.1 BIOSIS データベースとは	97
1.2 使用にあたって守っていただきたいこと	98
1.3 データベースの使用料	98
1.4 本手引で使用している記号	98
1.5 第2版に向けて	98
第2章 基本操作	99
2.1 検索に必要な操作	99
2.2 BIOSIS の起動	99
2.3 BIOSIS の終了	103
2.4 検索のおおまかな流れ	104
2.5 検索コマンドの概要	105
2.6 キーワードの表示・通覧（BROWSE）	105
2.7 データの検索（SEARCH）	108
2.8 データの表示（DISPLAY）	113
第3章 コマンド解説	117
3.1 BIOSIS の呼び出しとオプション	117
3.1.1 BIOSIS の呼び出し	117
3.1.2 オプション	118
3.2 BROWSE コマンド	119
3.2.1 応答形式	119
3.2.2 注意事項	121

3.2.3 実行例	121
3.3 SEARCH コマンド	122
3.3.1 キー検索	122
3.3.2 データ検索	127
3.3.3 実行例	130
3.4 DISPLAY コマンド	135
3.4.1 表示形式	136
3.4.2 応答形式	138
3.4.3 実行例	139
3.5 PRINT コマンド	140
3.5.1 出力形式	140
3.5.2 応答形式	140
3.5.3 実行例	142
3.6 OPTION コマンド	143
3.6.1 E (End) ・ オプションの終了	144
3.6.2 HI (History) ・ 質問式履歴の通覧	145
3.6.3 IS (Inquiry save) ・ 質問式のファイルへの保存	145
3.6.4 ME (Message) ・ システムからのメッセージ出力の制御	146
3.6.5 PA (Pause) ・ 阪大形式表示中の一旦停止	147
3.6.6 SO (Sort) ・ BIOSIS 抄録番号での並び替え	149
3.6.7 LL (Line length) ・ 表示文字長の変更	149
3.6.8 CA (Capital) ・ 英大文字表示	150
3.6.9 JM (Japanese message) ・ 日本語表示	150
3.6.10 LF (List file) ・ ファイル内容表示	151
3.6.11 DF (Delet file) ・ ファイルの削除	152
3.6.12 LC (List catalog) ・ カタログ下のファイル名表示	152
3.6.13 NE (News) ・ お知らせ表示	152
3.7 HELP コマンド	153
第4章 知っている便利な機能	154
4.1 BIOSIS 起動時のオプションとオプションファイル	154
4.2 検索中の他のコマンドの利用	154
4.3 毎回決まった質問式で検索したい (質問式のファイルからの入出力)	155
4.4 検索したい文字列があいまいである	157
4.5 ファイルの名前を忘れた	158
4.6 いつも決まった特定項目のみを表示したい	158
4.7 最新のデータから表示したい	159
4.8 一行で質問式が入力できない	160
4.9 表示・プリントコマンド中の入力誤り	160
4.10 その他の便利な機能	160

第5章 BIOSIS Previews データベースの構造	161
5.1 データベースの項目と抽出・登録されているキーワード	161
5.1.1 BA と BA/RRM の項目と内容	161
5.1.2 項目 BN	161
5.1.3 項目 CD	162
5.1.4 項目 TI	163
5.1.5 項目 AU	165
5.1.6 項目 OG	165
5.1.7 項目 S1	166
5.1.8 項目 S2	166
5.1.9 項目 VL	167
5.1.10 項目 IS	167
5.1.11 項目 PG	167
5.1.12 項目 YR	167
5.1.13 項目 LG	168
5.1.14 項目 AW	169
5.1.15 項目 CC	169
5.1.16 項目 BC	170
5.2 データはいつ更新されているか	171
5.3 BIOSIS ABSTRACTS 印刷冊子体	172
第6章 注意しなければならない点	173
6.1 最初のヘッダーメッセージがおかしな文字になる	173
6.2 カレントデータと最新年のデータ	174
6.3 応答時間の短縮	174
6.4 データ更新中の利用	174
6.5 BROWSE データでの検索	174
6.6 入力してはいけない文字	175
6.7 IBM 機種からのネットワークでの利用	175
6.8 制限事項	175
第7章 端末の操作法	176
7.1 端末の接続（ログオンの手順）	176
7.2 端末の切断（ログオフ）	184
7.3 ネットワークを経由しての利用	184
7.4 端末の自動切断	186
7.5 TSS が利用できない（TSS のエラーメッセージ）	186
7.6 ブレイク処理（中断）	187

第8章 利用に必要な手続きと負担金	188
8.1 利用申請	188
8.2 端局設置申請	188
8.3 利用負担金	188
8.4 利用負担額の表示と問い合わせ	191
8.5 予算額チェックの方法	191
8.6 ネットワーク経由での負担金	192
第9章 エラーメッセージ（検索中）	192
9.1 エラーの調べ方	192
9.2 エラーメッセージ	192
問い合わせ先	197
参考文献	197
付録	197
ABBREVIATIONS	197
BIOSIS PREVIEWS Commonly used Author Address Abbreviations	201
アルファベット順索引	203
五十音索引	203

第1章 BIOSIS データベースの概要 (必ずお読みください)

1.1 BIOSIS データベースとは

BIOSIS (BioSciences Information Service) は 1926 年に創立された機関で、所在はアメリカ合衆国ペンシルバニア州フィラデルフィアにあります。BIOSIS の協力学会としては、AAAS(American Association for Advancement of Science)、NAS(National Academy of Sciences)、AIBS(American Institute of Biological Sciences)、FASEB(Federation of American Societies for Experimental Biology)、ASM(American Society of Microbiology)などがあります。

BIOSIS データベースとは、正確には BIOSIS Previews といい、Biological Abstracts(BA) 1969-、Biological Abstracts/Reports, Reviews, Meetings (BA/RRM) 1980-、と BioResearch Index 1969-1979 のデータに基づく計算機可読形態(磁気テープ)のデータです。

BA および BA/RRM は、この BIOSIS が発行する、生物学、生物医学分野の学術資料で、このデータはオリジナルな発行物の書誌情報と BIOSIS 編集スタッフにより追加された書誌情報とからなっています。1927 年以来、BA および BA/RRM の蓄積データは 800 万件近い数字になります。BA は 100カ国以上で出版されている 9,000 点を越える出版物(学術雑誌、学術論文等)がカバーされている抄録誌で、収録文献は年間 20 万件に及んでいます。一方、書籍、レポート、総説、会議録、年次報告、単行本の章といった形態の出版物の情報は BA/RRM に収録され、BA とは重複していません。

BIOSIS Previews は印刷体の BA および BA/RRM に対応し、そのデータは BA と BA/RRM の発行番号(巻番号および参照番号)、論文標題、著者名、著者所属機関、略誌名、巻号、発行年、使用言語コード、CODEN 等で構成されており、さらに、文献の主題事項を記述するためのディスクリプタ、概念コード、生物分類コードが加えられています。

BIOSIS Previews の発行頻度は、BA、BA/RRM とともに 2 回で、年間では両方合わせて 48 回発行されています。タイムラグは一次資料の発行から 2 ヶ月程度で、印刷体の BA よりもおおよそ 5 週間程度早いといわれています。

センターでは 1980 年からのデータを揃えています。抄録は購入していません。

収録内容、収録源、収録地域などをまとめると、次のようになります。

収録内容

航空宇宙生物学	生物工学	環境生物学	寄生虫学	系統生物学
農学	生物物理学	実験医学	病理学	毒物学
解剖学	生物化学技術	遺伝学	薬理学	獣医学
細菌学	植物学	免疫学	生理学	ビールス学
行動科学	細胞生物学	微生物学	公衆衛生学	動物学
生化学	臨床医学	栄養学	放射線生物学	

収録源

定期刊行物、専攻論文、単行本、レビュー、技術レポート、会議録、学名命名法、ノート、手紙、年報、米国特許、書誌、ガイド

収録地域

欧州・中東 47%、北米 28%、アジア・オーストラレーシア 16%、中南米 6%
アフリカ 3% (1988 年)

1.2 使用にあたって守っていただきたいこと

この BIOSIS のデータは著作権法により保護されています。BIOSIS 社に無断でフロッピーディスク等にデータをコピーしないでください。

1.3 データベースの使用料

BIOSIS 社に毎月多額のデータベース使用料を支払っています。この使用料は、

- ・ データベースへの端末の接続時間
- ・ 検索したデータを端末へ表示した件数
- ・ 検索したデータをプリンタに出力した件数

の3つからなります。

利用者の方には、データベースの使用料としては特に負担してもらっていませんが、BIOSIS 社への使用料の支払いをできるだけ少なくするため、『検索したデータを端末あるいはプリンタに出力する際、不要なデータを出力しないよう』御協力お願い致します。利用者が支払わなければならないセンターへの負担金については、第8章 利用に必要な手続きと負担金 の項を参照してください。

1.4 本手引で使用している記号

⇒ 第3章 印刷してみましょう

参照ページを示しています。この例は、第3章の印刷してみましょうの項を参照することを意味します。

☐ (キャリッジリターン)

キャリッジリターン キーを1回押すことを意味します。端末によってこの表示は様々です。文字入力の後には、必ず ☐ キー を押さなければなりません。

☐ PC-9801 (ASTERプログラム)

☐ N6500/N6200モデル

この他、復帰、RETURN 等の表示の端末もあります。

☐ (ブレイクキー)

中断処理を行います。端末によって操作は異なります。

␣ (空白) スペース キーを1回押すことを意味します。

— (下線) 下線は利用者が端末からキー入力する部分です。

☐ 補足および注意事項です。知っておくと便利な場合があります。

1.5 第2版に向けて

この利用の手引は、データベース担当者が計算機利用の初心者を対象に作成しました。しかし、文献検索や BIOSIS データベースの内容についてはまったくの素人であり、使用例や具体例の箇所ではあまり適切な検索例を掲載することができませんでした。この手引きを読まれた方々の中には、もっとこういう使用例を載せた方がよい、という意見が多々あると思われます。適当な例がありましたら、ぜひご連絡ください (☎ 06-877-5111内線 2823, 2834)。実際に即した様々な有効な具体例が掲載され、大幅に改版された第2版ができればと思っています。

第2章 基本操作

実行例をもとに BIOSIS 検索システムの呼び出しから検索・データの表示までの説明を行ないます。この章をお読みになれば一応の検索はできると思われますが、一度は個々のコマンド¹⁾の詳細、第3章 コマンド解説、第5章 BIOSIS Previews データベースの構造もお読みください。

2.1 検索に必要な操作

利用者は TSS²⁾と接続した後、BIOSIS データベース検索システムを呼び出し、検索を行います。

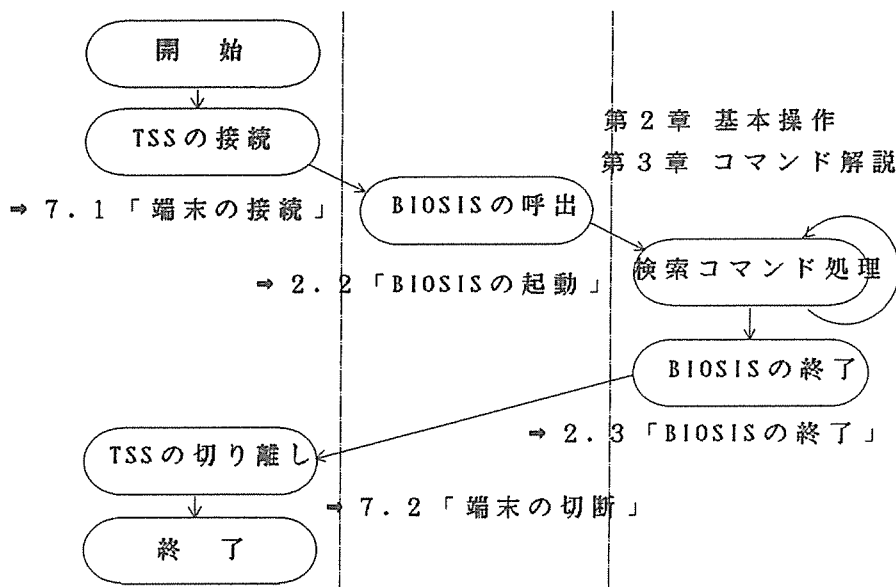


図 2.1 端末操作の概略

2.2 BIOSIS の起動

① 端末を大阪大学大型計算機センターの TSS と接続します (⇒ 第7章 端末の操作法)。

利用する端末の属性にあった次のコマンドのうちの1つを入力します。

<u>\$\$\$CON, TSS., KNJ</u>		漢字を表示可能な端末の接続方法
<u>\$\$\$CON, TSS., JIS</u>		英大文字の表示可能な端末の接続方法
<u>\$\$\$CON, TSS., ASC</u>		英小文字の表示可能な端末の接続方法

¹⁾ コマンドとは、計算機に仕事をさせるための命令であり、いろいろなコマンドがあります。

²⁾ TSS (Time Sharing System) とは、時分割処理方式ともいわれ、コンピュータの処理時間を小さく分割し、各利用者に順番に割り当て、各利用者がそれぞれあたかも計算機を占有して利用しているかのように見えるシステムのことです。これにより、遠隔地に散在する多数の端末から、コンピュータ システムを同時に利用できるようになります。

次のメッセージが表示され入力待ちとなります。

```
HANDAI TSS(R4.0) ON 11/24/88 AT 9:59:10 CHANNEL 0764 LU=F235007U
USER ID -
```

②利用者番号と支払いコードを入力します。

利用者番号と支払いコードを；（セミコロン）で区切って入力します。

```
HANDAI TSS(R4.0) ON 11/24/88 AT 9:59:10 CHANNEL 0764 LU=F235007U
USER ID - A60000;A
```

文字を入力した後は必ず $\square$ キーを押します。下線は利用者が入力した文字を表わしています。
以後、 $\square$ キーの表示は省略します。

パスワードの問い合わせがありますので、利用者番号に設定してあるパスワードを入力します。

```
PASSWORD--
パスワード
```

なお、パスワードは、入力しても表示されないもの、 $\square$ キーを入力してから別の文字で消されるものなど、後からみてわからないようになります。

パスワードが受け付けられるとシステムと正常に接続されました。次に何を実行するのかの問い合わせがあります。

```
SYSTEM ? ..... サブシステムの選択
```

③ BIOSIS システムを呼び出します。

サブシステム選択箇所 で BIOSIS 呼び出しコマンド BIOS を入力します*。

```
SYSTEM ? BIOS
```

④ BIOSIS システムが呼び出されると次の見出しが表示され入力待ちとなります。

```
*****
```

```
* BIOSIS データベース *
* 著作権で保護されていますので、フロッピーディスクなどに *
* 検索データを保存しないでください。 *
* 検索システム 第3. 1版 89/07/03 *
* レコードセット89 : 89/05/06 修正 *
* カレントレコードセット : 89/05/02 修正 *
```

```
*****
```

```
データベース名は<B(BA)/R(RRM)/N(ニュース)/F(終了)>? ..... データベースの選択
```

* BIOSIS データベースを呼び出すコマンドは、SYSTEM ? がでているときのほか * がでているときにも入力できます。‘BIOS’の文字列を誤って入力した場合、次のいずれかのエラーメッセージが出力され再度入力待ちとなります。正しい文字列を入力してください。

```
TCMD100 E 指定システム コマンドは存在しません
```

```
TCMD101 E 指定コマンドは存在しません
```

```
TCMD100 E SYSTEM UNKNOWN
```

```
TCMD101 E COMMAND UNKNOWN
```

この入力要求は、BA あるいは RRM データベースを利用するのか、またはお知らせを表示するのか、の問い合わせです。

BA データベースを使用するのであれば、	‘ B ’	}	このまま読み続けてください
RRMデータベースを使用するのであれば、	‘ R ’		
お知らせを表示するのであれば、	‘ N ’		⑥へ進んでください
検索システムを終了させるのであれば、	‘ F ’		「2.3 BIOSIS の終了」へ

を入力します。

データベース名は<B(BA)/R(RRM)/N(ニュース)/F(終了)>? B BA データベースを選択
(⇒第5章 BIOSIS Previews データベースの構造)

なお、見出しのメッセージの6、7行目に注意してください。毎月初めにデータの登録作業を行っています。この例では5月6日と5月2日にデータが更新されています。データ更新中は次のメッセージが表示されていますので、レコードセット選択箇所(次の⑤)で更新中のレコードセットを選ばないでください。

更新中のメッセージ

*	レコードセット 8 9	:	更新中	*
*	カレントレコードセット	:	更新中	*

■ ここでは日本語の端末を使用していますので、メッセージが日本語で表示されています。日本語端末かどうかはシステムが自動的に判別します。PC-9801 等を使用している場合には、日本語が表示できるもの(ASTER 端末プログラムなど)でも、自動判別ができません。このときには英字メッセージの検索システムが起動されますが、コマンドに追加指定をすることにより、日本語用の検索システムを呼び出すこともできます(⇒3.1 BIOSIS の呼び出しとオプション)。以降、日本語のメッセージで説明しますが英字メッセージの検索システムでも使用法はまったく変わりません。

⑤ データベースを選択すると、次のメッセージが表示され入力待ちとなります。

No	レコードセット名	補足説明
#01	BA80	1980. VOL. 69 & VOL. 70 : 165000REC
#02	BA81	1981. VOL. 71 & VOL. 72 : 170016REC
#03	BA82	1982. VOL. 73 & VOL. 74 : 175008REC
#04	BA83	1983. VOL. 75 & VOL. 76 : 185016REC
#05	BA84	1984. VOL. 77 & VOL. 78 : 193008REC
#06	BA85	1985. VOL. 79 & VOL. 80 : 220008REC
#07	BA86	1986. VOL. 81 & VOL. 82 : 235000REC
#08	BA87	1987. VOL. 83 & VOL. 84 : 250000REC
#09	BA88	1988. VOL. 85 & VOL. 86 : 260000REC
#10	BA89	1989. VOL. 87 ISSU 01-04 : 41894REC

レコードセット番号は? レコードセットの選択

検索の対象とするデータの集合を選択します。1980年のデータから、1年単位でまとめられています(1つのまとまりをレコードセットと呼びます)。上記メッセージの補足説明の項には登録されている BIOSIS Previews の巻・号とデータの件数(文献数)が表示されています。各レコードセットに表示されている西暦年は BIOSIS 社がデータを作成した年であり、登録されている文献の発行された年ではありません(文献の発行された年は項目 YR に登録されています)。

⇒5.1 データベースの項目と抽出・登録されているキーワード

検索したいレコードセットの番号を入力します。

1980年のデータだけを検索するのであれば、 ' 1 '
1980年から1989 年までのデータを検索するのであれば、 ' 1-10 '
80年、85年のデータだけを検索したいのであれば、 ' 1,6 '
最新のデータだけを検索したいのであれば、 ' 11 '
データベースを切り替えるのであれば、 ' E '
データが更新中などで検索を終了させるのであれば、 ' F '

を入力します。

レコードセット番号は? 1-10

ここでは 1980 年～ 1989 年までのデータを選択しています。複数のレコードセットを指定した場合は次のメッセージが表示され検索できる状態になります。また、1つのレコードセットの番号のみを入力した場合は、再びレコードセット選択要求が行なわれますので、追加する必要がある場合は ☐ キーを押します。

[レコードセット番号は(キャリッジリターンで次に進みます)? ☒

次のメッセージが表示され検索可能な状態となります。

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),

データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F/? 検索コマンドの入力

これで BIOSIS 検索システムの呼び出しが完了し、検索可能な状態になりました。

⌘ レコードセット BA89 (またはRRM89) と BACURR (RRMCURR) を同時に選択しないでください。一部同じデータが登録されていますので、データが二重に検索される場合があります。⇒6.2 カレントデータと最新年のデータ

⑥お知らせを表示します。

データベース選択箇所では 'N' を入力すると BIOSIS に関するセンターからのニュースを見ることができます。BIOSIS 検索システムのバグ(プログラムの不具合・不良点)、データの登録状況等が登録されています。(⇒3.6.13 NE (News) ・お知らせ表示)

【実行例】 BIOSIS 起動時の一連の応答を次に示します。

SYSTEM ? BIOS

```
*****
* BIOSIS データベース *
* 著作権で保護されていますので、フロッピーディスクなどに *
* 検索データを保存しないでください。 *
* 検索システム 第3. 1 版 89/07/03 *
* レコードセット89 : 89/05/06 修正 *
* カレントレコードセット : 89/05/02 修正 *
*****
```

データベース名は <B(BA)/R(RRM)/N(ニュース)/F(終了)>? B

しばらくお待ちください

NQ レコードセット名 補足説明

#01 BA80	1980. VOL. 69 & VOL. 70	: 165000REC
#02 BA81	1981. VOL. 71 & VOL. 72	: 170016REC
#03 BA82	1982. VOL. 73 & VOL. 74	: 175008REC
#04 BA83	1983. VOL. 75 & VOL. 76	: 185016REC
#05 BA84	1984. VOL. 77 & VOL. 78	: 193008REC
#06 BA85	1985. VOL. 79 & VOL. 80	: 220008REC
#07 BA86	1986. VOL. 81 & VOL. 82	: 235000REC
#08 BA87	1987. VOL. 83 & VOL. 84	: 250000REC
#09 BA88	1988. VOL. 85 & VOL. 86	: 260000REC
#10 BA89	1989. VOL. 87 ISSU 01-04	: 41894REC
#11 BACURR	CURR VOL. 87 ISSU 03-04	: 20914REC

レコードセット番号は? 10

レコードセット番号は (キャリッジリターンで次に進みます)? ☒

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),

データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>?

2.3 BIOSIS の終了

検索システムを終了させる場合は、検索コマンド入力箇所またはデータベース選択箇所では ' F ' を入力します。

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),

データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? F

BIOSIS データベース終了

SYSTEM ?

終了メッセージとともに検索システムが終わります。 TSS と接続時の SYSTEM? にもどりますので、これ以上計算機を使用しないのであれば ' BYE ' コマンドを入力し、端末をシステムから切り離します。(⇒7.2 端末の切断)

SYSTEM ? BYE

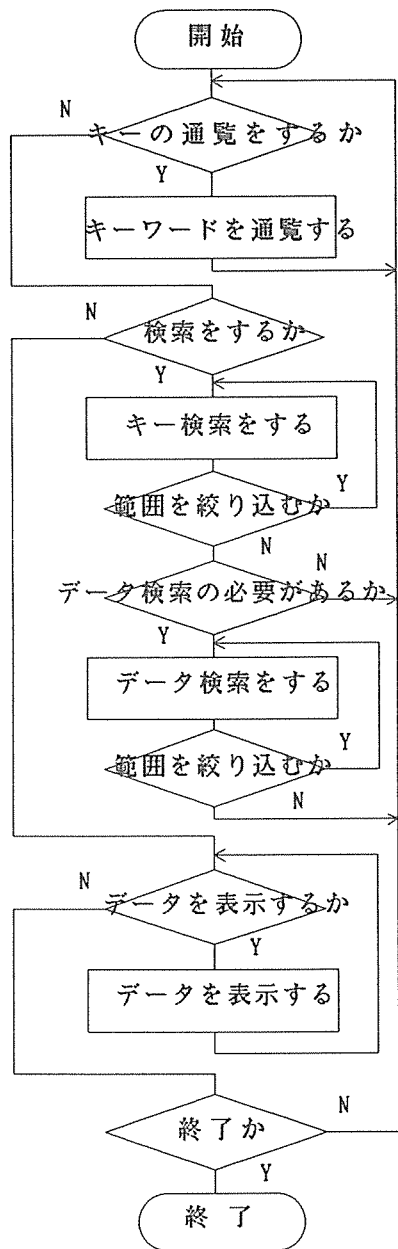
**USED RESOURCE.....CPU=1SEC CON=0.6MIN T-ID= 7U

**COST: ¥7

\$ N1041 11:38:22 DIS - CP DACPRG

2.4 検索のおおまかな流れ

文献は、データベースに登録されるときに項目（標題、著者名など）ごとに検索の鍵となる言葉（キーワード）が登録されています（⇒第5章 BIOSIS Previewsデータベースの構造）。検索する前に探したいキーワードがどのように登録されているかを BROWSE コマンドで確認でき、SEARCH コマンドで検索を行い、DISPLAY コマンドで検索結果を表示します。データベースに対する検索の基本的な流れを次に示します。



..... BROWSE コマンド

ある項目で検索したいデータとよく似たキーワードがどのように登録されているか、確認します。

⇒ 2.6 キーワードの表示・通覧

⇒ 3.2 BROWSE コマンド

..... SEARCH コマンド

必要な文献を検索します。これには、キー検索とデータ検索があります。

キー検索とは抽出されているキーワードを検索するもので、検索が比較的早くできます。

⇒ 2.7 データの検索

⇒ 3.3.1 キー検索

データ検索とは、ある検索結果の集合のデータを逐一探すもので、非常に時間はかかりますが、きめ細かい検索ができます。

⇒ 3.3.2 データ検索

..... DISPLAY コマンド

検索したデータを端末に表示します。

⇒ 2.8 データの表示

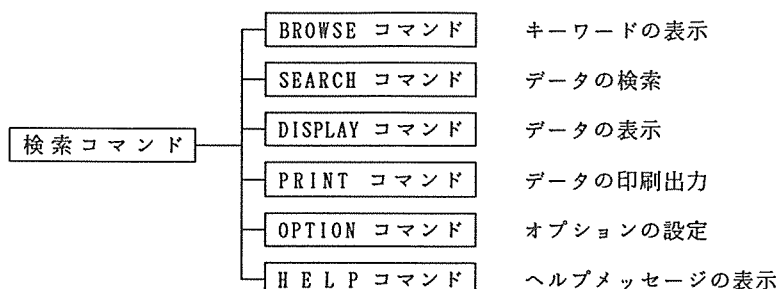
⇒ 3.4 DISPLAY コマンド

検索したデータをセンターのプリンタに出力することもできます。

⇒ 3.5 PRINT コマンド

2.5 検索コマンドの概要

BROWSE, SEARCH, DISPLAY, PRINT コマンドに加えて、OPTION, HELP コマンドがあり、検索コマンドは次のようになります。



■ DISPLAYとPRINT コマンドは検索後でないと使用できません。検索コマンドは TSS コマンドではありませんので、SYSTEM ? や * の箇所では入力できません。もし誤って入力した場合は、TCMD 100 E 指定システムコマンドは存在しません、あるいは TCMD101 E 指定コマンドは存在しません、のエラーメッセージが出力され、SYSTEM ? または * にもどり再度入力待ちとなります。ただし、TSS コマンドの中にも機能は違いますが PRINT コマンドがあります。誤ってPRINTコマンドを入力した場合は問い合わせに回キーを押します。

2.6 キーワードの表示・通覧 (BROWSE)

各項目*で抽出・登録されているキーワード（検索の鍵となる言葉）を表示します。このキーワードの表示・通覧は、抽出されているキーワードを表示するだけのものです。文献データを表示するためには必ず検索しなければなりません。

①検索コマンド入力箇所、BROWSE コマンド 'B' を入力します。

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),
データベース切替(E), 終了(F)
<B/S/D/P/O/E/F>? B BROWSE コマンド入力

②項目名の問い合わせがありますので、
表示したい項目名を入力します。

項目名は? AW

(⇒ 5.1.1 BA と BA/RRM の項目と内容)

(⇒ 5.1.14 項目 AW)

③キーワードの問い合わせがありますので、
表示したい任意の文字列を入力します。

* ■ 項目には次のものがあります。

BN: BIOSIS 抄録番号

TI: BIOSIS 編集文献標題

AU: 著者

OG: 著者所属機関、住所

CD: 雑誌コード (CODEN, NUMBEN)

S1: 掲載雑誌名、標題 (S2 の前 40 文字)

S2: 掲載雑誌名または標題

VL: 巻番号

YR: 発行年

キーワードは? HORMONE

抽出・登録されているキーワードと件数、
ならびに番号（語番号と呼びます）の表示
が始まります。

IS: 号番号

PG: ページ

LG: 使用言語コード

AW: BIOSIS 付加語

BC: 生物分類コード

CC: 概念コード

番号	件数	キーワード (項目名=ADWD)
%001	2	HORDEUM-SPONTANEUM
%002	13	HORDEUM-VULGARE
%003	1	HORDEUM-VULGARE-VAR-DISTICHUM
%004	1	HORIZON
%005	4	HORIZONTAL
%006	1	HORIZONTAL-BAR
%007	17	HORMONAL
%008	217	HORMONE
%009	1	HORMONE-DEPENDENT
%010	141	HORMONE-DRUG
%011	1	HORMONE-RECEPTOR
%012	1	HORMONE-RESISTANT
%013	1	HORMONE-SENSITIVE
%014	1	HORMONE-STIMULATED
%015	11	HORMONES

表示を続けますか <Y(はい)/N(いいえ)/E(項目名切り替え)>? 継続要求

このように入力したキーワードの前後7個ずつが表示されます（入力したキーワードが登録されていなくてもかまいません）。最後に続けるかどうかの問い合わせがあります。

☐ 語尾が変化している単語もそのまま抽出されています。特殊文字が含まれている場合もあります。検索するときは注意してください。項目によって抽出の仕方が異なります。

⇒ 5.1 データベースの項目と抽出・登録されているキーワード

④表示を継続する場合は‘Y’、終了する場合は‘N’、項目名を変更する場合は‘E’を入力します。

表示を続けますか <Y(はい)/N(いいえ)/E(項目名切り替え)>? N

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),

データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>?

‘Y’を入力した場合は次の15個が表示されます。‘N’で検索コマンド要求箇所、‘E’で項目名入力の箇所に戻ります。Y,N,E以外の文字列が入力されると同じ項目名でのキーワード入力とみなされます。

【実行例】 付加語 (AW) と著者名 (AU) のキーワードを表示しています。

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),
データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? B

項目名は? AW

キーワードは? HORMONE

番号	件数	キーワード (項目名=ADWD)
%001	2	HORDEUM-SPONTANEUM
%002	13	HORDEUM-VULGARE
%003	1	HORDEUM-VULGARE-VAR-DISTICHUM
%004	1	HORIZON
%005	4	HORIZONTAL
%006	1	HORIZONTAL-BAR
%007	17	HORMONAL
%008	217	HORMONE
%009	1	HORMONE-DEPENDENT
%010	141	HORMONE-DRUG
%011	1	HORMONE-RECEPTOR
%012	1	HORMONE-RESISTANT
%013	1	HORMONE-SENSITIVE
%014	1	HORMONE-STIMULATED
%015	11	HORMONES

表示を続けますか <Y(はい)/N(いいえ)/E(項目名切り替え)>? Y

%016	6	HORN
%017	2	HORNBEAM
		}

%029	1	HOSPITALS
%030	94	HOST

表示を続けますか <Y(はい)/N(いいえ)/E(項目名切り替え)>? E

項目名は? AU

キーワードは? YAMADA

番号	件数	キーワード (項目名=AUTH)
%031	1	YAKUSHEVA L A
		}
%037	1	YAMABE T
%038	2	YAMADA A
%039	1	YAMADA C
%040	6	YAMADA H
%041	1	YAMADA I
%042	17	YAMADA K
%043	2	YAMADA K M
%044	7	YAMADA M

表示を続けますか <Y(はい)/N(いいえ)/E(項目名切り替え)>? N

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),
データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>?

2.7 データの検索 (SEARCH)

抽出・登録されているキーワードと利用者が入力した質問式の条件に一致するものを高速に検索します。

① 検索コマンド要求箇所、SEARCH コマンド 'S' を入力します。

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),

データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? S SEARCH コマンド入力

② 質問式の問い合わせがありますので質問式を入力します。

入力した条件に合致した文献があれば、その文献数とその集合に割り当てられた番号(質問式回答番号という)が表示され、再び質問式は? の問い合わせが行なわれます。

質問式は? SMOKE

0 1 5 4 3 件 割り当てられた質問式回答番号とその件数

質問式は?

この例では 'SMOKE' というキーワードをすべての項目を対象に検索します。この質問式回答番号は文献をさらに絞り込む場合や文献を表示あるいは印刷する場合に使用します。

質問式はこの例のように探したいキーワードのみを指定する方法と、次のようにある項目とキーワードを指定する方法があります。

TI=SMOKE 項目 TI の中に 'SMOKE' が含まれる文献を探します

AW=SMOKE 項目 AW の中に 'SMOKE' が含まれる文献を探します

登録されているデータが条件と一致した場合に、質問式とデータがヒットしたといいます。

また、キーワードがあやふやな場合、前方一致検索(文字列の後ろに '\$' を付け \$ 以後は比較の対象としない)が使用できます。

TI=MOLECU\$ MOLECU, MOLECULAR, MOLECULAR-GENETIC, MOLECULARY, MOLECULE,

MOLECULES 等 MOLECU で始まるキーワードを持つ文献を探します

AW=CHLOROPHYLL\$ CHLOROPHYLL, CHLOROPHYLL-DEFICIENT, CHLOROPHYLL-PROTEIN,

CHLOROPHYLLASE, CHLOROPHYLLIDE 等

ただし、思ってもみないデータがヒットすることがありますので注意してください。

質問式の中に次の特殊文字を含む場合、' または ' で囲む必要があります。

特殊文字

␣ () + * / ^ = < > : ; , - ' " ␣はスペース

特殊文字を含む検索例

AU='YAMADA␣T'

TI="ANTINEOPLASTIC-DRUG"

もう1つ便利な機能として隣接 (ADJ) するキーワードを検索することもできます。項目を指定して隣接するキーワードを ‘:’ でつなぎます。ただし、これは項目 TI, AW, S2, OG でしか利用できません。

質問式は? TI ADJ MOLECULAR: BIOLOGY

0 2 1 2 件

質問式は?

前後が逆の ‘ BIOLOGY MOLECULAR ’、および間に不要語 (⇒ 5.1.4 項目 TI) が入っている文献もヒットします。

また、事前に BROWSE コマンドが実行されている場合は、通覧時の語番号を使用することもできます。

質問式は? %8

0 3 2 1 7 件

質問式は?

いままで検索した結果からもっとデータを絞り込みたい場合は、絞り込みたい質問式回答番号の前に#を付加して論理演算子を使用し、質問式を作成します。

質問式は? #2 AND TI = HORMONS

0 4 7 件

質問式は?

論理演算子には論理積 (AND) のほかに論理和 (OR)、否定 (NOT) があります。

③ 検索を終了する場合は  キーのみを押します。検索コマンド入力箇所に戻ります。

質問式は?  検索終了

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),

データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>?

【実行例1】

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),

データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? S SEARCH コマンド入力

質問式は? SMOKE 全ての項目を対象に ‘ SMOKE ’ を探します

0 1 5 4 3 件 543 文献見つかり、その集団に1の質問式回答番号が割り当てられた

質問式は? TI=SMOKE OR AW=SMOKE 項目TI と AW のいずれかに ‘ SMOKE ’ を含む文献を探します

0 2 5 4 3 件 その集団に質問式回答番号2が割り当てられた

質問式は? TI=SMOKE AND AW=SMOKE 項目TI と AW のどちらにも ‘ SMOKE ’ を含むものを探します

0 3 1 3 件 13 文献見つかりました

質問式は? ☒ 検索の終了

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),

データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? B BROWSE コマンド入力

項目名は? TI

キーワードは? CIGAR 'CIGARETTE' という単語がどの様に登録されてい

番号 件数 キーワード (項目名=TITL) るかを調べます

%001 1 CIESZYNSKIE

%002 1 CIEZKOWICE

%003 5 CIF

%004 1 CIFENLINE

%005 2 CIFERRI

%006 1 CIFUNA

%007 2 CIGAJA

%008 10 CIGAR

%009 2 CIGAR-WRAPPER

%010 681 CIGARETTE

%011 1 CIGARETTE-FADING 'CIGARETTE' ではヒットしません

%012 1 CIGARETTE-INDUCED

%013 4 CIGARETTE-SMOKE 'SMOKE' ではヒットしません

%014 3 CIGARETTE-SMOKING

%015 68 CIGARETTES

表示を続けますか <Y(はい)/N(いいえ)/E(項目名切り替え)>? N

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),

データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>?

質問式は? TI=CIGARS\$ OR AW=CIGARS\$ 項目 TI または AW で 'CIGAR' で始まる文献

0 4 1 2 0 6 件 (CIGAR を含む)を探します。\$ の記号はその箇所
にどのような文字列があってもよいことを意味します。
語尾変化に気をつける必要があります。

質問式は? TI=%10 OR AW=%10 ブラウズで通覧したキーワードを使用する場合は

0 5 1 0 9 7 件 ' % 語番号 ' を指定します。

質問式は? TI=%10 OR TI=%15 ' TI=CIGARETTE OR TI=CIGARETTES ' と同じ。

0 6 7 4 3 件

質問式は? #2 AND #6

0 7 5 3 件

質問式は? ☒

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),

データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>?

【実行例 2】

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),

データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? B

項目名は? T1

キーワードは? LOCUS

番号 件数 キーワード (項目名=TITL)

%001	1	LOCULATION
%002	1	LOCULATIONS
%003	4	LOCULE
%004	1	LOCULOASCOMYCETE
%005	10	LOCULOASCOMYCETES
%006	1	LOCULOASCOMYCETOUS
%007	1	LOCULUS
%008	2968	LOCUS
%009	1	LOCUS-EQUIVALENT
%010	1	LOCUS-INDUCED
%011	1	LOCUS-OF-CONTROL
%012	2	LOCUS-RESTRICTION
%013	7	LOCUS-SPECIFIC
%014	1	LOCUS-TWO
%015	667	LOCUST

表示を続けますか <Y(はい)/N(いいえ)/E(項目名切り替え)>? E

項目名は? AW

キーワードは? LOCUS

番号 件数 キーワード (項目名=ADWD)

%016	6	LOCULI
%017	1	LOCULIBAIRDIA-TRIANGULATA
%018	1	LOCULIBOLBINA-UNICA
%019	6	LOCULICIDAL
%020	5	LOCULOASCOMYCETES
%021	1	LOCULOASCOMYCETIDAE
%022	5	LOCULUS
%023	2550	LOCUS
%024	1	LOCUS-ALLELE
%025	2	LOCUS-ASSOCIATED
%026	1	LOCUS-INDEPENDENT
%027	1	LOCUS-LINKED
%028	1	LOCUS-OF-CONTROL
%029	2	LOCUS-SPECIFIC
%030	189	LOCUST

表示を続けますか <Y(はい)/N(いいえ)/E(項目名切り替え)>? N

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),
データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? S

質問式は? T1=%8 OR AW=%23

0 1 5 3 2 0 件

質問式は? ☒

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),
データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? B

項目名は? TI

キーワードは? COERULEUS

番号 件数 キーワード (項目名=TITL)

%031	1	COERULEA	
%032	1	COERULEAL	ラテン語の語尾変化のある同類の単語があるようです
%033	2	COERULEI	
%034	1	COERULEO-CORTICAL	
%035	1	COERULEO-SPINAL	
%036	2	COERULEOHIPPOCAMPAL	
%037	1	COERULEOSPINAL	
%038	441	COERULEUS	
%039	1	COERULEUS-INDUCED	
%040	1	COERULEUS-MEDIATED	
%041	1	COERULEUS-ORIGINATING	
%042	2	COERULO	
%043	2	COERULOSPINAL	
%044	1	COESTINOL	
%045	1	COETSIN	

表示を続けますか <Y(はい)/N(いいえ)/E(項目名切り替え)>? CERULEUS

番号 件数 キーワード (項目名=TITL)

%046	2	CERULENIN-PRODUCING	
%047	1	CERULENIN-RESISTANT	さらに同意の別の綴り CERULEUS についても通覧
%048	4	CERULEO	
%049	1	CERULEO-CEREBELLAR	
%050	1	CERULETID	
%051	58	CERULETIDE	
%052	3	CERULETIDE-INDUCED	この単語の文献もあるようです。したがって、
%053	38	CERULEUS	CORERULE~,または CERULE~を探さなければなら
%054	327	CERULOPLASMIN	ないようです。
%055	1	CERULOPLASMIN-LIKE	
%056	1	CERULOPLASMIN-TRANSFERRIN	
%057	2	CERULOPLASMINEMIA	
%058	1	CERULOPLASMIN	
%059	11	CERUMEN	
%060	1	CERUMINAL	

表示を続けますか <Y(はい)/N(いいえ)/E(項目名切り替え)>? N

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),

データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? S

質問式は? TI=COERULE\$ OR AW=COERULE\$ 検索で語尾が何でも良いときには '\$'

0 2 7 7 6 件 を付加します

質問式は? TI = CERULE\$ OR AW = CERULE\$

0 3 3 1 7 件

質問式は? #02 OR #03

0 4 1 0 9 2 件

質問式は? #01 AND #04

0 5 8 4 7 件

質問式は? TI = SEROTON\$ OR AW = SEROTON\$

0 6 8 5 9 2 件

質問式は? #5 AND #6

0 7 5 2 件

質問式は? ☐

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),

データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>?

■ 実行例 2 の場合、BIOSIS 検索システムを呼び出して、このキー検索が終わるまで比較
的計算機がすいている状態で、およそ 25 分 (応答時間) もかかっています。

2.8 データの表示 (DISPLAY)

検索結果を端末に表示します。次のような検索がすでに行われているものとします。

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),

データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? S

質問式は? TI=GENETIC AND TI=ENGINEERING

0 1 1 3 件

質問式は? TI=GENEMANIPULATION

0 2 2 件

質問式は?

- ① 検索コマンド入力箇所、DISPLAY コマンド 'D' を入力します。

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),

データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? D DISPLAY コマンド入力

- ② 『表示形式は?』の問い合わせに 'B (BIOSIS 形式)', 'H (阪大形式)' または 'D (DATA
710形式)' のいずれかを入力します。(⇒ 3.4 DISPLAY コマンド)

表示形式は Biosis形式(B), 阪大形式(H), Data710形式(D), End, Finish

<B/H/D/E/F>? HC 阪大形式を選択 (⇒ 3.4.2 応答形式)

- ③ 『質問式回答番号は?』の問い合わせに、表示したい検索結果の質問式回答番号を入力します。

質問式回答番号は? 1 回答番号 1 を選択します。省略すれば最新の検索結果が対
象となります。# は付加しないでください。

- ④ 『表示開始位置は?』の問い合わせに、何番目のデータから表示するか、開始番号を入力します。

表示開始位置は? 3 3 件目から表示します。省略すれば最初から表示します。

⑤『表示件数は?』の問い合わせに、データを何件表示するか、表示したい件数を入力します。

表示件数は? 1 1件だけを表示します。省略すれば最後まで表示します。

文献の表示が始まります。途中で表示を中断したい場合、**BREAK**キーを押してください(⇒7.6ブレイク処理)。表示形式の入力箇所に戻ります。ただし、データ表示中以外でブレイク処理が行われると検索システムが終了しますので御注意ください。

また、阪大形式選択時のみ、『概念、生物分類コードを表示しますか?』の問い合わせがありますので、‘Y(表示する)’または‘N(表示しない)’を入力します。

(⇒5.1.15 項目 CC、5.1.16 項目 BC)

CC-number と BC-number を表示しますか <Y(はい)/N(いいえ)>? N

```
PRINT NO.      1      (      3/      13)
BIOSIS_NO.85067581   CODEN= MILCA   LANGUAGE / GE
TITL : CHARACTERIZATION OF RENNET PREPARATIONS PRODUCED BY GE NETIC ENGINEERING
        IN COMPARISON TO CALF RENNET
AUTH : MEISEL H/
ORGA : INST. CHEMIE PHYSIK BUNDESANSTALT MILCHFORSCHUNG, KIEL.
PUBL : MILCHWISSENSCHAFT, VOL. 42, NO. 12, PP. 787-789, 1987
ADWD : CHEESE PROTEOLYSIS DAIRY INDUSTRY CHROMATOGRAPHY SPECTROSCOPY
```

DATA710 形式選択時には、『表示項目名は?』の問い合わせがありますので、表示したい項目名を入力します。複数入力するときはカンマで区切ります。最後に **☐**キーのみを入力します。入力された項目の順番に表示がはじまります。

表示項目名は? BN, TI, AU

表示項目名は? S2

表示項目名は? ☐

0 1 1 3 件

3 / 1 3

BN 85067581

TI CHARACTERIZATION OF RENNET PREPARATIONS PRODUCED BY GENETIC ENGINEERING IN
COMPARISON TO CALF RENNET

AU MEISEL H/

S2 MILCHWISSENSCHAFT

⑥表示が終了すれば『表示形式は?』の箇所に戻りますので、表示を終了するならば‘E’を入力します。

表示形式は Biosis形式(B), 阪大形式(H), Data710形式(D), End, Finish

<B/H/D/E/F>? E

なお、今まで入力した箇所に誤りがあれば‘E’を入力する事により1つ前のレベルに戻ります。

【実行例】

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),
データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? S

質問式は? TI=BIOHAZARD\$ OR AW=BIOHAZARD\$

0 1 3 件

質問式は? ☒

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),
データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? D

表示形式は Biosis形式(B), 阪大形式(H), Data710形式(D), End, Finish

<B/H/D/E/F>? HC

質問式回答番号は? 1

表示開始位置は? ☒ 省略しているので最初から

表示件数は? 2 2件を表示します

CC-number と BC-number を表示しますか <Y(はい)/N(いいえ)>? N

PRINT NO. 1 (1/ 3)

BIOSIS_NO.84019737 CODEN= JMPMA LANGUAGE / EN

TITL : SELECTED BIOHAZARDS OF NATURALLY INFECTED NONHUMAN PRIMATES

AUTH : RENQUIST D M/

ORGA : NATL. INST. HEALTH, DIV. RES. SERV., BUILD. 102, ROOM 102, BETHESDA, MD 2
0892.

PUBL : J MED PRIMATOL, VOL.16, NO.2, PP.91-98,1987

ADWD : HUMAN MYCOBACTERIA CAMPYLOBACTER HUSBANDRY VETERINARY MANAGEMENT

PRINT NO. 2 (2/ 3)

BIOSIS_NO.84052076 CODEN= JCPAA LANGUAGE / EN

TITL : CONTROL OF ORAL ANTICOAGULANT TREATMENT BY CHROMOGENIC PROTHROMBIN ASSAY

AUTH : O'DONNELL J R/ WALKER I D/ DAVIDSON J F/

ORGA : DEP. HAEMATOL., VICTORIA INFIRMARY, GLASGOW G42 9TY, SCOTL., UK.

PUBL : J CLIN PATHOL (LOND), VOL.40, NO.5, PP.500-504,1987

ADWD : HUMAN LONG-TERM TREATMENT PHARMACOKINETICS BIOHAZARD

表示形式は Biosis形式(B), 阪大形式(H), Data710形式(D), End, Finish

<B/H/D/E/F>? D

質問式回答番号は? 1

表示開始位置は? ☒

表示件数は? ☒ 省略しているので全部を表示します

表示項目名は? BN, TI

表示項目名は? AU 今まで入力した箇所に誤りがあれば 'E' を入力する
表示項目名は? S2 ことにより 1 つ前のレベルに戻ることができます。
表示項目名は? ␣ 最後にキャリッジ リターン キーを押します

0 1 3 件

1 / 3

BN 84019737

TI SELECTED BIOHAZARDS OF NATURALLY INFECTED NONHUMAN PRIMATES

AU RENQUIST D M/

S2 J MED PRIMATOL

}

3 / 3

BN 85062529

TI PREVALENCE OF ANTIBODY TO HUMAN IMMUNODEFICIENCY VIRUS AND HEPATITIS B SURFACE
ANTIGEN IN BLOOD SAMPLES SUBMITTED TO A HOSPITAL LABORATORY IMPLICATIONS FOR H
ANDLING SPECIMENS

AU HANDSFIELD H H/CUMMINGS M J/SWENSON P D/

S2 JAMA (J AM MED ASSOC)

表示形式は Biosis形式(B), 阪大形式(H), Data710形式(D), End, Finish

<B/H/D/E/F>? E 表示を終了

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),

データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>?

お 願 い

BIOSIS システムは利用者、利用回数とも大幅に増えてきております。それにともな
って、BIOSIS 社への支払も多額になってきました。この状態が続けば近いうちに、利
用者の方に何らかの負担をしてもらわなければならないかもしれません。

BIOSIS 社への支払い項目では、圧倒的に接続時間が大きな比重を占めています。接
続時間を短縮するためにレコードセットを選択する箇所では、不要なレコードセットを
余分に選択しないようにしてください。また、検索時には、なるべく、データ検索を行
わずにキー検索でデータを絞り込んでください。なお、毎月同じ質問式で検索される場
合は、最初の 1 回はカレントレコードセットを除くその他のレコードセットを選択し、
その後は月 1 回カレントレコードセットを選択して検索するだけで充分です。もし、あ
る月のカレントレコードセットを検索し忘れた場合、最新年のレコードセットのみを選
択し検索するだけで、検索漏れは防げます。よろしく御協力のほどお願いいたします。

第3章 コマンド解説

コマンドには、キーワードを通覧表示する BROWSE コマンド、データを検索する SEARCH コマンド、検索結果を表示する DISPLAY コマンド、検索結果をセンターのプリンタに出力する PRINT コマンド、端末の属性その他を設定する OPTION コマンド、およびヘルプメッセージを表示する HELP コマンドがあります。

3.1 BIOSIS の呼び出しとオプション

BIOSIS 検索システムを呼び出すためにはサブシステム選択箇所、またはビルドモード*の箇所
BIOSと入力します。

SYSTEM ? BIOS または *BIOS

これで、BIOSIS 検索システムが呼び出されます。検索システムには、TERM、CAPI、MESS、FILE の4つのオプションがあります。

3.1.1 BIOSIS の呼び出し

```

SYSTEM ? BIOS                ..... BIOS コマンドの入力

*****
*   BIOSIS データベース     *
*       }                   *
*****

データベース名は <B(BA)/R(RRM)/N(ニュース)/F(終了)>?   ..... データベースの選択 (1)
しばらくお待ちください

Nq レコードセット名 補足説明
#01 BA80          1980. VOL. 69 & VOL. 70              : 165000REC
    }
#11 BACURR      CURR VOL. 87 ISSU 03-04                : 20914REC

レコードセット番号は? ..... レコードセットの選択 (2)

レコードセット番号は(キャリッジリターンで次ぎに進みます)? ...レコードセット追加 (3)

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),
データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? ..... 検索コマンドの入力 (4)

```

(1) データベースの選択

B: BA データベースを使用します
R: BA/RRM データベースを使用します
N: センターからのお知らせを表示します
F: 検索システムを終了します

(2) レコードセットの選択

選択するレコードセットの番号を入力します。

* ビルドモードとは、システムが行の最初にアスタリスク記号を表示して、利用者との会話を要求している状態で、利用者はこの時点でコマンドが入力できます。

k - n : k から n のレコードセットを選択します

k, l, n : k と l と n のみのレコードセットを選択します

m : m のみのレコードセットを選択します

(3) レコードセットの追加選択

1 つだけのレコードセットを選択した場合、追加するかどうかの問い合わせがあります。追加する必要がなければ回キーを押します。

(4) 検索コマンドの入力

検索コマンドを入力します。

3.1.2 オプション

検索システムは日本電気の漢字端末かそうでないかをチェックし、端末にあった検索システムを起動します。ただし、日本語端末でない場合、英小文字を標準としていますので英小文字の表示できない端末では文字化けが発生します。また、PC-9801 などのパソコン端末では日本語を表示できるものもありますが、自動的にチェックできませんので同じく英小文字用が起動されます。このような端末の種類を検索システムに知らせるために、TERM オプション、CAPI オプションがあります。なお、オプションを英小文字で指定しますと検索システムを呼び出せませんので御注意ください。

① TERM オプション

端末の表示できる文字を指定します。PC-9801 などのパソコン端末で日本語が表示できる端末でも何も指定しないと英小文字の検索システムが起動されます。このオプションで 'J' を指定することにより日本語の検索システムが起動できます。

パラメータ 内容

J : 日本語表示可能端末

A : 英小文字端末

*BIOS_TERM=J (*BIOS_T=J でも可)

② CAPI オプション

日本語表示のできない端末では英語メッセージの検索システムが起動されますが、英小文字が標準となっています。英小文字が表示できない端末では文字化けが起こてしまいますので、このオプションで 'Y' を指定することにより英大文字の検索システムが起動できます。

パラメータ 内容

Y : 英大文字のみ表示可能

N : 英小文字も表示可能

*BIOS_CAPI=Y (*BIOS_C=Y でも可)

また、検索システムを使いなれてくると便利なオプションとして、MESS オプションと FILE オプションがあります。

③ MESS オプション

システムからの入力要求がある場合はその前に必ずメッセージが表示されます。メッセージの表示がわずらわしい場合、このオプションで ‘N’ を指定することにより表示を停止することができます。

パラメータ 内容

Y : メッセージを表示します

N : メッセージを表示しません

*BIOS_MESS=N (*BIOS_M=N でも可)

④ FILE オプション

BIOSIS 検索システムでは、端末の種類や利用者の好みに応じて、様々な条件を設定することができます。それをファイルに蓄えておくこともできます。この FILE オプションはオプションを設定したファイルを割り当てて、オプションを変更した形で BIOSIS 検索システムを起動します。パラメータは条件が入っているファイル名です。なお、条件の設定およびファイルの作成は OPTION コマンドで行います。(⇒3.6 OPTION コマンド)

*BIOS_FILE=/ファイル名 (*BIOS_F=/ファイル名 でも可)

なお、オプションの入っているファイル名を ‘BIOPTION’ としておけば、FILE オプションを使用しなくてもこのファイルを自動的に割り当てて起動します。

これらのオプションは、同時に複数個指定することもできます。

【実行例】PC-9801 を使用し日本語表示でメッセージを出力しない場合

SYSTEM ? BIOS_T=J, M=N

3.2 BROWSE コマンド

各項目で抽出・登録されているキーワードを表示します。キーワードの表示は項目単位に、入力された文字列と一致するものとその後7個が一覧表として表示(通覧)されます。なお、一致するものが無い場合は、入力された文字列に最も近い前後7個が表示されます。

項目によってキーワードの抽出の仕方が異なりますので注意してください(⇒5.1 データベースの項目と抽出・登録されているキーワード)。検索もれを少なくするために、検索する前にキーワードがどの様に抽出・登録されているかを調べることは非常に大事な作業です(語尾変化、同義語などに注意してください)。

このキーワードの表示・通覧は、抽出されているキーワードを表示するだけのものです。文献を表示するためには必ず検索しなければなりません。

3.2.1 応答形式

検索コマンド要求箇所で ‘B’ を入力します。

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),

データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? B BROWSE コマンドを入力します

項目名は? 項目名 項目名の入力⁽¹⁾

キーワードは? キーワード 任意の文字列の入力⁽²⁾

番号⁽³⁾ 件数⁽⁴⁾ キーワード⁽⁵⁾ (項目名⁽⁶⁾)

%001 91 CARDIOVASC

%002 10 CRIES

}

%014 22 CHEL

%015 847 CHEM

}

表示を続けますか<Y(はい)/N(いいえ)/E(項目名切り替え)>? 継続要求⁽⁷⁾

(1) 項目名の入力

通覧したい項目名を入力します。

BN: BIOSIS 抄録番号

YR: 発行年

TI: BIOSIS 編集文献標題

IS: 号番号

AU: 著者

PG: ページ

OG: 著者所属機関、住所

LG: 使用言語コード

CD: 雑誌コード (CODEN, NUMBEN)

AW: BIOSIS 付加語

S1: 掲載雑誌名、標題 (S2 の前 40 文字)

BC: 生物分類コード

S2: 掲載雑誌名または標題

CC: 概念コード

VL: 巻番号

(2) 任意の文字列の入力

表示したい文字列を入力します。入力された文字列がキーワードとして登録されていなくてもかまいません。

(3) 番号

抽出・通覧されたキーワードに付加された番号が表示されます。この番号を語番号と呼び検索時にこの語番号を指定して検索することもできます。この番号は同じデータを通覧しても、その都度変わります。

(4) 件数

キーワードを含む文献の数が表示されます。

(5) キーワード

抽出されているキーワードが表示されます。

(6) 項目名

通覧した項目名が表示されます。同じ項目が2文字と4文字の2種類で登録されており、ここでは4文字の項目名が表示されます。(⇒5.1.1 BA と BA/RRM の項目と内容)

(7) 継続要求

通覧の継続を選択します。

Y: そのまま通覧を継続します

N: 通覧を終了し、検索コマンド入力箇所に戻ります

E: 項目名は? のレベルに戻ります

Y, YES, N, NO, E 以外: 同じ項目でのキーワード入力とみなされます

3.2.2 注意事項

特殊文字を含んだ文字列を検索するときは、文字列を ‘ ’ または ‘ ” ’ で囲まなければならないませんが、キーワードを通覧するときは ‘ ’ または ‘ ” ’ で囲んではいけません。また、最初に空白を入力してもいけません。

正 ABCD-EFG

誤 "ABCD-EFG"

この誤った例では "ABCD-EFG" に近いキーワードが表示されます。

3.2.3 実行例

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),
データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? B

項目名は? S2

キーワードは? CELL

番号 件数 キーワード (項目名=SOU2)

%001	91	CARDIOVASC
%002	10	CARIES
%003	4	CARL
%004	1	CARNEGIE
%005	8	CAROL
%006	1	CATAL
%007	6	CATHETERIZATION
%008	284	CELL
%009	5	CENT
%010	9	CEPHALALGIA
%011	12	CESK
%012	6	CESKA
%013	6	CEVRE
%014	22	CHEL
%015	847	CHEM

表示を続けますか <Y(はい)/N(いいえ)/E(項目名切り替え)>? E

項目名は? AU

キーワードは? YAMADA

番号 件数 キーワード (項目名=AUTH)

%016	1	YAKUSHEVA L A
		}
%023	2	YAMADA A
		}
%029	7	YAMADA M

表示を続けますか <Y(はい)/N(いいえ)/E(項目名切り替え)>? Y

%030	1	YAMADA M-A
		}
%044	2	YAMAGATA Y

表示を続けますか <Y(はい)/N(いいえ)/E(項目名切り替え)>? N

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),
データベース切替(E), 終了(F)
<B/S/D/P/O/E/F>?

3.3 SEARCH コマンド

入力された質問式で検索を行い、条件にあった文献の集合を作成し、その件数を表示します。検索の方法にはキー検索とデータ検索の2種類があります。キー検索とはデータ登録時に抽出・登録されているキーワードが利用者が入力した質問式の条件に一致するものを検索する機能で、比較的高速に検索できます。データ検索とは検索対象とする項目に登録されている実データが入力された条件式に一致するものを検索する機能で、検索には非常に時間がかかりますがきめの細かい検索が可能です。一般的には、キー検索でデータをかなりの程度まで絞り込み（一次検索）、必要ならばその結果に対してデータ検索により、さらにきめの細かい検索（二次検索）を行ないます。

3.3.1 キー検索

キー検索は、機能的には多少制限されていますが、高速な検索が可能です。ただし、高速といってもデータ量が非常に多いので応答時間はあまり早くありません。質問式を入力した後はじっと我慢してください。

3.3.1.1 応答形式

検索コマンド入力箇所での‘S’を入力し、『質問式は?』の問い合わせに質問式を入力します。入力された質問式に該当するデータが存在する場合、その集合に番号を割り当て、その番号（質問式回答番号という）と該当した文献の件数とが表示されます。この質問式回答番号はデータ検索ならびに結果を表示あるいは印刷するときに使用します。

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),
データベース切替(E), 終了(F)
<B/S/D/P/O/E/F>? S SEARCH コマンドの入力
質問式は? 質問式 キー検索用質問式の入力 (3.3.1.2)
n n mm 件 質問式回答番号と件数が表示されます
質問式は? 質問式 続けるならキー検索用質問式を入力します
終わるならEnterキーを押します

3.3.1.2 キー検索用質問式

(1) 質問式の作成と規則

① 質問式の形式

比較式 [[論理演算子 比較式]]

質問式の最小単位は比較式です。質問式は、この比較式に対してさらに論理演算子や括弧を組み合わせたもので構成されます。論理関係が複雑な場合には明確に記述するために括弧が最大 10 レベルまで使用できます。

②比較式の形式

形式 I	比較値
形式 II	質問式回答番号
形式 III	項目名 比較記号 比較値
形式 IV	項目名 比較記号 比較値 [, 比較値……]
形式 V	項目名 比較記号 比較値:比較値

備考①形式 I は、項目 YR を除く全ての項目に対する EQ 比較となります。

②形式 II の質問式回答番号は、#nn の形式で、すでに検索済みの集合を示します。

③形式 IV の、(JYY) は比較記号が=の場合は論理和で、^= の場合は論理積となります。

④形式 V の、(JYY) は範囲の指定を表わし、上限の値と下限の値を: でつなぎます。

③比較記号の形式

記 号	意 味	使うことのできる項目	可能な比較式の形式
EQ =	等しい	全項目	形式Ⅲ, Ⅳ
NE ^=	等しくない	全項目	Ⅲ, Ⅳ
NR :=	大きくかつ最も近い	全項目	Ⅲ
GT >	大きい	全項目	Ⅲ
GE >=	大きいか、等しい	全項目	Ⅲ
LT <	小さい	全項目	Ⅲ
LE <=	小さいか、等しい	全項目	Ⅲ
WL <>	範囲内(両端を含む)	全項目	V
OL ><	範囲外(両端を含まない)	全項目	V
ADJ -	2つの比較値が隣接している	S2, T1, AW, OG	V

④比較値の形式

比較値には文字列、語番号などがあります。

比較値	形 式	意 味
文字列	ABCD または 'ABCD'	完全一致による比較で、キーワードと比較値の全体で比較します
	ABCD\$ または 'ABCD\$'	前方一致による比較で、' \$ ' の直前までをキーワードの左側と比較します
語番号	%17	BROWSE コマンドで通覧したキーワード一覧の番号で示されるキーワードによる完全一致の比較をします

⑤記述の規則

①形式 IV の比較式では、最大 10 個まで比較値を指定できます。

②形式 IV の比較式では比較値を複数入力した場合、比較値間の論理関係は次のようになります。

記号	論理関係	説 明
EQ	OR	〇〇〇または×××を含むものを検索します
NE	AND	〇〇〇でなく×××でないものを検索します

◎形式Vの比較式では、一対の比較値を最大5個まで指定できます。

④質問式回答番号は #nn または #n の形式で入力し、すでに検索された結果の集合を意味します。

◎質問式は 200 文字以内で入力します。長くなる場合は行の最後に ‘&&’（継続行）を入力することにより継続できます。ただし、‘&’ 1 文字を入力すると BIOSIS 検索システムは終了し、今まで検索したものがすべて無駄になってしまいます。&& を入力する場合はくれぐれも御注意ください。

④括弧の入れ子は最大 10 レベルまで許されます。

⑥次の場合には、比較値を “（二重引用符）あるいは ’（ｱｽﾄﾘｰｸ）で囲みます。

⑦比較値が項目名と同じ場合

④比較値が比較記号や論理演算子と同じ場合

⑦比較値のなかに次のような特殊文字を含む場合

特殊文字

“ () + * / ^ = < > : ; , - ‘ ”

⑩項目 BN, CD, VL, IS, YR, PG, LG, S1 と項目 S2, AU, TI, AW, OG, CC, BC とでは項目の性質の違い、キーワードの抽出の仕方に違いがあるため、入力した質問式の形式がほとんど同じでも回答件数が違ってくる場合があります。

例 S1 = IRON AND S1 ^ = IRON

S2 = IRON AND S2 ^ = IRON

項目 BN, CD, VL, IS, YR, PG, LG, S1 は 1 件の文献に 1 個のキーワードしか持たないため、回答は 0 件となりますが、項目 S2, AU, TI, AW, OG, CC, BC の場合は、1 件の文献に複数のキーワードが抽出されることがあるため、回答は 0 件になるとは限りません。

（２）質問式的具体例

次にあげるような検索が可能です。

①検索キー（比較値）だけによる検索

- ・ 検索したい値がどの項目にあってもよい場合
- ・ 検索したい値の項目名が分からない場合

例

質問式は？ BIOLOGICAL

（説明）

すべての項目で ‘BIOLOGICAL’ という綴りを持つ文献を探します。

②項目名による検索

- ・特定の項目を検索対象とする場合
- ・複数の項目で同じキーワードを持つ可能性がある場合
- ・比較記号を使用して検索する場合

例

質問式は? TI = BIOLOGICAL

(説明)

項目 TIの中で‘BIOLOGICAL’ という綴りを持つ文献を探します。

③複数条件についての論理関係による検索

次のような場合には論理演算子を使用して検索ができます。

- ・複数の条件を同時に満たす文献を検索する場合 (AND)
- ・複数の条件のいずれかを満たす文献を検索する場合 (OR)
- ・指定した値以外の文献を検索する場合 (NOT)

論理演算子には論理積 (AND)、論理和 (OR)、否定 (NOT) があります。否定 (NOT) を使用する場合は、有効範囲を括弧で囲む必要があります。

例

質問式は? TI = BIOLOGICAL OR AW = BIOLOGICAL

(説明)

項目 TI および AW のいずれかに BIOLOGICAL という綴りを持つ文献を探します。括弧を使用して記述してもかまいません。

(TI=BIOLOGICAL) OR (AW=BIOLOGICAL)

上記条件を満たさないもの (否定) を検索したい場合、以下のように否定 (NOT) を使用することができます。

NOT((TI=BIOLOGICAL) OR (AW=BIOLOGICAL))

④キーワード通覧結果の利用による検索

BROWSEコマンドでキーワードの通覧を行なっている場合、通覧したキーワードに付与されている番号 (語番号) により比較値の代わりをすることができます。

- ・キーワードが長く入力を簡単にしたい場合
- ・特定の項目に登録されている比較値を他の項目に対して指定したい場合

例

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),
データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? B

項目名は? TI

キーワードは? CELL

番号 件数 キーワード (項目名=TITL)

%001 91 CARDIOVASC

```

      }
%005      8  CAROL
%006      1  CATAL
%007      6  CATHETERIZATION
%008     284  CELL
      }

```

とした後に、次の検索を行います。

質問式は? TI = %7 OR AW=%7

(説明)

事前に通覧したキーワードの7番の値(CATHETERIZATION)を用いて項目 TI 及び AW の検索を行います。『質問式は?』の問い合わせに‘%7’のみを入力すると、すべての項目が対象となるので通覧時の件数と異なることがあります。

⑤文字列の一部が不明なものの検索

- ・先頭の何文字かしかわからない場合
- ・先頭の何文字かが同じである文献を検索する場合(例: 同一姓の人物)
- ・先頭の何文字かで区別がつく場合

このような場合には、不明あるいは何でもよい部分に‘\$’を指定します。

例

質問式は? TI=BIOLOGICAL\$

(説明)

項目 TI の中で、‘BIOLOGICAL’で始まる綴りを持つ文献を探します(前方一致)。

前方一致 □□□□\$ …… \$ 以後は比較の対象としません。前の部分が等しければ検索されます。特別な場合として、前部のみからなる文字列も検索されます。

⑥検索結果(回答集合)に対するさらに詳しい検索

次のような場合には以前に行なった検索結果を参照し検索できます。

- ・以前に行なった検索結果に対し、さらに別の条件を付加しデータの絞り込みを行なう場合
- ・以前に行なった検索結果間での論理関係で検索を行なう場合

例

質問式は? TI = BIOLOGICAL

0 1 1 2 3 件

質問式は? AW = CHEMICAL

0 2 2 3 4 件

という検索を行ってから、次の検索を行います。

質問式は? #01 AND AW = CHEMICAL …… ㉔

質問式は? #01 AND #02 …………… ㉕

(説明)

④の例は、以前に検索された『#1』に対し項目「AW」に‘CHEMICAL’という綴りを持つ文献を探します。

⑤の例は、以前に検索された『#1』かつ『#2』に含まれる綴りを持つ文献を探します。結果として④、⑤は同じになります。

⑦範囲指定による検索

下限の値と上限の値を指定して範囲内あるいは範囲外のデータを検索できます。

範囲の指定は下限の値と上限の値を‘：’でつなぎます。

範囲内(WL)検索では両端の値が含まれます。

範囲外(OL)検索では両端の値は含まれません。

例

質問式は? YR WL 1986:1987

(説明)

項目 YR の値が 1986 から 1987 の範囲にある文献を探します。

⑧隣接文字列の検索

項目 S2, TI, AW, OG にのみ可能で、2つの指定された文字列が隣合わせに格納されている文献を探します。2つの文字列の間には区切り文字や不要語が存在していてもかまいません。また、比較値の順序が逆になっていてもかまいません。比較記号として ADJ を使い、2つの文字列を‘：’でつなぎます。(区切り文字・不要語 ⇒ 5.1.4 項目 TI)

<u>TI ADJ COMPUTER:SYSTEM</u>	………… 質問式
LARGE COMPUTER SYSTEM IS	………… ヒット
INFORMATION SYSTEM FOR COMPUTER	………… ヒット
COMPUTER ENGINEERING SYSTEM	………… ヒットしない

入力された条件に合致したことを「ヒット」したといいます。

例

質問式は? TI ADJ MEDICINE:FEVER

(説明)

項目 TI を対象として‘MEDICINE’と‘FEVER’が隣接している文献を探します。

3.3.2 データ検索

「データ検索」とは、任意の項目に、例えば「MEDICINE FOR FEVER」というような用語や数値を逐一探していく処理を言います。キー検索がキーワードを対象とするのに対し、データ検索は項目のデータそのものが対象となり、キー検索の機能に加えて、後方一致、中間一致などのきめ細かい検索が可能です。逆に、逐一探しますからその分非常に時間がかかります。検索時間は検索対象件

数に依存します。したがって、キー検索でかなりの程度まで検索対象を絞り込んでから、さらに精度を高めるときに使用します。なお、データ検索には ADJ 比較はありません。

3.3.2.1 応答形式

『質問式は?』の問い合わせに、事前に行なっていた検索結果の質問式回答番号を‘#’を付与して入力し、『条件式は?』の問い合わせに質問式を入力します。入力された質問式に該当する文献が存在した場合、キー検索と同じく該当した文献の件数とその集合に割り当てられた質問式回答番号が表示されます。

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),
データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? S SEARCH コマンドを入力します

質問式は? 質問式 質問式を入力します (キー検索)

n n m m 件 質問式回答番号と件数が表示されます

質問式は? #nn データ検索を行なうために質問式回答番号を入力

条件式は? 質問式 データ検索用質問式 (3.3.2.2) を入力します

条件式は? Ⓜ 最大5個まで入力できます。Ⓜキーのみを押すと
質問式入力の終了とみなされます。複数の条件式の
入力は AND で結合と考えます。

n n m m 件 質問式回答番号と件数が表示されます

質問式は? データ検索を続けるなら質問式回答番号を入力、
検索を終わるならⓂキーを押します。もちろん、
ここでキー検索も可能です。

3.3.2.2 データ検索用質問式

①質問式の形式

『条件式は?』の問い合わせに入力できる質問式の形式は次のとおりです。

形式 I	項目名	条件記号	条件値
形式 II	項目名	条件記号	条件値 [, 条件値, ……]
形式 III	項目名	条件記号	条件値:条件値 [, ……]

③質問式は最大5個までしか入力できません。

④同一項目に対して複数の条件を付けることはできません。

⑤引用符はキー検索と同様、特殊文字を含む場合に使います (⇒ 3.3.1.2 キー検索用質問式)。

②条件記号の形式

記 号	意 味	条件値の数	条 件 式
EQ =	どれかの条件値と等しい	1~10	形式 II
NE ^=	どの条件値とも等しくない	1~10	形式 II
GT >	大きい	1	形式 I
GE >=	大きいか、等しい	1	形式 I

LT	<	小さい	1	形式	I
LE	<=	小さいか、等しい	1	形式	I
WL	<>	範囲内（両端を含む）	2～10	形式	Ⅲ
OL	><	範囲外（両端を含まない）	2～10	形式	Ⅲ

「WL」と「OL」条件のとき、条件値:条件値の組み合わせで偶数個の条件値となります。

③検索規則

⑨形式Ⅱで複数の条件値を入力した場合、条件値間の論理関係は次のようになります。

条件記号	論理関係	説 明
= EQ	OR	○○○または×××を含むものを検索します
^= NE	AND	○○○でなく×××でないものを検索します

⑩形式Ⅲで条件値の組（条件値_i:条件値_{i+1}）を複数入力した場合、条件値間の組間の論理関係は次のようになります。

条件記号	論理関係	説 明
WL <>	OR	組 ₁ の条件を満たすものまたは組 ₂ の条件を満たすもの、または……を満たすものを検索します
OL ><	AND	組 ₁ の条件を満たし、かつ組 ₂ の条件を満たし、かつ……を満たすものを検索します

④条件値の形式

条件値	形 式	意 味
文字列	ABCD または 'ABCD'	完全一致による検索で、EQ と NE の場合は、この文字列が項目内にあり、その両端が語の境界*であれば一致とみなされます。その他の条件の場合は、項目の内容全体が条件判定されます。
	ABCD\$ または 'ABCD\$'	前方一致による検索で、EQ と NE の場合は、“\$”の直前までの文字列が項目内にあり、その左端が語の境界であれば一致とみなされます。その他の条件の場合は、項目の左側部分（文字列と同一まで）が条件判定されます。
	\$ABCD または '\$ABCD'	後方一致による検索で、EQ と NE の場合は、“\$”以降の文字列が項目内にあり、その右端が語の境界であれば一致とみなされます。その他の条件の場合は、項目の右側部分（文字列と同一長まで）が条件判定されます。
	\$ABCS または '\$ABCS'	中間一致による検索で、EQ と NE のみが可能で、“\$”と“\$”の間の文字列が項目内にあれば、一致とみなされます。
	AB?CD または 'AB?CD'	EQ と NE の検索で、文字列の中にある一文字を“?”の不定文字でマスクすることができます。不定文字の部分はどんな一文字でも一致とみなされます。

* 注. 語の境界の判定

語の境界は、文字を次のグループに分けて、表により判定されます。

(グループ分け)

グループ 1 特殊文字、英数字以外

グループ 2 数字

グループ 3 英字

(境界判定表) 文字列が ab となっているとき

文字 a \ 文字 b	1	2	3
	1	2	3
1	○	○	○
2	○	×	○
3	○	○	×

○ a と b の間に境界がある

× a と b の間に境界がない

【データ検索方式】 (EQ、NE条件)

まず、入力された文字列 (前後に \$ がある場合は \$ を除く) で項目のデータを探します。

\$AB.....CD 入力された文字列

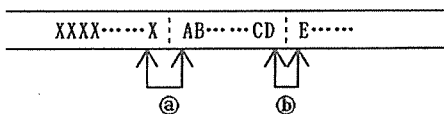


AB.....CD \$ を取り除いた文字列で検索します

サーチ→

項目データ: XX.....AB.....CD.....

そして、該当文字列が見つかった場合、一致方法ごとにその前後の文字の境界判定を行ないます。



完全一致: ㊸, ㊹とも境界のとき、ヒットとします

前方一致: ㊸が境界のときヒットとします

後方一致: ㊹が境界のときヒットとします

中間一致: そのままヒットとします

⑤質問式間の論理関係

繰り返し入力された条件式 (最大 5 個) 間の論理関係は AND となります。

3.3.3 実行例

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),

データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? S

質問式は? @B 『質問式は?』の箇所での他のコマンドが使用できます。

項目名は? TI (⇒4.2 検索中の他のコマンドの利用)

キーワードは? CHROMOSOM

番号 件数 キーワード (項目名=TITL)

```
%001      8  CHROMOPHORIC
%002      1  CHROMOPHYTA
%003      1  CHROMOPHYTE
%004      1  CHROMOPHYTIC
%005      4  CHROMOPLAST
%006      7  CHROMOPLASTS
%007      1  CHROMOSCAN
%008     811  CHROMOSOMAL
%009      1  CHROMOSOMAL-BREAKAGE
%010      1  CHROMOSOMAL-INVERSION
%011     26  CHROMOSOMALLY
%012      1  CHROMOSOMALLY-DERIVED
%013    1923  CHROMOSOME
%014      1  CHROMOSOME-11-ENCODED
```

表示を続けますか <Y(はい)/N(いいえ)/E(項目名切り替え)>? Y

```
%015      1  CHROMOSOME-ASSOCIATED
      }
```

```
%029     694  CHROMOSOMES
```

表示を続けますか <Y(はい)/N(いいえ)/E(項目名切り替え)>? Y

```
%030      3  CHROMOSOMIC
      }
```

```
%044      9  CHRONICA
```

表示を続けますか <Y(はい)/N(いいえ)/E(項目名切り替え)>? E 'E' 入力で他の項目名は? AW 項目を選択できます。

キーワードは? CHROMOSOM (⇒ 3.2 BROWSE コマンド)

番号 件数 キーワード (項目名=ADWD)

```
%045      1  CHROMOPHORIC
%046      3  CHROMOPHYTA
%047      1  CHROMOPHYTES
%048      4  CHROMOPLAST
%049      4  CHROMOPLASTS
%050      8  CHROMOPROTEIN
%051      1  CHROMOREFLECTOMETER
%052     652  CHROMOSOMAL
%053      6  CHROMOSOMALLY
%054      1  CHROMOSOMALLY-ENCODED
%055      4  CHROMOSOMALLY-MEDIATED
%056    2226  CHROMOSOME
%057      1  CHROMOSOME-BINDING
%058      2  CHROMOSOME-LINKED
```

表示を続けますか <Y(はい)/N(いいえ)/E(項目名切り替え)>? Y

```
%059      3  CHROMOSOME-MEDIATED
      }
```

```
%073      1  CHROMUSTERTS
```

表示を続けますか <Y(はい)/N(いいえ)/E(項目名切り替え)>? ☒

質問式は? AW=CHROMOSOM\$ OR TI=CHROMOSOM\$ キー検索

0 1 4 9 0 3 件

質問式は? #1 データ検索

条件式は? AW="CHROMOSOME 9\$"

条件式は? ☒

0 2 2 6 件

質問式は? #1

条件式は? TI="CHROMOSOME 9\$"

条件式は? ☒

0 3 8 件

質問式は? #2 OR #3

0 4 3 4 件

質問式は? #1

条件式は? AW="CHROMOSOME 9\$"

条件式は? TI="CHROMOSOME 9\$"

条件式は? ☒

0 件

..... AW, TI の両方に含まれた文献はありません

質問式は? @B

..... ⇒ 4.2 検索中の他のコマンドの利用

項目名は? TI

キーワードは? NEOPLASTIC

番号 件数 キーワード (項目名=TITL)

%074	1	NEOPLASIA-ASSOCIATED
%075	1	NEOPLASIA-INDUCED
%076	1	NEOPLASIA-PAPILLOMA
%077	28	NEOPLASIAS
%078	52	NEOPLASM
%079	2	NEOPLASMA
%080	273	NEOPLASMS
%081	341	NEOPLASTIC
%082	1	NEOPLASTICALLY
%083	1	NEOPLASTOID
%084	1	NEOPLEA-STRIOLA
%085	1	NEOPLESIANA-CARPOCAPSAE
%086	2	NEOPODOCINUM
%087	1	NEOPRENE
%088	1	NEOPRINGLEA

表示を続けますか <Y(はい)/N(いいえ)/E(項目名切り替え)>? E

項目名は? AW

キーワードは? NEOPLASTIC

番号 件数 キーワード (項目名=ADWD)

%089	1	NEOPLANTA
%090	212	NEOPLASIA
%091	6	NEOPLASIAS
%092	460	NEOPLASM
%093	1	NEOPLASMA
%094	1	NEOPLASMIC
%095	81	NEOPLASMS
%096	307	NEOPLASTIC

%097	1	NEOPLATEIA-KASZABI
%098	1	NEOPLATYURA-UNIFASCIATA
%099	1	NEOPLECOSTOMINAE
%100	1	NEOPLEROCHILA-UNIFORMIS
%101	1	NEOPLEROCHILA-YOUNGAI
%102	1	NEOPODOCINUM-DEHONGENSE
%103	1	NEOPODOCINUM-EMODIODES

表示を続けますか <Y(はい)/N(いいえ)/E(項目名切り替え)>? ANTINEOPLASTIC

番号	件数	キーワード (項目名=ADWD)	'Y, YES, N, NO, E' 以外は同じ 項目で新たなキーワードが 指定されたとみなされます
%104	2	ANTINARCOTIC	
%105	5	ANTINATRIURESIS	
%106	4	ANTINATRIURETIC	
%107	1	ANTINAUSEA	
%108	4	ANTINAUSEANT	
%109	34	ANTINAUSEANT-DRUG	
%110	1	ANTINEDA-SPP	
%111	1272	ANTINEOPLASTIC	
%112	1	ANTINEOPLASTIC-ANTIBIOTIC	
%113	8009	ANTINEOPLASTIC-DRUG	
%114	1	ANTINEOPLASTICS	
%115	1	ANTINEOPLASTON	
%116	1	ANTINEURAL	
%117	2	ANTINEUROFILAMENT	
%118	1	ANTINEURONOFILAMENT	

表示を続けますか <Y(はい)/N(いいえ)/E(項目名切り替え)>? E

項目名は? TI

キーワードは? ANTINEOPLASTIC

番号	件数	キーワード (項目名=TITL)
%119	11	ANTIMYOSIN
%120	1	ANTIMYRISTOYLATION
%121	1	ANTINATIVE
%122	1	ANTINATRIURESIS
%123	2	ANTINATRIURETIC
%124	1	ANTINATRIURETIC-ANTIDIURETIC
%125	1	ANTINEOPLASMIC
%126	93	ANTINEOPLASTIC
%127	4	ANTINEOPLASTICS
%128	10	ANTINEOPLASTON
%129	5	ANTINEPHRITIC
%130	1	ANTINEURAL
%131	2	ANTINEUROBLASTOMA
%132	1	ANTINEUROENDOCRINE
%133	1	ANTINEUROFILAMENT

表示を続けますか <Y(はい)/N(いいえ)/E(項目名切り替え)>? ☒

質問式は? TI=NEOPLASTICS\$ OR AW=NEOPLASTICS\$

0 5 6 3 8 件

質問式は? TI=ANTINEOPLASTICS\$ OR AW=ANTINEOPLASTICS\$

0 6 9 3 0 5 件

質問式は? #5 OR #6

0 7 9 9 0 6 件

質問式は? #7

条件式は? AW=\$DRUG\$ 中間一致

条件式は? TI=\$DRUG\$

条件式は? ☒

0 8 4 3 4 件 AW, TI の両方に含まれています

質問式は? #7

条件式は? AW=\$DRUG\$ OR TI=\$DRUG\$

D710-B237 F 条件式に誤りがある。

条件式は? AW=\$DRUG\$

条件式は? ☒

0 9 8 2 4 3 件

質問式は? #7

条件式は? TI=\$DRUG\$

条件式は? ☒

1 0 4 8 1 件

質問式は? #9 OR #10

1 1 8 2 9 0 件 AW, TI のどちらかに含まれています

質問式は? 0B

項目名は? TI

キーワードは? GLUCOSE

番号 件数 キーワード (項目名=TITL)

%134	5	GLUCOSAMINE-6-PHOSPHATE
%135	1	GLUCOSAMINE-6-SULFATASE
%136	1	GLUCOSAMINE-DERIVED
%137	1	GLUCOSAMINIDASE
%138	1	GLUCOSAMINITOL
%139	1	GLUCOSAMINOGLYCAN
%140	1	GLUCOSCAN
%141	2383	GLUCOSE
%142	4	GLUCOSE-1
%143	1	GLUCOSE-1-PHOSPHATE
%144	1	GLUCOSE-1-PHOSPHOTRANSFERASE
%145	2	GLUCOSE-6
%146	40	GLUCOSE-6-PHOSPHATASE
%147	168	GLUCOSE-6-PHOSPHATE
%148	1	GLUCOSE-6-PHOSPHOHYDROLASE

表示を続けますか <Y(はい)/N(いいえ)/E(項目名切り替え)>? E

項目名は? AW

キーワードは? GLUCOSE

番号 件数 キーワード (項目名=ADWD)

%149	7	GLUCOSAMINIDASE
------	---	-----------------

```

%150      1  GLUCOSAMINIDE
%151      1  GLUCOSAMINOGLYCAN
%152      2  GLUCOSAMINOGLYCANS
%153      1  GLUCOSAMINYL
%154      2  GLUCOSAMINYLTRANSFERASE
%155      1  GLUCOSCAN
%156    3643  GLUCOSE
%157      2  GLUCOSE-1
%158      8  GLUCOSE-1-PHOSPHATE
%159      1  GLUCOSE-5-PHOSPHATE
%160     106  GLUCOSE-6-PHOSPHATASE
%161     413  GLUCOSE-6-PHOSPHATE
%162      1  GLUCOSE-6-PHOSPHATE-ATP
%163      1  GLUCOSE-CHAINING

```

表示を続けますか <Y(はい)/N(いいえ)/E(項目名切り替え)>? ☒

質問式は? AW=%141 OR TI=%156

1 2 5 8 2 0 件

質問式は? #12

条件式は? AW="4<GLUCOSE\$"

条件式は? ☒

1 3 1 件

質問式は? ☒

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),

データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? F

BIOSIS データベース終了

SYSTEM ?

このキー検索及びデータ検索が終わるまでに、4月の閑散期で46分55秒（応答時間）かかっています。特にデータ検索時はなかなか応答が返ってきません。我慢して待つしかありません。10月以降の混雑期になりますと、この7～8倍以上はかかると思われます（おそらく使いものにならないと思います）。データ検索を始める前に充分にデータを絞り込んでください。また、一日のうちでも午後の1時過ぎから5時頃までが一番混んでいるようです。

3.4 DISPLAY コマンド

SEARCH コマンドにより検索した結果を端末に表示します。表示の形式として阪大形式、BIOSIS 形式、DATA710 形式の3種類があります。

3.4.1 表示形式

(1) BIOSIS 形式

項目 BN, CD, VL, IS, PG, YR が 2 行で表示され、LG, S2, T1, AU, OG, AW, CC, BC が 1 行 1 項目の形で表示されます。

	質問式回答番号	表示開始位置	ヒット件数	雑誌コード	巻番号	発行番号
BIOSIS抄録番号	# 0 1	BN=87024982	1 / 5	CD=NNAGA	VL=30	IS=9
ページ	PG=2002-2005		5 件		YR= 1988	
使用言語コード	LG=JA					
雑誌名	S2=GASTROENTEROL ENDOSC					発行年
BIOSIS編集標題	T1=PERORAL CHOLECYSTOSCOPY REPORT OF 3 CASES					
著者名	AU=HIRATA N/FUJITA Y/FUJITA R/SUGATA F/HATTORI M/YAMABE H /AKASHI T/					
所属機関	OG=DIV. GASTROENTEROL., DEP. INTERN. MED., SHOWA UNIV. FU JIGAOKA HOSP., YOKOHAMA, JPN.					
付加語	AW=HUMAN CHOLECYSTOLITHIASIS STONE EXTRACTION PERORAL					
概念コード	CC=10060 12504- 12512- 13002 14006*					
生物分類コード	BC=86215					

(2) 阪大形式

概念コードと生物分類コード以外のすべての項目が編集されて表示されます。概念コードと生物分類コードの表示は選択できます。次の図の中の 5 文字以上および PUBL の部分は検索用の項目名ではありません。なお、PUBL 部分は項目 S2, VL, IS, PG, YR を組み合わせて表示したものです。

	表示件数	表示開始位置	ヒット件数	雑誌コード	使用言語コード
BIOSIS抄録番号	PRINT NO. 1	BIOSIS_NO.87028175	(2/ 5)	CODEN= APLMA	LANGUAGE / EN
BIOSIS編集標題	TITL : EXPRESSION OF VITAMIN B-12 R-BINDER IN BREAST TUMORS				
著者名	AUTH : OGAWA K/ KUDO H/ KIM Y C/ NAKASHIMA Y/OHSHIO G/YAMABE H				
所属機関	ORGA : DEP. PATHOL., KYOTO UNIV. FAC. MED., YOSHIDA-KONOE -CHO, SAKYO-KU, KYOTO 606, JAPAN.				
雑誌名、書誌情報	PUBL : ARCH PATHOL LAB MED, VOL.112, NO.11, PP.1117-1120, 1988				
付加語	ADWD : HUMAN IMMUNOHISTOCHEMISTRY				
概念コード	CC : 01056 10063 10064 12504 16501 16506- 24003- 24004- 24006* 34502				
生物分類コード	BC : 86215				

(3) DATA710 形式

指定された項目が指定された順序で表示されます。1行1項目の形となります。次の図は項目名は? の問い合わせに項目名をすべて省略したときの例です。

	質問式回答番号	表示開始位置	ヒット件数
	# 0 1	3 / 5	5 件
BIOSIS抄録番号	BN	87034586	
雑誌コード	CD	JCIRA	
巻番号	VL	52	
発行番号	IS	6	
発行年	YR	1988	
ページ	PG	495-502	
雑誌名	S1	JPN CIRC J	
雑誌名(全文)	S2	JPN CIRC J	
使用言語コード	LG	EN	
著者名	AU	TAKATA T/YAMABE H/FUKUZAKI H/	
BIOSIS編集標題	TI	THE HEMODYNAMIC AND METABOLIC BASIS FOR DECREASED AEROBIC CAPACITY IN THE SUPINE EXERCISE COMPARED WITH THE UPRIGHT EXERCISE IN CORONARY ARTERY DISEASE	
付加語	AW	HUMAN IMPAIRED OXYGEN TRANSPORT REDUCED EXERCISE	
所属機関	OG	FIRST DEP. INTERN. MED., KOBE UNIV. SCH. MED., 7-5-1 KUSUNOKI-CHO, CHOU-KU, KOBE 650, JPN.	
概念コード	CC	10012	
	CC	12008-	
	CC	12010-	
	CC	13003-	
	CC	14501	
	CC	14504-	
	CC	14506*	
	CC	14508-	
	CC	15002-	
	CC	16004	
生物分類コード	BC	86215	

項目名に TI, AU, S2, VL, IS を指定したとき。

	# 0 1	5 件
	3 / 5	
BIOSIS編集標題	TI	THE HEMODYNAMIC AND METABOLIC BASIS FOR DECREASED AEROBIC CAPACITY IN THE SUPINE EXERCISE COMPARED WITH THE UPRIGHT EXERCISE IN CORONARY ARTERY DISEASE
著者名	AU	TAKATA T/YAMABE H/FUKUZAKI H/
雑誌名(全文)	S2	JPN CIRC J
巻番号	VL	52
発行番号	IS	6

3.4.2 応答形式

検索コマンド要求箇所で 'D' を入力します。

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),
データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? D DISPLAY コマンドを入力

表示形式は Biosis形式(B), 阪大形式(H), Data710形式(D), End, Finish

<B/H/D/E/F>? 表示形式の選択入力⁽¹⁾

質問式回答番号は? 検索結果の質問式回答番号の入力⁽²⁾

表示開始位置は? 表示開始位置の入力⁽³⁾

表示件数は? 表示件数の入力⁽⁴⁾

[CC-number と BC-number を表示しますか <Y(はい)/N(いいえ)>?

..... 概念コードと生物分類コードの表示の選択入力⁽⁵⁾]

[表示項目名は? 表示項目名の入力⁽⁶⁾]

(1)表示形式の選択

B: BIOSIS 形式、 HC または H: 阪大形式、 D: DATA710 形式

E: ディスプレイ コマンドを終了させます

F: BIOSIS データベースの検索システムを終了させます

HC は項目を 1 行改行で表示、H は項目間に 1 行空行が入ります。

(2)検索結果の質問式回答番号の入力

表示したい検索結果の質問式回答番号を入力します。

nn: 質問式回答番号、 E: (1)のレベルに戻ります、 省略時: 最新の回答番号

(3)表示開始位置の入力

何番目のデータから表示するか、開始する番号を入力します。

n: 出力開始位置、 E: (2)のレベルに戻ります、 省略時: 1 件目から

(4)表示件数の入力

データを何件表示するか、表示する件数を入力します。

n: 出力件数、 E: (3)のレベルに戻ります、 省略時: 開始位置から最後まで

[(5)概念コードと生物分類コードの表示選択

阪大形式を選択した場合のみ問い合わせがあり、概念コードと生物分類コードを表示するかどうかを入力します。

Y: コードを表示します、 N: 表示しません、 E: (4)のレベルに戻ります]

[(6)表示項目名の入力

DATA710 形式を選択した場合のみ問い合わせがあり、表示する項目を繰り返し入力します。

xx: 項目名、 E: (4)のレベルに戻ります

複数の項目を入力するときはカンマ(,) で区切ります。␣ キーのみで選択が終了します。指定された項目だけが指定された順序で表示されます。また、この入力をファイルから行う場合には <ファイル名 と入力します。項目名の最後の␣キーのかわりに >ファイル名 とすると、今まで指定した項目をファイルに出力し、表示が始まります。表示終了後、書き込む項目の位

置と件数の問い合わせがあります。]

3.4.3 実行例

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),
データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? S

質問式は? AU=YAMADA\$

0 1 7 0 9 件

質問式は? #1 AND AU=INOUE\$

0 2 1 1 件

質問式は? ☒

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),
データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? D

表示形式は Biosis形式(B), 阪大形式(H), Data710形式(D), End, Finish

<B/H/D/E/F>? HC

質問式回答番号は? ☒ 省略しているので 02 の番号入力と同じ

表示開始位置は? ☒ 省略しているので最初から

表示件数は? 1

CC-number と BC-number を表示しますか <Y(はい)/N(いいえ)>? Y

```
PRINT NO.      1      (      1/      11)
BIOSIS_NO.85015533   CODEN= JBCHA   LANGUAGE / EN
TITL : THE L AND R-TYPE ISOZYMES OF RAT PYRUVATE KINASE ARE PRODUCED FROM A SING
      LE GENE BY USE OF DIFFERENT PROMOTERS
AUTH : NOGUCHI T/ YAMADA K/ INOUE H/ MATSUDA T/ TANAKA T/
ORGA : DEP. NUTRITION AND PHYSIOL. CHEM., OSAKA UNIV. MED. SCH., NAKANOSHIMA, KI
      TA-KU, OSAKA 530, JPN.
PUBL : J BIOL CHEM, VOL.262, NO.29, PP.14366-14371,1987
ADWD : EC 2.7.1.40 COMPLEMENTARY DNA
CC   : 02506- 03506* 10052 10062 10064 10504 10804 10808- 13012-
      13014-
BC   : 86375
```

表示形式は Biosis形式(B), 阪大形式(H), Data710形式(D), End, Finish

<B/H/D/E/F>? D

質問式回答番号は? ☒

表示開始位置は? ☒

表示件数は? 1

表示項目名は? BN

表示項目名は? TI, AU 今まで入力した箇所で入力誤りに気がつけば ' E ' を

表示項目名は? S2 入力することにより 1 つずつ前のレベルに戻ります

表示項目名は? OG

表示項目名は? ☒

0 2 1 1 件

1 / 1 1

BN 85015533
TI THE L AND R-TYPE ISOZYMES OF RAT PYRUVATE KINASE ARE PRODUCED FROM A SINGLE GE
NE BY USE OF DIFFERENT PROMOTERS
AU NOGUCHI T/YAMADA K/INOUE H/MATSUDA T/TANAKA T/
S2 J BIOL CHEM
OG DEP. NUTRITION AND PHYSIOL. CHEM., OSAKA UNIV. MED. SCH., NAKANOSHIMA, KITA-KU
, OSAKA 530, JPN.
表示形式は Biosis形式(B), 阪大形式(H), Data710形式(D), End, Finish
<B/H/D/E/F>?

3.5 PRINT コマンド

SEARCH コマンドにより検索した結果を阪大センターのプリンタまたはリモート端局のプリンタに出力(印刷)します。また、阪大センターのプリンタに出力して、連絡所(利用者の所属している大学、高専、または部局に設置されています)へ郵送することもできます。なお、ネットワーク経由で利用した場合は、結果を阪大センターのディスクに保存し、BIOSIS検索終了後、阪大センターから抜け出し、各センターのネットワーク用 NVT または NTSS コマンド等を利用し結果を取り出すことができます。

出力の形式はディスプレイと同様、阪大形式、BIOSIS 形式、DATA710 形式の3種類があります。PRINT コマンドを実行するとそのたびごとにバッチジョブ*が発生します。

3.5.1 出力形式

DISPLAY コマンドと同じ形式で出力されます。ただし、DATA710 形式に関しては概念・生物分類コード項目はできるだけ1行にまとめて出力されます。

3.5.2 応答形式

検索コマンド入力箇所で 'P' を入力します。

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),
データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? P PRINT コマンドを入力します

プリント形式は? Biosis形式(B), 阪大形式(H), Data710形式(D), End, Finish

<B/H/D/E/F>? 出力形式の選択入力⁽¹⁾

出力結果を連絡所へ郵送しますか<Y(はい)/N(いいえ)>? 結果の送付先入力⁽²⁾

質問式回答番号は? 検索結果の質問式回答番号の入力⁽³⁾

出力開始位置は? 出力開始位置の入力⁽⁴⁾

* バッチジョブとは、あるデータ処理のためにデータをひとまとめにして計算機に実行させる事を言います。バッチジョブは TSS 処理や他のバッチジョブとは独立して処理されますので、印刷を行いながら検索を続ける事ができます。各ジョブを識別するためにジョブが発生したときに、そのジョブに対して受け付け番号(SNUMB 番号ともいう)が付与されます。以後この受け付け番号でジョブが識別されます。

出力件数は? 出力件数の入力⁽⁶⁾
 [CC-number と BC-numberを出力しますか <Y(はい)/N(いいえ)>? 概念コードと
 生物分類コードの出力の選択⁽⁶⁾]
 [項目名は? 項目名の入力⁽⁷⁾]
 S N U M B 番号# nnnnT 出力ジョブ受け付け番号の表示⁽⁸⁾

(1)出力形式の選択入力

B: BIOSIS 形式、 HC または H: 阪大形式、 D: DATA710 形式
 E: PRINT コマンドを終了、 F: BIOSIS データベース検索システムを終了
 省略時は阪大形式(H)とみなされます。
 HC は項目間を1行改行で表示し、H は項目間に1行空行がはいります。

(2)結果の送付先の入力

出力結果の送り先を入力します。
 Y: 結果を連絡所へ郵送、 N: 阪大センターのディスクに保存
 xx (リモート端局識別名): 指定されたリモート端局(豊中地区に設置)へ出力
 E: (1)のレベルに戻ります
 省略時は阪大センターのディスクに保存されます。Yが入力された場合、結果は自動的にプリンタに出力され連絡所へ郵送されます。ディスクへ保存した場合、8日間はそのまま保存(バッチジョブ保存日数)されますが、9日目にはシステムが自動的に消去します。必要な場合はそれまでに出力してください。

(3)検索結果の質問式回答番号の入力

出力したい検索結果の質問式回答番号を入力します。
 n: 質問式回答番号、 E: (2)のレベルに戻ります、 省略時: 最新の質問式回答番号

(4)出力件数の入力

何番目のデータから出力するか、開始する番号を入力します。
 n: 出力開始位置番号、 E: (3)のレベルに戻ります、 省略時: 1件目から

(5)出力件数の入力

データを何件表示するか、出力する件数を入力します。
 n: 出力件数、 E: (4)のレベルに戻ります、 省略時: 開始位置から全件数

[(6)概念コードと生物分類コードの出力選択入力

阪大形式を選択した場合のみ問い合わせがあり、概念コードと生物分類コードを出力するかどうかを指定します。
 Y: コードを出力します、 N: 出力しません、 E: (5)のレベルに戻ります]

[(7)項目名の入力

DATA710 形式を選択した場合のみ問い合わせがあり、出力する項目名を入力します。
 xx: 項目名、 E: (5)のレベルに戻ります
 <ファイル名: ファイルから項目名を入力します
 >ファイル名: 項目名をファイルに出力します。項目名の終了とみなされます。
 複数の項目名を直接入力するときはカンマ(,)で区切ります。指定された項目だけが指定された順序で出力されます。省略時は全項目とみなされます。ディスプレイと同じくファ

(8)出力ジョブ受け付け番号の表示

3.5.3 实行例

データベース切替(E), 終了(F)

質問式は？ TI=HORMONS AND AW=HORMONS

データベース切替(E), 終了(F)

<B/H/D/E/F>? HC 阪大形式を指定

出力件数は? 全件数

データベース切替(E), 終了(F)

<B/H/D/E/F>? D DATA710 形式指定

出力件数は? ☐ 63 件目から残りすべてを出力します

データベース切替(E) 終了(F)

Vol. 19 No. 2 1989-8

【ネットワーク経由での結果の取り出し】

出力結果を連絡所へ郵送しますかの問い合わせに‘Y’を入力した場合は、各連絡所へ結果が郵送されます。‘N’を指定した場合は阪大の磁気ディスク装置の中に保存されているので、各センターでのネットワーク用コマンドで結果を取り出してください。各センターにより取り出し方が異なりますので操作法は当該センターにお問い合わせください。

3.6 OPTION コマンド

このコマンドにより、

- ・今まで入力した質問式の表示
- ・質問式のファイルへの保存
- ・システムからのメッセージの出力の制御
- ・阪大形式で表示時の表示の一旦停止
- ・検索結果を BIOSIS 抄録番号で昇順あるいは降順に並び替え
- ・端末の1行の表示文字数の変更
- ・システムからの表示メッセージの英大文字／小文字の切り替え
- ・同じく日本語／英語の切り替え
- ・ファイル*内容の表示
- ・ファイルの削除
- ・カタログ*の下にあるすべてのファイル名の一覧表示
- ・センターからのお知らせの表示

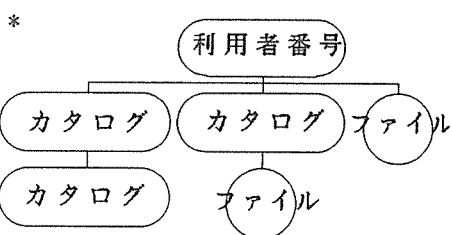
などができます。

検索コマンド選択箇所です。‘0’を入力します。

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),

データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? 0 OPTION コマンドの選択



一般には、関連ある情報の集合がファイルと言われていますが、ここではこの関連ある情報が磁気ディスク装置に書き込まれ保存されていることをいいます。ディスクに書き込むときに、自由に名前（英字で始まる8文字以内）をつけることができます。この作成されたファイルは利用者が削除しない限り永久に存在しますのでパーマネント（永久）ファイルとも呼ばれます。

カタログとは、このパーマネントファイルを管理するための管理情報のことで、いくつかのファイルをまとめていれておくファイルキャビネットのようなものとお考えください（カタログの下にカタログをつくることはできませんが、ファイルの下にカタログをつくることはできません）。カタログおよびファイルは利用者番号の下に自由に作成／削除することができます。利用者のカタログ構造は階層構造をなしており、利用者番号から数えて9レベル以内でなければなりません。ファイルやカタログを指定するときは、上位のカタログ名からファイル名までを / で区切り指定します。例えば、A60000/CATA1/FL1。利用者番号は省略でき、/CATA1/FL1 は前の例と同じ指定となります。

次にどのサブコマンドを選択するか問い合わせがありますので、使用するサブコマンド名2文字を入力します。

サブコマンド名 内容

HI : 質問・回答の履歴の表示

IS : ファイルへの質問式の保存

ME : システムからのメッセージの出力の制御

PA : 阪大形式表示時の一旦停止

SO : 検索結果の BIOSIS 抄録番号での昇順または降順での並べ替え

LL : 端末への表示文字長の変更

CA : システム メッセージの英大文字／小文字の切り替え

JM : システム メッセージの日本語／英語の切り替え

LF : ファイル内容の表示

DF : ファイルの削除

LC : カタログの下の全ファイル名の一覧表示

NE : お知らせの表示

E : オプション コマンドの終了

質問式履歴通覧(HI), 質問式保存(IS), メッセージ表示(ME), ポーズ(PA),

ソート(SO), 一行当たりの文字数(LL), 英大文字表示(CA), 日本語表示(JM),

ファイル内容表示(LF), ファイル削除(DF), ファイル名一覧(LC),

ニュース(NE), 終了(E)

<HI/IS/ME/PA/SO/LL/CA/JM/LF/DF/LC/NE/E>? …… サブコマンドの入力

3.6.1 E (End) ・オプションの終了

オプション コマンドを終了させる場合は‘E’を入力します。オプションの変更を行なった場合、変更したオプションのデータをファイルに保存するかどうかの問い合わせがあります。保存するなら‘Y’、しないなら‘N’を入力します。ファイルに保存した場合、次回にこのファイルを割り当てて‘BIOSIS’を呼び出すことにより、あらかじめ変更された形で BIOSIS 検索システムを利用できます。

保存するファイルがすでに存在する場合、以前の内容は消去され新たにデータが書き込まれます。ファイルが存在しない場合は自動的に作成され書き込まれます。また、ファイル名の問い合わせの箇所ではファイル名が省略された場合‘BIOPTION’が指定されたものとみなされます。

【実行例】

質問式履歴通覧(HI), 質問式保存(IS), メッセージ表示(ME), ポーズ(PA),

ソート(SO), 一行当たりの文字数(LL), 英大文字表示(CA), 日本語表示(JM),

ファイル内容表示(LF), ファイル削除(DF), ファイル名一覧(LC),

ニュース(NE), 終了(E)

<HI/IS/ME/PA/SO/LL/CA/JM/LF/DF/LC/NE/E>? E …… オプションの終了

オプションを保存しますか <Y(はい)/N(いいえ)>? Y …… オプションを保存

ファイル名は? BIOPT …… ファイル‘BIOPT’に書き込む

ファイルを作成しました /BIOPT 新規作成した旨のメッセージ
 キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),
 データベース切替(E), 終了(F)
 <B/S/D/P/O/E/F>?

3.6.2 HI (History) ・質問式履歴の通覧

検索中での質問式がヒットしたときのイメージとその集合に割り当てられた質問式回答番号並びにヒットした件数を表示します。ヒットしなかった質問式は表示されません。

【実行例】

質問式履歴通覧(HI), 質問式保存(IS), メッセージ表示(ME), ポーズ(PA),
 ソート(SO), 一行当たりの文字数(LL), 英大文字表示(CA), 日本語表示(JM),
 ファイル内容表示(LF), ファイル削除(DF), ファイル名一覧(LC),
 ニュース(NE), 終了(E)
 <HI/IS/ME/PA/SO/LL/CA/JM/LF/DF/LC/NE/E>? HI 質問式履歴の通覧
 番号 件数 質問式のイメージ
 #01 6 TI=MULTIGENE OR AW=MULTIGENE } ヒットした質問式の内容と
 #02 23 TI=BACTERIOPHAGE OR AW=BACTERIOPHAGE } 件数、質問式回答番号の表示

3.6.3 IS (Inquiry save) ・質問式のファイルへの保存

検索中に入力された質問式をファイルに保存します。質問式を表示させることもできます。質問式履歴の通覧と異なり、ヒットしなかった質問式も表示・保存されます。

【応答形式】 ‘IS’ を入力し、『機能は?』の問い合わせに ‘S (保存)’ または ‘L (表示)’ を入力します。

質問式履歴通覧(HI), 質問式保存(IS), メッセージ表示(ME), ポーズ(PA),
 ソート(SO), 一行当たりの文字数(LL), 英大文字表示(CA), 日本語表示(JM),
 ファイル内容表示(LF), ファイル削除(DF), ファイル名一覧(LC),
 ニュース(NE), 終了(E)

<HI/IS/ME/PA/SO/LL/CA/JM/LF/DF/LC/NE/E>? IS 質問式を保存
 機能は? <S(質問式保存)/L(質問式表示)/E(終了)>? 機能の入力⁽¹⁾

[質問式保存を選択した場合]

ファイル名は? ファイル名の入力⁽²⁾

ファイルを作成しました 作成ファイル名の表示⁽³⁾

保存開始番号は? 保存開始位置の入力⁽⁴⁾

保存件数は? 保存件数の入力⁽⁵⁾

[表示を選択した場合]

質問式が表示されます

(1)機能の入力

質問式を保存するか表示するかの選択を行います。

S: 質問式を保存します、 L: 質問式を表示します、 E: 終了

(2)ファイル名の入力

質問式を書き込むファイルの名前を入力します。既に存在するファイルが指定された場合は以前の内容は消去され新たに書き込まれ、存在しない場合は自動的に作成され書き込まれます。ファイル名は8文字以内の英字で始まる文字列です。

(3)作成ファイル名表示

新たにファイルが作成された場合に、ファイルの名前が表示されます。ファイルの先頭に‘ / ’がついているのは利用者番号が省略されていることを表わしています。

(4)保存開始位置の入力

保存する開始位置を入力します。省略すると最初からとなります。

(5)保存件数の入力

保存する件数を入力します。省略すると開始位置から全件数となります。

ブラウザ時の語番号や検索時の質問式回答番号を使った質問式もそのままファイルに保存されます。次回このファイルを使用して検索した場合、語番号や回答番号がファイルを保存したときの状態とは異なることが多いので、語番号や回答番号を保存して使用される場合は十分御注意ください。したがって、ファイルにはできるだけ語番号や回答番号の形で保存しない方がよいと思われます。

【実行例】

質問式履歴通覧(HI), 質問式保存(IS), メッセージ表示(ME), ポーズ(PA),
ソート(SO), 一行当たりの文字数(LL), 英大文字表示(CA), 日本語表示(JM),
ファイル内容表示(LF), ファイル削除(DF), ファイル名一覧(LC),
ニュース(NE), 終了(E)
<HI/IS/ME/PA/SO/LL/CA/JM/LF/DF/LC/NE/E>? IS 質問式の保存を選択
機能は? <S(質問式保存)/L(質問式表示)/E(終了)>? L 質問式の表示
1 : TI=MULTIGENE OR AW=MULTIGENE
2 : #1 AND AU=YAMADAS
3 : #1 AND LG=JA
4 : TI=BACTERIOPHAGE AND AW=BACTERIOPHAGE
5 : TI=BACTERIOPHAGE OR AW=BACTERIOPHAGE } この例では質問式が
5 回入力されている
機能は? <S(質問式保存)/L(質問式表示)/E(終了)>? S 保存を選択
ファイル名は? INQGENE 書き込むファイル名を入力
ファイルを作成しました /INQGENE
保存開始番号は? 0 開始位置を入力、この場合最初から
保存件数は? 0 書き込む件数を入力、この場合最初から全件数

3.6.4 ME (Message) ・システムからのメッセージ出力の制御

ふつうの状態では、検索システムからはまずメッセージが表示され、次に <> で囲まれた入力促進記号が表示され、入力待ちとなります。使いなれた利用者にとってはメッセージが出力される、というのは面倒な場合がありますのでメッセージの表示を停止する機能があります。ただし、エラーメッセージについては必ず出力されます。

【応答形式】 ‘ ME ’ を入力し『メッセージを表示しますか』の問い合わせに ‘ Y ’ または ‘ N ’ を入力します。

質問履歴通覧(HI), 質問式保存(IS), メッセージ表示(ME), ポーズ(PA),
ソート(SO), 一行当たりの文字数(LL), 英大文字表示(CA), 日本語表示(JM),
ファイル内容表示(LF), ファイル削除(DF), ファイル名一覧(LC),
ニュース(NE), 終了(E)

メッセ-ジ

<HI/IS/ME/PA/SO/LL/CA/JM/LF/DF/LC/NE/E>? ME

メッセージを表示しますか <Y(はい)/N(いいえ)>? ……メッセージを出力するか⁽¹⁾

(1) メッセージを出力するか

Y: 出力します、 N: 出力しません

【実行例】

<HI/IS/ME/PA/SO/LL/CA/JM/LF/DF/LC/NE/E>? ME

<H1/IS/ME/PA/SO/LL/CA/JM/LF/DF/LC/NE/E>? オプションコマンドの入力促進
その前のメッセージは表示されません

3.6.5 PA (Pause) ・阪大形式表示中の一旦停止

<HI/IS/ME/PA/SO/LL/CA/JM/LF/DF/LC/NE/E>? PA

<Y(はい)/N(いいえ)/n (一度に表示する件数を4桁以内で)>? ……表示を停止するか⁽¹⁾

(1)表示を停止するか

Y: 1 件ずつ停止します、 N: 停止しないで連続的に表示します

n (数値 4 桁以内) : 指定された件数分表示後、停止します

阪大形式で表示中、指定された件数を表示してから、入力待ちとなります。入力促進記号も何も出力されませんが、表示を停止するなら 'E'、続行するなら 'E' 以外 (␣キーだけでもよい) を入力します。

【実行例】

質問式履歴通覧(HI), 質問式保存(IS), メッセージ表示(ME), ポーズ(PA),
ソート(SO), 一行当たりの文字数(LL), 英大文字表示(CA), 日本語表示(JM),
ファイル内容表示(LF), ファイル削除(DF), ファイル名一覧(LC),
ニュース(NE), 終了(E)

<HI/IS/ME/PA/SO/LL/CA/JM/LF/DF/LC/NE/E>? PA

阪大形式表示中に指定した件数表示後、表示を休止しますか

<Y(はい)/N(いいえ)/n(1度に表示する件数を4桁以内で)>? 2 2件で一旦停止する

質問式履歴通覧(HI), 質問式保存(IS), メッセージ表示(ME), ポーズ(PA),
ソート(SO), 一行当たりの文字数(LL), 英大文字表示(CA), 日本語表示(JM),
ファイル内容表示(LF), ファイル削除(DF), ファイル名一覧(LC),
ニュース(NE), 終了(E)

<HI/IS/ME/PA/SO/LL/CA/JM/LF/DF/LC/NE/E>? E

オプションを保存しますか <Y(はい)/N(いいえ)>? N

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),
データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? S

質問式は? T1=GENE AND AW=GENE

#01 39 RECORDS

質問式は? ␣

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),
データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? D

表示形式は Biosis形式(B), 阪大形式(H), Data710形式(D), End, Finish

<B/H/D/E/F>? HC

質問式回答番号は? ␣

表示開始位置は? ␣

表示件数は? ␣

CC-number と BC-number を表示しますか <Y(はい)/N(いいえ)>? N

```
PRINT NO.      1      (      1/      39)
BIOSIS_NO.86113341  CODEN= JOBAA  LANGUAGE / EN
TITL : GENE ORGANIZATION IN THE REGION CONTAINING A NEW GENE INVOLVED IN CHROMOS
OME PARTITION IN ESCHERICHIA-COLI
}
PRINT NO.      2      (      2/      39)
BIOSIS_NO.86113352  CODEN= JOBAA  LANGUAGE / EN
TITL : ORGANIZATION AND TEMPORAL EXPRESSION OF A FLAGELLAR BASAL BODY GENE IN CA
ULOBACTER-CRESCENTUS
}
```

C 入力促進記号もメッセージも表示されません。 'E' 以外で表示

を継続します。☒キーのみでもかまいません。

```
PRINT NO.      3      (      3/      39)
BIOSIS_NO.86113358      CODEN= JOBAA      LANGUAGE / EN
TITL : CLONING AND EXPRESSION OF A SALMONELLA-ENTERITIDIS FIMBRINGENE IN ESCHERI
CHIA-COLI
```

```
      }
PRINT NO.      4      (      4/      39)
BIOSIS_NO.86113370      CODEN= JOBAA      LANGUAGE / EN
TITL : MOLECULAR CHARACTERIZATION AND NUCLEOTIDE SEQUENCE OF THE PSEUDOMONAS-AER
UGINOSA ELASTASE STRUCTURAL GENE
```

E ' E ' 入力で表示を終了

表示形式は Biosis形式(B), 阪大形式(H), Data710形式(D), End, Finish

<B/H/D/E/F>?

3.6.6 S0 (Sort) ・ BIOSIS 抄録番号での並び替え

検索結果を端末やプリンタに表示・出力するとき、表示される文献は BIOSIS 抄録番号の古い順(昇順)に表示されます。端末に表示するときは新しい文献から表示(降順)したい場合があります。検索結果を表示する前に指定された順番に並び替えます。

【応答形式】 ' S0 ' を入力し、ソートしますかの問い合わせに ' D ' または ' A ' を入力します。

質問式履歴通覧(HI), 質問式保存(IS), メッセージ表示(ME), ポーズ(PA),
ソート(S0), 一行当たりの文字数(LL), 英大文字表示(CA), 日本語表示(JM),
ファイル内容表示(LF), ファイル削除(DF), ファイル名一覧(LC),
ニュース(NE), 終了(E)

<HI/IS/ME/PA/S0/LL/CA/JM/LF/DF/LC/NE/E>? S0

BIOSIS抄録番号でソートしますか<D(降順)/A(昇順)/N(いいえ)>?..... 並べ替えを行うか⁽¹⁾

(1)並び替えを行うか

古い番号順(昇順)からか、新しい番号順(降順)からか、どちらで並び替えるかを入力します。

D: 新しい番号から並び替えます (Descending order)

A: 古い番号から並び替えます (Ascending order)

N: そのまま並び替えません

何も指定しないと古い番号順に表示されます。新しい番号順に表示する場合は並べ替えの作業が必要になりますので、表示時の質問式回答番号を入力した時、応答が少し遅くなります。

3.6.7 LL (Line length) ・ 表示文字長の変更

一般の端末は1行に80文字(英数字)が表示できますが、なかには1行132文字が表示できる端末もあります。1行に表示する文字数を変更します。

【応答形式】 ' LL ' を入力し文字数の問い合わせに表示したい文字数を入力します。

質問式履歴通覧(HI), 質問式保存(IS), メッセージ表示(ME), ポーズ(PA),
ソート(S0), 一行当たりの文字数(LL), 英大文字表示(CA), 日本語表示(JM),

<HI/IS/ME/PA/SO/LL/CA/JM/LF/DF/LC/NE/E>? LL

一行に表示する漢字の文字数を 20 から 39 の間で指定してください? ………

1 行に表示する文字数を入力します

日本語端末では 1 行 39 文字（漢字で）、日本語表示できない端末では 1 行 132 文字（英数字で）まで指定できます。何も指定しない場合は、日本語端末では 39 文字、日本語表示できない端末では 78 文字となっています。

3.6.8 CA (Capital) ・英大文字表示

BIOSIS 検索システムのメッセージは何も指定しないと日本語・英小文字を使用しています。日本語端末か否かは起動時に判断されますが、英大文字／小文字の判断は自動的にできません。英字のみの端末と判断されてシステムが起動された場合、英小文字の表示できない端末ではいわゆる文字化けが起きます。英字メッセージを英大文字に変換して表示します。

【応答形式】 ‘CA’ を入力し『大文字で表示しますか』の問い合わせに ‘Y (大文字表示)’ または ‘N (小文字表示)’ を入力します。

```
History, Inquiry save, Message, Pause, Sort, Line length, Capital,
Japanese message, List file, Delet file, List catalog, News, End
<HI/IS/ME/PA/SO/LL/CA/JM/LF/DF/LC/NE/E>? CA
Display message in capital <Y/N>? Y ……… 表示文字の選択(1)
HISTORY, INQUIRY SAVE, MESSAGE, PAUSE, SORT, LINE LENGTH, CAPITAL,
JAPANESE MESSAGE, LIST FILE, DELET FILE, LIST CATALOG, NEWS, END
<HI/IS/ME/PA/SO/LL/CA/JM/LF/DF/LC/NE/E>?
```

(1) 表示文字の選択

英字メッセージを表示する文字サイズを入力します。

Y: 大文字で表示、 N: 小文字で表示

この例では英小文字が表示できる端末を使用していますので文字化けが起きていませんが、英小文字が表示できない端末では文字化けが発生して、読めるメッセージができません。検索システムを呼び出すときに CAPI オプションを指定して呼び出してください。

*BIOS_{LC}CAPI=Y (BIOS_{LC}=Y でも可) ⇒ 3.1 BIOSIS の呼び出しとオプション

3.6.9 JM (Japanese message) ・日本語表示

PC-9801 等のパソコン端末では端末制御プログラム*により日本語を扱えるものがあります。BIOSIS 検索システムはパソコン端末で日本語が扱えるかどうかを自動的に判別できませんので、英字メッセージ用検索システムが起動されます。システムからのメッセージ（英語／日本語）を切り替えます。

* 端末制御プログラムとは端末エミュレータとも呼ばれ、パソコンを TSS の端末として利用できるように、計算機と端末との間のやりとりを制御するように作成された端末側にのせるプログラムをいいます。PC-9801 用に「ASTER」と言われる非常に使いやすいプログラムが阪大センターにあります。利用を希望される方は共同利用掛（☎ 06-877-5111 内線 2814）までお問い合わせください。

メッセージ用検索システムが起動されます。システムからのメッセージ（英語／日本語）を切り替えます。

【実行例】 ‘ JM ’ を入力し『Display in Japanese message?』の問い合わせに ‘ Y（日本語で表示） ’ または ‘ N（英語で表示） ’ を入力します。

```
History, Inquiry save, Message, Pause, Sort, Line length, Capital,  
Japanese message, List file, Delet file, List catalog, News, End  
<HI/IS/ME/PA/SO/LL/CA/JM/LF/DF/LC/NE/E>? JM  
Display in Japanese message <Y/N>? Y  
質問式履歴通覧(HI), 質問式保存(IS), メッセージ表示(ME), ポーズ(PA),  
ソート(SO), 一行当たりの文字数(LL), 英大文字表示(CA), 日本語表示(JM),  
ファイル内容表示(LF), ファイル削除(DF), ファイル名一覧(LC),  
ニュース(NE), 終了(E)  
<HI/IS/ME/PA/SO/LL/CA/JM/LF/DF/LC/NE/E>?
```

BIOSIS 検索システムは検索システム本体と実際にデータベースを検索する DATA710 とからなっています。途中でメッセージの表示形式を変更した場合、検索システム本体はメッセージを切り替えますが DATA-710 は切り替わりません。メッセージを完全に切り替えたい場合は、この JM サブコマンドを指定した後、データベース選択要求の箇所に戻りデータベースを切り替えてください。ただし、今まで検索した結果はすべて消去されます。

3.6.10 LF (List file) ・ファイル内容表示

BIOSIS システムを使っているときに、いろいろなファイルの内容を見たいときがあります。ファイルの内容を表示します。

【実行例】

```
質問式履歴通覧(HI), 質問式保存(IS), メッセージ表示(ME), ポーズ(PA),  
ソート(SO), 一行当たりの文字数(LL), 英大文字表示(CA), 日本語表示(JM),  
ファイル内容表示(LF), ファイル削除(DF), ファイル名一覧(LC),  
ニュース(NE), 終了(E)  
<HI/IS/ME/PA/SO/LL/CA/JM/LF/DF/LC/NE/E>? LF  
ファイル名は? INQGENE  
TI=MULTIGENE OR AW=MULTIGENE  
#1 AND AU=YAMADAS  
#1 AND LG=JA  
TI=BACTERIOPHAGE AND AW=BACTERIOPHAGE  
TI=BACTERIOPHAGE OR AW=BACTERIOPHAGE } ..... ファイルの内容  
質問式履歴通覧(HI), 質問式保存(IS), メッセージ表示(ME), ポーズ(PA),  
ソート(SO), 一行当たりの文字数(LL), 英大文字表示(CA), 日本語表示(JM),  
ファイル内容表示(LF), ファイル削除(DF), ファイル名一覧(LC),  
ニュース(NE), 終了(E)  
<HI/IS/ME/PA/SO/LL/CA/JM/LF/DF/LC/NE/E>?
```

3.6.11 DF (Delet file) ・ファイルの削除

不必要なファイルを削除します。一旦削除してしまうと、そのファイルは復活できませんので御注意ください。

【実行例】

質問式履歴通覧(HI), 質問式保存(IS), メッセージ表示(ME), ポーズ(PA),
ソート(SO), 一行当たりの文字数(LL), 英大文字表示(CA), 日本語表示(JM),
ファイル内容表示(LF), ファイル削除(DF), ファイル名一覧(LC),
ニュース(NE), 終了(E)
<HI/IS/ME/PA/SO/LL/CA/JM/LF/DF/LC/NE/E>? DF
ファイル名は? INQGENE
ACCE501 I ファイル INQGENE をリリース*しました …… ファイルを削除したメッセージ
質問式履歴通覧(HI), 質問式保存(IS), メッセージ表示(ME), ポーズ(PA),
ソート(SO), 一行当たりの文字数(LL), 英大文字表示(CA), 日本語表示(JM),
ファイル内容表示(LF), ファイル削除(DF), ファイル名一覧(LC),
ニュース(NE), 終了(E)
<HI/IS/ME/PA/SO/LL/CA/JM/LF/DF/LC/NE/E>?
* ファイルを削除することをリリースすると言います。

3.6.12 LC (List catalog) ・カタログ下のファイル名表示

カタログの下でのファイル名やカタログ名を表示します。ファイル名が指定された場合はそのファイルの属性(作成者、作成日、ファイル容量等)を表示します。カタログ名が省略された場合は利用者番号の直下にあるファイル名とカタログ名を表示します。

【実行例】

質問式履歴通覧(HI), 質問式保存(IS), メッセージ表示(ME), ポーズ(PA),
ソート(SO), 一行当たりの文字数(LL), 英大文字表示(CA), 日本語表示(JM),
ファイル内容表示(LF), ファイル削除(DF), ファイル名一覧(LC),
ニュース(NE), 終了(E)
<HI/IS/ME/PA/SO/LL/CA/JM/LF/DF/LC/NE/E>? LC
カタログ名は? ☐ …… 省略していますので利用者番号直下の名前を表示します
LIST OF CATALOG A60000 ON 02/02/89 AT 9:37:32
FUJIMOTO GDFILE *GMAP *GOKAN *IKOU *INQ ..INIT ..MICS J
JJ1 JJ2 JJ *JPR

カタログ名には先頭に*が付加されています。*が付加されているカタログにはまだその下にファイルやカタログが存在する可能性があります。

3.6.13 NE (News) ・お知らせ表示

センターからの BIOSIS 利用者へのお知らせを表示します。

【応答形式】 ‘NE’ を入力し機能番号の問い合わせに1～3の番号を入力します。

質問式履歴通覧(HI), 質問式保存(IS), メッセージ表示(ME), ポーズ(PA),
ソート(SO), 一行当たりの文字数(LL), 英大文字表示(CA), 日本語表示(JM),
ファイル内容表示(LF), ファイル削除(DF), ファイル名一覧(LC),
ニュース(NE), 終了(E)

<HI/IS/ME/PA/SO/LL/CA/JM/LF/DF/LC/NE/E>? NE

1, 2, 3 のいずれかの番号を入力してください。

1: データ登録状況、 89/01/12

2: バグ(不良点) 状況 (現在無し)

3: 機能追加情報 (現在無し)

番号は? 表示させたい番号を入力します

3.7 ヘルプ(HELP) コマンド

ヘルプメッセージを表示します。入力待ちの箇所での様にすればよいかわからないとき、‘?’
または‘HELP’を入力してください。もう少し詳しい情報が表示されます。

【実行例】SEARCH コマンド中の『質問式は?』の箇所で HELP コマンドを入力。

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),

データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? S

質問式は? HELP

次の中から1つ選択してください

1: 質問式入力形式

2: 質問式入力具体例

3: 質問式のファイルからの入力と保存

4: ここで使用できるコマンド、サブコマンド

9: 終了(省略時既定値)

番号は? 1

検索の方法にはキー検索とデータ検索の2種類が～
(省略): 検索終了

}説明文の表示

第4章 知っていると便利な機能

4.1 BIOSIS 起動時のオプションとオプションファイル

OPTION のうちには常に指定しておきたいものがあると思われます。(⇒3.6 OPTION コマンド)
次のオプションは BIOSIS 検索システムを呼び出すときに指定することもできます。オプションを指定せずに呼び出した場合、日本電気製の日本語端末ではメッセージは日本語で出力され、日本語端末以外では英小文字でメッセージが出力されます。

表 4.1 指定できるオプションとパラメータ

オプション	内 容	パ ラ メ ー タ
TERM	日本語・英語端末の切り替え	J:日本語端末 N:英語端末
CAP1	表示メッセージの英大文字への切り替え	Y:英大文字端末 N:英小文字端末
MESS	システムからのメッセージ出力の切り替え	Y:メッセージ出力 N:メッセージ省略
FILE	オプションファイルからの起動。	ファイル名

オプションと BIOS の間は1つ空白をあげ、複数のオプションを指定するときは‘,’で区切ります。また、オプション名は下線を引いた1文字でもかまいません。

*BIOSCAPI=Y, MESS=N

*BIOSC=Y, M=N

OPTION コマンドでオプションのデータをファイルに保存してある場合‘FILE’オプションでファイルを指定して呼び出すこともできます。

*BIOSF=/BIOP

ファイルの中に設定されたオプションと呼び出し時のオプションが重なったとき、呼び出し時に指定されたオプションが優先されます。

4.2 検索中の他のコマンドの利用

検索中の『質問式は?』の箇所ではBROWSE、DISPLAY、その他のコマンドが使用できます。OPTION コマンドのサブコマンドも直接使用できます。

『質問式は?』の問い合わせに対して、先頭に‘@’を付加してコマンド名(B, S, D, P, O) 1文字を入力してください。オプションのサブコマンドを呼び出す場合も同様に@を付加してサブコマンド名(HI, IS, ME, PA, SO, LL, CA, LF, DF, LC, NE) 2文字を入力してください。ただし、OPTION コマンドを直接呼ばれた場合は、変更したオプションのデータをファイルに保存することはできません。

【実行例】

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),

データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? S

質問式は? GENETIC

0 1 2 8 7 件

質問式は? @B BROWSE コマンドの呼出

項目名は? TI

キーワードは? ENGINE

番号 件数 キーワード (項目名=TITL)

%001 1 ENERGY-METABOLISM
 }

%009 4 ENGINEERED

%010 2 ENGINEERING

%011 2 ENGINEERS
 }

%015 1 ENGRAVER

表示を続けますか <Y(はい)/N(いいえ)/E(項目名切り替え)>? N

質問式は? #1 AND %10

0 2 4 1 件

質問式は? @D DISPLAY コマンドの呼出

表示形式は Biosis形式(B), 阪大形式(H), Data710形式(D), End, Finish

<B/H/D/E/F>? HC

質問式回答番号は? ④

表示開始位置は? ④

表示件数は? 1

CC-number と BC-number を表示しますか <Y(はい)/N(いいえ)>? N

```
PRINT NO.        1    (        1/        41)
BIOSIS_NO.86112949    CODEN= SMHAE    LANGUAGE / EN
TITL : OPTIMIZATION OF FERMENTATION CONDITIONS FOR PRODUCTION OF RECOMBINANT HUM
      AN INTERLEUKIN-2 IN ESCHERICHIA-COLI
AUTH : LEE I Y/ KIM M K/ NA D S/ HAHM K-S/ HAN M H/ LEE S B/
ORGA : GENET. ENG. CENT., KOREA ADVANCED INST. SCI. TECHNOL., P.O. BOX 131, CHEO
      NGRYANG, SEOUL 130-650, KOREA.
PUBL : KOREAN J APPL MICROBIOL BIOENG, VOL.16, NO.4, PP.327-333,1988
ADWD : BIOTECHNOLOGY GENETIC ENGINEERING NUTRITION CELL GROWTH PLASMID GENE EXPR
      ESSION
```

表示形式は Biosis形式(B), 阪大形式(H), Data710形式(D), End, Finish

<B/H/D/E/F>? E

質問式は?

4.3 毎回決まった質問式で検索したい (質問式のファイルからの入出力)

検索時に入力された質問式をファイルに保存し、そのファイルを指定することにより同じ検索ができます。

ファイルへの質問式の書き込みは『質問式は?』の箇所で ' > ' とともに書き込むファイルの名前を指定します。

ファイルからの質問式の入力は ' < ' とともに入力するファイルの名前を指定します。

ファイルへ出力する場合は今まで入力された質問式が表示され、保存開始位置と保存件数が問

い合わされます。指定されたファイルが存在しない場合は自動的に作成され、存在する場合は内容を消去して質問式を書き込みます。

【ファイル出力の操作】

質問式は？ >ファイル名 ファイル名とともに指定

1 : VIRUS

2 : BACTERIOPHAGE

3 : #1 OR #2

} いままで入力された質問式の表示

保存開始番号は？ 開始位置の指定、省略時は最初から

保存件数は？ 開始位置から保存する件数の指定

省略時開始位置から全質問式

語番号や質問式回答番号も保存できますが、次回その語番号や質問式回答番号がうまく対応しているとは限りませんので語番号や回答番号を保存しない方がよいと思われます。

【ファイル入力操作】

質問式は？ <ファイル名 ファイル名とともに指定

ファイルが存在しない場合、“ D710-B201 F 質問式の形式が正しくない。” というメッセージが出力されます。また、ファイル内にファイル入力を指定することはできません。

【実行例】

*BIOS

データベース名は？ <B(BA)/R(RRM)/N(ニュース)/F(終了)>? B

しばらくお待ちください

Nq レコードセット名

補足説明

#01 BA80 1980. VOL. 69 & VOL. 70 : 165000REC

}

#10 BACURR CURR VOL. 86 ISSU 11-12 : 21676REC

#11 BA89 89 RECORD SET BA

レコードセット番号は？ 10

レコードセット番号は？ (キャリッジリターンで次に進みます) ☐

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),

データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? S

質問式は？ VIRUS

0 1 4 8 1 件

質問式は？ BACTERIOPHAGE

0 2 2 3 件

質問式は？ #1 AND #2

0 3 1 件

質問式は？ >VIRUS01

1 : VIRUS	}	 いままで入力された質問式イメージが表示されます
2 : BACTERIOPHAGE		
3 : #1 AND #2		

ファイルを作成しました /VIRUS01 新規作成した旨のメッセージ

保存開始番号は? 0 省略しているので最初から

保存件数は? 0 省略しているので保存開始位置から全件数

質問式は? 0

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),

データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? E データベースの切り替え

データベース名は? <B(BA)/R(RRM)/N(ニュース)/F(終了)>? R BA/RRMの選択

しばらくお待ちください

No	レコードセット名	補足説明
#01	RRM80	1980. VOL. 18 & VOL. 19 : 125004REC
	}	
#10	RRMCURR	CURR VOL. 35 ISSU 11-12 : 20280REC
#11	RRM89	89 RECORD SET RRM

レコードセット番号は? 10

レコードセット番号は? (キャリッジリターンで次に進みます) 0

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),

データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? S

質問式は? <VIRUS

D710-B201 F 質問式の形式が正しくない。 ファイル名が誤っています

質問式は? <VIRUS01

0 1 3 8 1 件 VIRUS

0 2 1 0 件 BACTERIOPHAGE

0 3 1 件 #1 AND #2。この #1 と #2 の番号は存在するか
 どうか分かりません。この例の時は1行目と2行目の質問式がたまたまヒッ
 トしたので問題はありますが、1行目2行目の質問式がヒットしなかった
 場合この3行目の質問式はエラーとなります。質問式回答番号や語番号は保
 存しない方がよいでしょう。ファイルから質問式を入力した場合、現在のと
 ころ質問式のイメージは表示されません。ただし、HI サブコマンドで質問式
 の履歴を通覧した場合は表示されます。

質問式は?

4.4 検索したい文字列があいまいである

前方一致検索で文字列の後半があやふやなまま検索できます。また、データ検索では中間一致や
 後方一致による検索もできます。(⇒3.3 SEARCH コマンド)

4.5 ファイルの名前を忘れた

ファイルの名前や内容を確認したい場合、オプション コマンドの 'LC'、'LF' サブコマンドで確認できます。(⇒3.6.12 LC サブコマンド、3.6.10 LF サブコマンド)

【実行例】

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),
データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? S

質問式は? @LC

カタログ名は? ☑ ... 省略時は利用者番号直下が表示されます

LIST OF CATALOG A60000 ON 02/27/89 AT 16:11:05

A	AA	*AAAAAAA	ABC	*APPLIC	BIOIN	BIOPT	*UTILITY
*UTL2	VIRUS01	*VOLPRP		↑			

質問式は? @LF

*印はカタログを示しています

ファイル名は? VIRUS01

VIRUS	}	 ファイルの内容
BACTERIOPHAGE		
#1 AND #2		

質問式は?

4.6 いつも決まった特定項目のみを表示したい

検索結果を表示あるいは出力するとき、DATA710 形式を選択すれば、表示する項目を選択することができ、指定した順序で表示させることができます。また、指定した項目をファイルに保存しておき、項目名入力時にファイルから入力することもできます。ファイルへの出力は ' > ' とともにファイル名を、入力は ' < ' とともにファイル名を指定します。

【実行例】

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),
データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? S

質問式は? PROTEIN

0 1 1 0 2 8 件

質問式は? #1 AND AMINO

0 2 6 5 件

質問式は? @D

表示形式は Biosis形式(B), 阪大形式(H), Data710形式(D), End, Finish

<B/H/D/E/F>? D

質問式回答番号は? ☑

表示開始位置は? ☑

表示件数は? 1

表示項目名は? BN, TI, AU, S2

表示項目名は? ☐

表示項目名は? >ITEM01 ' > ' とともにファイルを指定します
0 2 6 5 件 項目名入力 of 終了とみなされ表示が始まります
 1 / 6 5

BN 86109498

T1 EFFECT OF MAGNET TREATMENT ON SOME BIOLOGICAL CHANGES IN MAIZE PLANTS

AU MITROV P P/KRUMOVA Z T/BAJDANOVA V D/

S2 FIZIOL RAST (SOFIA)

BIO-D550 I ファイルを作成しました /ITEM01 ファイルがない場合作成されます

保存開始位置は? ☐ どの項目名から保存するか。省略時最初から

保存件数は? ☐ 保存する件数。省略時開始位置から全件数

表示形式は Biosis形式(B), 阪大形式(H), Data710形式(D), End, Finish

<B/H/D/E/F>? D

質問式回答番号は? ☐

表示開始位置は? 2

表示件数は? 1

表示項目名は? <ITEM01 項目 of ファイルからの入力

表示項目名は? ☐ 項目名を追加できます、なければ ☐ キーを押します

0 2 6 5 件

 2 / 6 5

BN 86111426

T1 INACTIVATION OF AMINO ACID TRANSPORT IN RAT HEPATOCYTES AND HEPATOMA CELLS BY
PCMBs

AU CHILES T C/DUDECK-COLLART K L/KILBERG M S/

S2 AM J PHYSIOL

表示形式は Biosis形式(B), 阪大形式(H), Data710形式(D), End, Finish

<B/H/D/E/F>?

4.7 最新のデータから表示したい

OPTION コマンド of S0 サブコマンドで降順の指定をします。

(⇒ 3.6.6 S0 (Sort) ・BIOSIS 抄録番号での並び替えコマンド)

【実行例】

質問式は? PSYCHOLOGY

0 3 3 9 件

質問式は? #1 AND CLINICAL

0 4 1 1 件

質問式は? @D

表示形式は Biosis形式(B), 阪大形式(H), Data710形式(D), End, Finish

<B/H/D/E/F>? HC

質問式回答番号は? ☐

表示開始位置は? Q

表示件数は? 1

CC-number と BC-number を表示しますか <Y(はい)/N(いいえ)>? N

PRINT NO. 1 (1/ 11) 標準では抄録番号の古い順に表示されます

BIOSIS_NO. 86111519 CODEN= JOPRA LANGUAGE / EN

TITL : ENZYME ACTIVITY IN CREVICULAR FLUID FOR DETECTION AND PREDICTION OF CLINICAL ATTACHMENT LOSS IN PATIENTS WITH CHRONIC ADULT PERIODONTITIS SIX MONTH RESULTS

}

表示形式は Biosis形式(B), 阪大形式(H), Data710形式(D), End, Finish

<B/H/D/E/F>? E

質問式は? QSO

BIOSIS 抄録番号でソートしますか <D(降順)/A(昇順)/N(いいえ)>? D

質問式は? QD

表示形式は Biosis形式(B), 阪大形式(H), Data710形式(D), End, Finish

<B/H/D/E/F>? HC

質問式回答番号は? Q

表示開始位置は? Q

表示件数は? 1

CC-number と BC-number を表示しますか <Y(はい)/N(いいえ)>? N

PRINT NO. 1 (1/ 11) 最新の抄録番号から表示されます

BIOSIS_NO. 86128794 CODEN= BBACA LANGUAGE / EN

TITL : LYOPHILIZED CLOSTRIDIUM-PERFRINGENS 3-ALPHA HYDROXYSTEROID DEHYDROGENASES AND CLOSTRIDIUM-BIFERMENTANS 7-ALPHA HYDROXYSTEROID DEHYDROGENASES TWO NEW STABLE ENZYME PREPARATIONS FOR ROUTINE BILE ACID ANALYSIS

}

表示形式は Biosis形式(B), 阪大形式(H), Data710形式(D), End, Finish

<B/H/D/E/F>? E

質問式は?

4.8 一行で質問式が入力できない

質問式が長すぎて1行で入力できないとき、データの最後(どこでも良い)に‘&&’(継続行)を入力するか、質問式の中でキーワードの部分ブラウズした語番号で置き換えます。

4.9 表示・プリントコマンド中の入力誤り

質問式回答番号、出力開始位置等を入力している段階で誤りに気づいたとき、各入力待ち箇所では‘E’を入力することにより1つ前のレベルに戻り、再入力できます。

4.10 その他の便利な機能

この章では、知っている便利な機能を9つ紹介しました。このようなことはどのようにすればよいのかとか、こんなことができれば便利ではないか、という機能があれば、お知らせください。
(☎06-877-5111内線2835)

第5章 BIOSIS Previews データベースの構造

BIOSIS Previews の BA を BA データベース、BA/RRM を RRM データベースとして、データを分けて登録しています。データは分けていますがデータベースの構造、項目などはまったく同じです。

5.1 データベースの項目と抽出・登録されているキーワード

各データベースには15個の項目があり、すべての項目で検索可能です。なお、項目によりキーワードの抽出の仕方が異なっています。

5.1.1 BA と BA/RRM の項目と内容

項目の形式と長さは表 5.1 のとおりです。

表 5.1 データベースの項目と内容

項 目	形 式	長 さ	内 容
BN, BANO	英数字	8 桁	BA 抄録番号
CD, CODE	英数字	5 桁	雑誌コード
TI, TITL	英数字	可 変	BIOSIS編集標題
AU, AUTH	英数字	可 変	著者
OG, ORGA	英数字	可 変	著者所属機関
S1, SOU1	英数字	40 桁	掲載誌名(40字)
S2, SOU2	英数字	可 変	掲載誌名
VL, VOLU	英数字	11 桁	巻番号
IS, ISSU	英数字	21 桁	発行番号
PG, PAGE	英数字	19 桁	頁
YR, YEAR	数値	4 桁	発行年
LG, LANG	英数字	2 桁	言語コード
AW, ADWD	英数字	可 変	付加語
CC, CONC	英数字	6 桁	概念コード
BC, BSYS	英数字	6 桁	生物分類コード

5.1.2 項目 BN

BA と BA/RRM 及び BIOSIS Previews に付与されている巻番号(2桁)と各巻に掲載されている文献の参照番号(各巻で1から始まる6桁の一連番号)を組み合わせた8桁の BIOSIS 抄録番号が入っています。先頭2桁が巻番号、残り6桁が参照番号となっています。

BIOSIS 社から発行されている磁気テープに収録されている巻番号・参照番号は次の通りです。

年	巻番号	参照番号	年	巻番号	参照番号
1980	69 BA	1-82,500	1985	79 BA	1-110,004
	70 BA	1-82,500		80 BA	1-110,004
	18 BA/RRM	1-65,502		28 BA/RRM	1-110,004
	18 BA/RRM	1-62,502		29 BA/RRM	1-110,000
1981	71 BA	1-85,008	1986	81 BA	1-117,504
	72 BA	1-85,008		82 BA	1-117,496
	20 BA/RRM	1-65,004		30 BA/RRM	1-117,992
	21 BA/RRM	1-65,004		31 BA/RRM	1-117,008
1982	73 BA	1-87,504	1987	83 BA	1-124,742
	74 BA	1-87,504		84 BA	1-125,258
	22 BA/RRM	1-70,008		32 BA/RRM	1-122,286
	23 BA/RRM	1-70,008		33 BA/RRM	1-127,714
1983	75 BA	1-92,508	1988	85 BA	1-128,970
	76 BA	1-92,508		86 BA	1-131,030
	24 BA/RRM	1-75,000		34 BA/RRM	1-131,786
	25 BA/RRM	1-75,000		35 BA/RRM	1-128,214
1984	77 BA	1-96,504			
	78 BA	1-96,504			
	26 BA/RRM	1-83,508			
	27 BA/RRM	1-83,508			

キーワードとしては8桁の数字がそのまま抽出・登録されています。

登録されているキーワードの例を示します。

【項目 BN】								
69000001	:	69000005	:	70082496	:	34131780	:	34131784
69000002	:	69000006	:	70082497	:	34131781	:	34131785
69000003	:	70082494	:	70082498	:	34131782	:	
69000004	:	70082495	:	70082499	:	34131783	:	

【検索例】 BN=69000001 抄録番号が 69000001 を検索します

BN>86013100 抄録番号が 86013100 より大きいものを検索します

5.1.3 項目 CD

CODEN あるいは NUMBEN が入っています。CODEN は Chemical Abstracts Service により各定期刊行物に割り当てられた5桁の文字コードです。例えば、'Journal of Radioanalytical Chemistry' には 'JRACB' が割り当てられています。発行物の記号の詳細は、'Serial Sources for the BIOSIS Data Base' に収録されています。

NUMBEN は単行本または CODEN を持たない書籍に割り当てられた5桁の数字コードです。ただし、BA/RRM のデータにしか存在しません。

キーワードは5桁の英数字コードがそのまま抽出・登録されています。

次に登録されているキーワードの例を示します。

【項目 CD】					
AAAHA	AABEA	HAIRD	ZVRAA	ZWLAA	07325
AAAMA	AABIA	HAIND	ZVRBA	ZWMZD	07326
AAARB	HAEMA	HAJRA	ZVRHA	07316	07327
AABCA	HAEMB	HAOND	ZWABA	07317	07329

【検索例】 CD=JRACB 雑誌 Journal of Radioanalytical Chemistry を検索します
 CD=NARHA 雑誌 Nucleic Acids Research を検索します

5.1.4 項目 TI

文献の標題が入っています。BA/RRM では米国特許に関する情報が格納されている場合もあります。標題は次の例外をのぞいて、BIOSIS 編集スタッフにより米国式綴りに準拠して翻訳され、ある種の言葉は略記号が使用されています。

① ハイフオン '-' を含む単語、あるいは英数字の文字列が ' ' で分割されている場合があります (Hyphenation)。

例 N-ethylbenzenamine → N ETHYLBENZENAMINE
 11-deoxy → 11 DEOXY

② 複数の単語がハイフオン '-' で結ばれている場合があります (Hyphenation)。

例 Cape Town → CAPE-TOWN
 ab libitum → AB-LIBITUM
 Glossina morsitans → GLOSSINA-MORSITANS

③ 1984 年以前のいくつかの単語は、検索しやすくするために空白で分けられ、複数の単語になっている場合があります (Word Segmentation)。

例 1985~ 1980~1984
 IMMUNOELECTROPHORESIS → IMMUNO ELECTROPHORESIS
 CARBON DIOXIDE → CARBON DI OXIDE

略記号および綴り字・句読法についての規則と方針は 'BIOSIS Search Guide' に掲載されています。略記号については付録に掲載してありますので御参照ください。

キーワードはシステムで設定された区切り文字 (文章中の単語と単語の切れ目を識別する文字) と不要語 (キーワードとして抽出・登録したくない単語) を用い、標題のデータから次の例のように抽出・登録されています。

(項目「TI」のデータ)

BIOCHEMICAL FEATURES OF THE GRAIN OF HEXAPLOID TRITICALE

_____ キーワード 不要語 ' ' 区切り文字

したがって、1 件の文献でもほとんどの場合、複数のキーワードが存在します。

区切り文字一覧

' ! " ' () , . / : ; < > ? [] ^

不要語一覧

A ⁽¹⁾	BETWEEN	FAR	INC	NOW	SO	TO	WHEN
N ⁽²⁾	BIG	FEW	INTO	OF	SOME	TOO	WHERE
ABOUT	BOTH	FIVE	IS	OFF	SOON	TOWARD	WHICH
AFTER	BUT	FOR	IT	OLD	ST	TOWARDS	WHILE
AGO	BY	FOUR	ITS	ON	TEN	TWO	WHO
ALL	CAN	FROM	IV	ONE	THAN	UNDER	WHOLE
ALMOST	CO	FURTHER	MAIN	ONLY	THAT	UP	WHOM
ALSO	COULD	GOOD	MANY	OR	THE	UPON	WHOSE
AMONG	DID	HAS	MAY	OTHER	THEIR	UPPER	WHY
AN	DO	HAVE	ME	OUR	THEM	UPWARD	WILL
AND	DOES	HE	MORE	OUT	THEN	US	WITH
ANY	DOING	HER	MOST	OVER	THERE	VI	WITHIN
ARE	DR	HERE	MR	PART	THESE	VIA	WITHOUT
AS	DURING	HIM	MUCH	SAME	THEY	VOL	WOULD
AT	EACH	HIS	MY	SECOND	THIRD	VS	YET
BE	EASY	HOW	NEW	SEVEN	THIS	WAS	YOU
BEEN	EIGHT	IF	NINE	SHALL	THOSE	WE	YOUR
BEFORE	END	II	NO	SHE	THREE	WELL	
BEING	ETC	III	NOT	SHOULD	THROUGH	WERE	
BEST	EX	IN	NOTE	SIX	THRU	WHAT	

(1) 英字 1 文字の語を不要語にします

(2) 数値を不要語にします

ピリオドおよびコンマが区切り文字として採用されているため、省略形の ‘ . ’ および ‘ , ’ が抽出されません。

次に抽出・登録されているキーワードの例を示します。登録されている例を見ると分かりますが、語尾が変化している単語もそのまま抽出・登録されています。検索するときには注意してください。どのようなものがあるかは、BROWSE コマンドで確認できます。

【項目 T1】	
8A-BETA-TRIMETHYL-2-BETA-NAPHTHALENYL	HORMOGONOUS
8A-TETRAHYDROQUINAZOLINE-2-1H-THIONES	HORMON
A-1-13-TRIDECAPEPTIDE	HORMONAL
A-1-ADENOSINE	HORMONAL-METABOLIC
A-1-B-8-DR-3	HORMONAL-STIMULATED
AABBRR	HORMONALLY
ADOVCA	HORMONALLY-INDUCED
ADOXACEAE	HORMONALLY-MEDIATED
ADOXOPHYES-ORANA	HORMONALLY-STIMULATED
ADOXOPHYES-ORANA-FASCIATA	HORMONE
ADOXOPHYES-PRIVATARA	HORMONE-1
ADP-3-DEOXPENTOS-2-ULOSE	HORMONE-1-34

ADP-BINDING	:	HORMONE-1-44
ADP-GLUCOSE	:	PATELLOGASTROPODA
ADP-INDEPENDENT	:	PATENT-4364759

【検索例】 TI=CALCIUM 標題に単語 CALCIUM を含む文献を検索します
TI=HORMONS 標題に単語 HORMON～を含む文献を検索します

5.1.5 項目 AU

著者名が入っています。原文献と同じ順序で10名までの著者が収録されており、11名以上の場合は最初の9名と ET. AL が収録されています。

著者名は先に姓が書かれ空白の後ろに名のイニシャルが続きます。特殊文字が含まれている場合もあります。団体著者名の場合は American National Standards Institute (ANSI) のリストに従って略されています。著者名が存在しない場合は 'ANON' となっています。この場合、著者に関する情報が標題 (TI) あるいは著者所属機関 (OG) の項目に入っていることがあります。

キーワードは空白、特殊文字を含んだまま抽出・登録されています。

抽出・登録されているキーワードの例を示します。

【項目 AU】						
A'ZARY E	:	AABERGE I S	:	JOHNSINGH A J T	:	YAMADA A
A-AL-NAIMI	:	AADNEGARD B	:	JOHNSON A	:	YAMADA A T
A-ALIM M	:	JOHNSEN T	:	JOHNSON A A	:	YAMADA C
AABAKKEN L	:	JOHNSEN T B	:	YAMABE T	:	ZYVOLOSKI M G
AABAKKEN R	:	JOHNSEN T N JR	:	YAMACHI Y	:	ZYWIETZ F
AABERG T M	:	JOHNSEN V	:	YAMACHIKA H	:	ZYWIETZ Z

【検索例】 AU=YAMADA\$ 著者名で山田某を検索します
AU=INOUES\$ 井上某で検索します

5.1.6 項目 OG

先頭の著者の所属機関（機関名、所在地、国名等）が入っています。国名及び米国州名は省略形で格納されています。（⇒ 付録 略語一覧）

キーワードは項目名 TI と同じ方式で抽出・登録されています。ピリオド '.' が区切り文字として採用されているため、省略形のピリオドが抽出されていませんので、例えば Texas 州は Tex で、Puerto Ricoの省略形の 'P.R.' はキーワードとしては抽出されていませんので御注意ください。

抽出・登録されているキーワードの例を示します。

【項目 OG】						
DENVER	:	JANSSEN	:	LAARBEEKLAAN	:	OSAKA-FU
DEO	:	JANUS	:	LAB	:	OSAKA-SHI
DEP	:	JAPAN	:	LABATT	:	OSAKAFU
DEPARTEMENT	:	JAPANESE	:	OSADA	:	URUMQI
DEPARTMENT	:	JAPONES	:	OSAKA	:	USA
DEPARTAMENTO	:	JAPPAN	:	OSAKA-CITY	:	USA-02115

【検索例】 OG=OSAKA 項目 OG の中で OSAKA を含む文献を検索します

5.1.7 項目 S1

掲載された雑誌名が40文字の長さで入っています。ただし、雑誌名はANSIの省略形で格納されています。省略された雑誌名がわからないと検索できませんが、ある程度BROWSEコマンドで確認することはできます。会合の場合は雑誌名の代わりに会合名、場所、日付等が、単行本や単行本の章などの場合は書名、発行所等が格納されていることがあります。発行物の完全な雑誌名は‘Serial Source for the BIOSIS Data Base’に収録されています。

キーワードは40文字のまま抽出・登録されています。

抽出・登録されているキーワードの例を示します。

【項目 S1】		
AUSTRALAS PLANT PATHOL	IZV AKAD NAUK SSSR SER BIOL	UKR BIOKHIM ZH
AUSTRALAS RADIOL	IZV TIMIRYAZEV S-KH AKAD	UKR BOT ZH
BANGLADESH J AGRIC	J ACOUST SOC AM	UROL INT
BANGLADESH J BOT	OBSTET GYNECOL	VA J SCI
C R ACAD AGRIC FR	OCEANOL ACTA	YAKUGAKU ZASSHI
CYTOLOGIA (TOKYO)	TUMOR BIOL	YOKOHAMA MED J
CYTOMETRY	TUMORI	
DEV BIOL	UGESKR LAEG	

【検索例】 S1='YAKUGAKU_ZASSHI' 空白を含んでいるので' 'で囲みます

S1='J_BIOL_CHEM' 雑誌 THE JOURNAL OF BIOLOGICAL CHEMISTRY を探します

S1=NUCLEICS

5.1.8 項目 S2

項目 S1 と同じ内容が入っていますが、40文字ではなく省略形で完全な雑誌名が入っています。キーワードは項目 S1 の抽出方法と異なり、項目 T1と同じ方法（不要語・区切り文字使用）で抽出・登録されています。単語単位に抽出されていますので、ブラウズコマンドで思いついた単語を入力すればほぼ確認できると思われます。

抽出・登録されているキーワードの例を示します。

【項目 S2】				
-FORSCH	BIOCHEM	KYOTO	ULTRASOUND	YONSEI
ABNORM	BIOCHEMISTRY	NUCL	ULTRASTRUCT	ZAGREBU
ABP-APAL	GYNAEKOL	NUCLEIC	UMWELTSCHUTZ	ZAHN-
ABWASSER-	GYNECOL	TURKM	URODYN	ZASSHI
ACAD	HAEMATOL	TYDSKR	UROL	
ACCID	HAEMATOLOGICA	TYG	USTAV	
ACIDS	HAEMOSTASIS	UGESKR	YOKOHAMA	
ACKER-	KURUME	UKR	YONAGO	

【検索例】 S2' ADJ OSAKA:UNIV 雑誌名に大阪大学が含まれている文献を探します

(ADJ の使用 ⇒ 3.3.1.2 キー検索用質問式)

S2=NATURE 雑誌 NATURE を探します

S2=BIOCHEM

5.1.9 項目 VL

巻番号が入っています。巻番号の無い文献には0（ゼロ）が格納されています。キーワードは11桁以内の長さで特殊文字を含んだまま抽出・登録されています。

抽出・登録されているキーワードの例を示します。

【項目 VL】																		
1	:	100	:	105	:	108	:	113	:	115	:	117	:	98	:	A23	:	A25
10-12	:	101	:	107	:	11	:	114	:	116	:	968	:	99	:	A24	:	SUPPL.

5.1.10 項目 IS

発行番号が入っています。発行番号のない文献には0（ゼロ）が入っています。

キーワードは21桁以内の長さで特殊文字を含んだまま抽出・登録されています。22桁以上のデータは後ろが切り捨てられています。

抽出・登録されているキーワードの例を示します。

【項目 IS】						
0	:	1 PART 1	:	PART 1	:	SPECIAL ISSUE
1 CROPS	:	1 PART 2	:	PART 4	:	SUPPL 1
1 HORTICULTURE	:	MAY	:	SEPT.	:	
1 LIVESTOCK AND VET.	:	NOV.	:	SPEC. ISSUE	:	

5.1.11 項目 PG

ページ数が入っています。キーワードは21桁以内の長さで特殊文字を含んだまま抽出・登録されています。

抽出・登録されているキーワードの例を示します。

【項目 PG】						
001-009	:	9A-17A	:	B10-B13	:	VII-VIII, 182-249
001-012	:	A-7-A-15	:	V-VI, 1-22	:	VII-XII, 1-118
9994-9999	:	A2, 78-88	:	V-VI, 1-53	:	
9997-10003	:	B-24-B-27	:	V-XII	:	

5.1.12 項目 YR

発行年が入っています。発行年がわからない場合は「9999」が格納されている場合もあります。

キーワードは4桁の数値として抽出・登録されています。

抽出・登録されているキーワードの例を示します。

【項目 YR】																
1087	:	1897	:	1979	:	1981	:	1983	:	1985	:	1987	:	1988	:	9999
1099	:	1978	:	1980	:	1982	:	1984	:	1986	:		:		:	

【検索例】 YR=1988 1988年に発行された文献を検索します

YR>1988 1989年以降に発行された文献を検索します

5.1.13 項目 LG

記述された言語の言語コードが入っています。

キーワードは2桁のコードがそのまま抽出・登録されていますが、項目 TI と同じ不要語ファイルを採用しているため、言語コードの AS, BE, HE, IT, NO, WE はキーワードとして抽出されていません。御注意ください。

抽出・登録されているキーワードの例を示します。

【項目 LG】											
AF	:	BU	:	CH	:	CT	:	GE	:	GR	:
IC	:	JA	:	LU	:	KZ	:		:		:
AZ	:	CA	:	CR	:	CZ	:	GK	:	HU	:
ID	:	KO	:	MA	:	LA	:		:		:

【検索例】 LG=JA 日本語で書かれた文献を検索します

LG=EN 英語で書かれた文献を検索します

なお、用いられている言語コード次のようなものがあります。（BIOSIS Search Guide より）

BIOSIS PREVIEWS Language Code in Code Order

(Code used to indicate the original language of the article).

AB Albanian	HE Hebrew	PO Polish
AF Afrikaans	HI Hindi	PR Provencal
AM Amharic	HU Hungarian	PT Portuguese
AN Arabic	IC Icelandic	PU Pushto
AR Armenian	ID Indonesian	RO Romsnism
AS Assamese	IG Interlingua	RS Russian
AZ Azerbaijani	IR Irish	SA Sanskrit
BA Basque	IT Italian	SE Serbian
BE Belorussian	JA Japanese	SH Sinhalese
BN Bengali	JV Javanese	SI Sindhi
BU Bulgarian	JZ Kannada	SL Slovak
BV Burmese	KA Kazakh	SN Slovenian
CA Cambodian	KI Kirghiz	SP Spanish
CH Chinese	KO Korean	SR Serbo-Croatian
CR Croatian	KZ Latin	SS Swedish
CT Catalan	LA Latvian	SW Swahili
CZ Czech	LI Lithuanian	TA Tadjik
DA Danish	LO Laotian	TG Tagalog
EN English	LU Macedonian	TH Thai
EP Esperanto	MA Malay	TI Tibetan
ES Estonian	MG Mongolian	TK Turkish
FA Faeroese	ML Malayalam	TM Tamil
FG Fijian	MM Marathi	TU Turkmen
FI Finnish	MO Moldavian	UK Ukrainian

FR French	MP Malayo-Polynesian	UU Urdu
GA Gaelic(Scottish)	NE Netherlandish	UZ Uzbek
GE German	NO Norwegian	VI Vietnamese
GK Greek	NP Nepali	WE Welsh
GR Georgian	PA Panjabi	YI Yiddish
GU Gujarati	PE Farsi(Persian)	ZZ Unspecified

5.1.14 項目 AW

付加語。著者の標題を補足し、より正確に検索できるようにするために、BIOSIS 編集スタッフが抄録あるいは概要の中から重要と思われる単語を選び出したものです（自然言語の単語）。標題と同じように米国綴りで、略語が使用され、ハイフオンが挿入され（Hyphenation）、単語の分割（Word Segmentation）が行なわれています。検索するときには標題の項目と同様に非常に大切な項目です。

キーワードは項目 TI と同じ方法で抽出・登録されています。

抽出・登録されているキーワードの例を示します。

【項目 AW】

ANTINEOPLASTIC	GASTROINTESTINAL-LIKE
ANTINEOPLASTIC-DRUG	GASTROINTESTINAL-MOTILITY
BRONCHOCONSTRICTION	HORMONAL
BRONCHOCONSTRICTIONS	HORMONAL-IMMUNOLOGICAL
BRONCHOCONSTRICTIVE	HORMONAL-METABOLIC
BRONCHOCONSTRICTOR	HORMONE
BRONCHODILATION	HORMONE-1-9-NONAPEPTIDE-ETHYLAMIDE
BRONCHODILATOR	IMMUNITY
BRONCHODILATOR-DRUG	IMMUNITY-STIMULATING
DERMATOLOGIC	IMMUNIZATION
DERMATOLOGIC-DRUG	THROMBOLYTIC
DERMATOLOGICAL	THROMBOLYTIC-DRUG
DERMATOLOGICAL-DRUG	VITAMIN
GASTROINTESTINAL	VITAMIN-A
GASTROINTESTINAL-DRUG	VITAMIN-DRUG

【検索例】 AW=HORMON\$ ‘HORMON～’を含む文献を検索します

5.1.15 項目 CC

概念コードが入っています。概念コードとは幅広い主題範囲を示す生物学的概念を5桁で数値化したもので、およそ600に分類されています。BIOSIS 編集スタッフにより1つの文献に10個程度の概念コードが付与されています。

概念コードの例

025\$ 細胞学と細胞化学	1450\$ 心臓血管系
02502 一般	14501 一般；手法
02504 植物	14502 解剖学
02506 動物	14504 生理学と生化学

02508 ヒト

14506 心臓病理学

14508 血管病理学

3350\$ ウィルス学

33502 一般;手法

33504 バクテリオファージ

33506 動物ウィルス

33508 植物ウィルス (\$ 記号はこの後に任意の数字が続くことを示しています)

この概念コードの後ろには、論文の中心主題(Major emphasis)や周辺主題(Minor emphasis)を表わす1桁の特殊文字のレベル指示子が付加されています。このレベル指示子は第1水準(Primary)、第2水準(Secondary)、第3水準(Tertiary)の3つからなり、中心主題に第1、第2が、周辺主題に第3水準の指示子が付けられています。第1水準は*、第2水準は-、第3水準は空白で表わされています。1つの論文に第1水準は1個、第2・第3水準はそれぞれ平均して4、5個のレベル指示子が付けられています。

この概念コードを使用することにより比較的簡単にまた幅広く検索することができます。ただし、概念コードの表す概念を知っておく必要があります。詳細は‘BIOSIS Search Guide’に掲載されています。

キーワードはレベル指示子を含む6桁の英数字としてそのまま抽出・登録されています。

抽出・登録されているキーワードの例を示します。

【項目 CC】										
02502	:	02504*	:	03506-	:	14004-	:	37001	:	37012*
02502*	:	02504-	:	03508	:	14006	:	37001*	:	37012-
02502-	:	03506	:	03508*	:	14006*	:	37010-	:	37013
02504	:	03506*	:	03508-	:	14006-	:	37012	:	37013*

【検索例】 CC=33506 6桁目に特殊文字が付く為これでは主要な文献はヒットしません
CC=3350\$ ウィルス学に関する文献を探します
CC=33506\$ 動物ウィルスに関する文献を探します
CC='33506*' OR CC='33506-' 動物ウィルスに関する研究が中心主題となっている文献を探します (\$ は前方一致検索の記号、*、- は特殊文字なので ' ' で囲みます)

5.1.16 項目 BC

生物分類コードが入っています。生物分類コードとは生物分類法の上位を5桁で数値化したものです。700個余りがあります。

生物分類コードの例

01000-09114 微生物 (ビールス 02000-03600、細菌 04000-09114)

11000-26955 植物

33000-86470 動物

このコードの後ろに1桁の*または空白が続きます。*は論文の中に新種の情報があるときに付与されています。コードの詳細は「BIOSIS SEARCH GUIDE」に掲載されています。

キーワードは5桁の生物分類コードと*または空白の6桁の英数字として抽出・登録されています。

抽出・登録されているキーワードを示します。

【項目 BC】							
09100	09112*	13100*	13900*	14300	65500	65500*	
09110	09114	13300	14100	14500	65200*	75000	
09110*	09114*	13300*	14100*	14500*	65400	75000*	
09112	13000*	13500					

【検索例】 CC=09100 …… 6桁目に特殊文字が付くため、これでは新種の情報の文献はヒットしません。

CC=30500\$ …… 細菌の形態学と細胞学に関する文献を検索します

5.2 データはいつ更新されているか

1カ月に2回 BA と RRM が送られてきます。この送られてきた磁気テープのデータをチェックし、毎月初めにデータベースに登録しています。登録中には『更新中』のメッセージを検索システムから出力していますので、更新中のレコードセットは使用しないでください。

センターでは次の手順でデータを登録しています。

- ① BA 及び BA/RRM のカレント レコードセットのデータを消去。
- ② BA 及び BA/RRM のカレント レコードセットに最新のすべてのデータを BA と RRM 並行して登録（この間、最新年のレコードセットは使用可能です）。
- ③ カレント レコードセットのデータ登録作業が終了すれば、翌日から最新年のレコードセットにデータを追加登録（この間、最新年のレコードセットは使用できませんがカレントレコードセットは使用可能です）。（⇒6.2 カレントデータと最新年のデータ）

4月から9月頃までは、カレントレコードセットには1～2日で、最新年のレコードセットには2～3日で登録できますが、10月以降の時期になりますとカレントレコードセットには3～4日、最新年のレコードセットには5日ぐらいかかっています。なお、テープに読みとりエラーが発生した場合、新しいテープを取り寄せるのにおよそ1～2ヶ月掛かりその間データは更新されません。

【例】カレントレコードセット更新中の場合

```

*****
*   BIOSIS データベース   *
*   著作権で保護されていますので、フロッピーディスクなどに *
*   検索データを保存しないでください。 *
*   検索システム 第3. 1版 89/07/03 *
*   レコードセット89      : 89/09/06 修正 *
*   カレントレコードセット : 更新中 *
*****

```

只今、BACURR、RRMCURR (No.10) カレントレコードセット更新中

アクセスしないでください

データベース名は <B(BA)/R(RRM)/N(ニュース)/F(終了)>? B

しばらくお待ちください

No レコードセット名

補足説明

#01 BA80

1980. VOL. 69 & VOL. 70

: 165000REC

}

#10 BACURR

DATA UPDATING NOW

レコードセット番号は? F

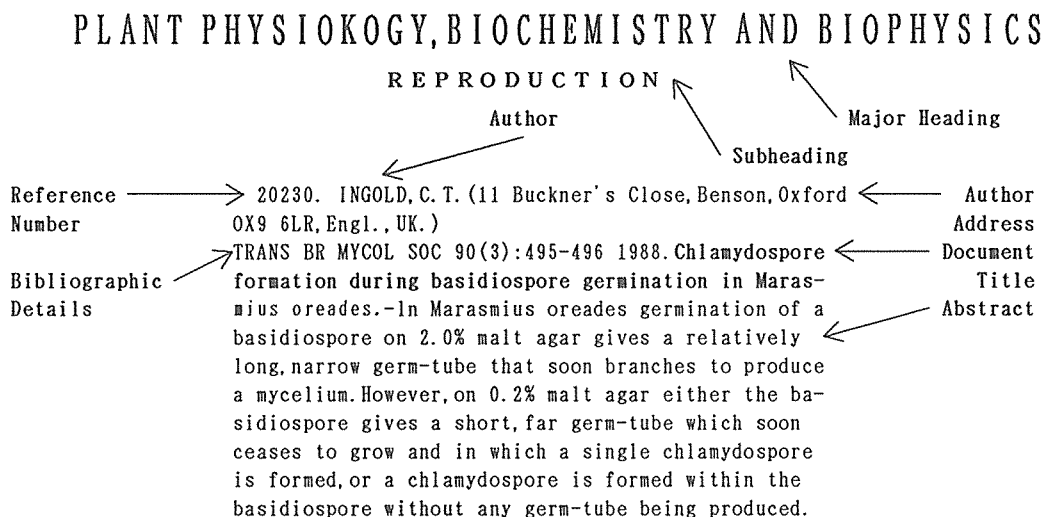
BIOSIS データベース終了

5.3 BIOSIS ABSTRACTS 印刷冊子体

次に BA および BA/RRM に掲載されている例を示します。

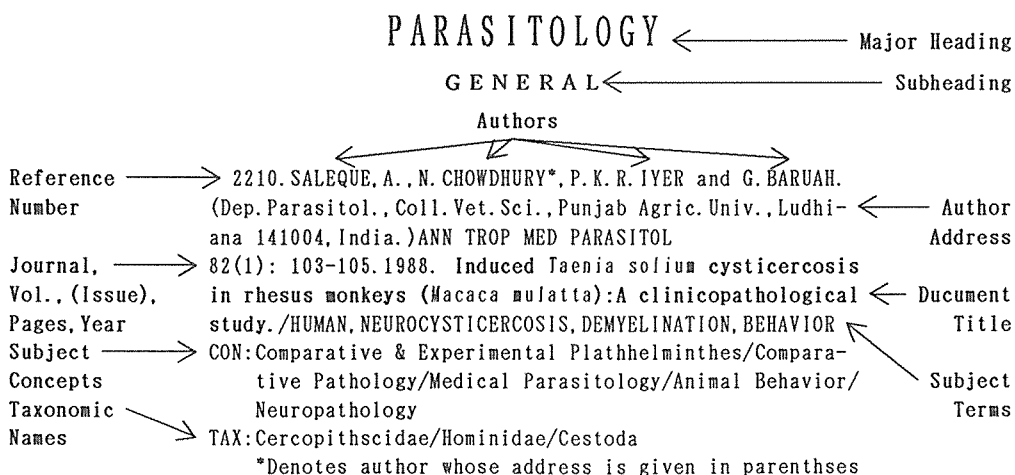
Sample Record Formats in BA

Abstracts Format



Sample Record Formats in BA/RRM

Sample Content Summary Record



6.2 カレントデータと最新年のデータ

データは1年単位に分けて登録していますが、最新のデータだけは2つのレコードセットに登録しています。1つは最新年のすべてのデータが登録されているレコードセットで、もう1つは最新年のうちの最新のデータのみが登録されているレコードセット（カレントレコードセット）の2つです。この2つのレコードセットを同時に使用すると、最新のデータが二重に検索されることになりますので注意してください。

【例】

No	レコードセット名	補足説明
#01	BA80	1980. VOL. 69 & VOL. 70 : 165000REC
#02	BA81	1981. VOL. 71 & VOL. 72 : 170016REC
#03	BA82	1982. VOL. 73 & VOL. 74 : 175008REC
#04	BA83	1983. VOL. 75 & VOL. 76 : 185016REC
#05	BA84	1984. VOL. 77 & VOL. 78 : 193008REC
#06	BA85	1985. VOL. 79 & VOL. 80 : 220008REC
#07	BA86	1986. VOL. 81 & VOL. 82 : 235000REC
#08	BA87	1987. VOL. 83 & VOL. 84 : 250000REC
#09	BA88	1988. VOL. 85 & VOL. 86 ISSU 01-06: 194286REC
#10	BACURR	CURR VOL. 86 ISSU 05-06 : 20914REC

この例では、レコードセット“BA88”と“BACURR”の両方に1988年の発行番号“05,06”のデータが登録されています。

6.3 応答時間の短縮

検索時の応答時間はデータ量に比例します。すべてのレコードセットを選択すると、キー検索でも応答時間は非常に悪くなりますので必要なレコードセットだけを選択するようにしてください。同じ質問式を繰り返して月ごとに検索する場合、最初にカレントレコードセットを除くすべてのレコードセットを選択し、その後はカレントレコードセットを選択するだけで済みます。

6.4 データ更新中の利用

データ登録中には検索システムから『更新中』のメッセージを出力しています。更新中のメッセージがあるレコードセットは使用しないでください。正常に割り当てられた様に見えても検索結果はおかしくなります。

6.5 BROWSE データでの検索

BROWSE コマンドでキーワードを通覧して、その語番号で検索するとき、項目を指定して語番号を指定しないと全項目が対象となりますので、ブラウズ時の表示件数と異なることがあります。

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),

データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? B

項目名は? TI

キーワードは? HORMON

番号	件数	キーワード (項目名=TITL)
%001	1	HORARY
%002	1	HORDEUM-DISTICHON
		}
%009	1	HORMONAL-SUBSTRATE
%010	131	HORMONE 項目 TI の中では 131 件
%011	4	HORMONE-BINDING
%012	2	HORMONE-DEFICIENT
%013	2	HORMONE-INDUCED
%014	1	HORMONE-ISOFORMS

表示を続けますか <Y(はい)/N(いいえ)E(項目名切り換え)>? N

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),

データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? S

質問式は? %10 全項目の中を検索します

0 1 2 8 5 件

質問式は? TI=%10

0 2 1 3 1 件

質問式は?

6.6 入力してはいけない文字

BIOSIS 検索中は英小文字のデータは扱えません。エラーとなります。また & (, =) ^ 1 文字が入力されると検索システムは終了します。御注意ください。検索システムが終了した場合、今まで検索した質問式回答番号ファイルも消去されてしまいます。

6.7 IBM 機種からのネットワークでの利用

文字コードの違いにより、\$ が ¥ 、\ が \$ となっていることがあります。もし、前方一致等で \$ を使用してデータが 1 件もヒットしないときは、\$ の代わりに \ を使用してみてください。

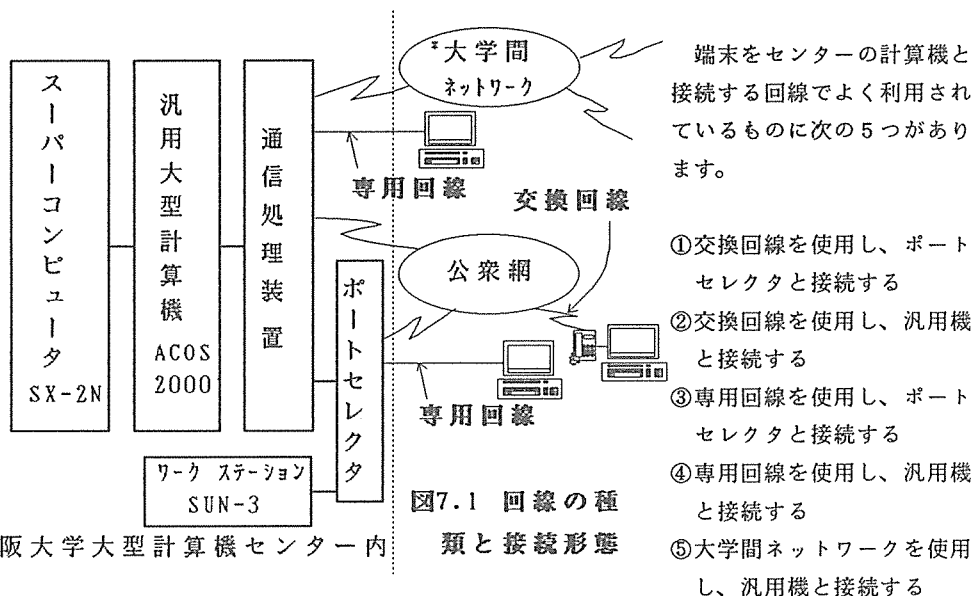
6.8 制限事項

- ① 質問の回数は 99 回まで。99 回を超すと新たな検索はできません。データベース切り換え箇所に戻り、もう一度やり直してください。ただし、回答番号ファイルは消去されます。
- ② 質問式は 200 文字以内。1 行で入力できないときは文字列の後ろに && を入力してください。続きが要求されます。
- ③ データ検索時の質問式は 5 個まで
- ④ 質問式の括弧の入れ子は 10 レベルまで
- ⑤ 検索システム内でファイルへ出力するために保存できる入力された質問式の件数は 50 件です。50 件目で 'H150' メッセージが出力されますので、必要ならばファイル保存処理 (@IS) を行ってください。

第7章 端末の操作法

7.1 端末の接続（ログオンの手順）

タイムシェアリングシステム（TSS）を利用するには、まず端末をセンターの計算機と接続しなければなりません。まず最初に端末とセンターとの通信回線の経路を確立し、その後 TSS と接続します。これらの一連の手順をログオンとも言います。



利用できる通信回線の種類にはこの他にもいろいろあります。端末を設置される場合は事前に業務掛（☎ 06(877)5111 内線 2809, 2810）まで御相談ください。

■ BIOSIS データベースは汎用大型計算機 ACOS2000 上に構築されています。ポートセレクトとは一種の交換機で、ポートセレクトに接続されている端末は、汎用計算機とワークステーションとを選択し利用できます。汎用機とは科学技術計算や事務処理計算など幅広く利用できるように考えられた計算機のこと、スーパーコンピュータとは特に科学技術計算向きに超高速に数値演算ができるように考えられた計算機のことです。また、ワークステーションとは現在はっきりした定義はありませんが、高度なマン・マシン インターフェイスを備えた小型コンピュータで、主として対話形式で使われ、高解像度ディスプレイが接続でき、Local Area Network（主としてイーサネット）インターフェイスを標準で装備しているものの総称をいいます。

* 他の大型計算機センター及び他の大学の計算機と相互に接続されています。N-1 ネットワークとも呼ばれ、各大学の計算機から大型計算機センターの計算機を利用することができます。

(1) 通信回線の経路の確立

回線の種類、速度および変復調装置（モデム）¹⁾の種類によって端末の通信回線の経路の確立の方法が少し異なります。次に示す回線ごとの方法で回線の経路の確立をはかってください。

【交換回線でポートセレクトを経由して汎用機（ACOS2000）と接続】

- ① 端末、変復調装置、網制御装置（NCU）²⁾などの電源を入れます。
- ② 端末の通信速度など、端末側での必要な初期設定を行います。
- ③ センターの電話番号をダイヤルします。（通信速度は⑥で選択します。）

電話番号	通信速度	モデム規格
外線 06(876)3145	1200, 2400, 9600	V. 22, V. 22bis, V. 29 MNP 6
内線（吹田） 2921	1200, 2400	V. 22, V. 22bis
“（豊中） 2195	“	“

なお、これらは変更されることがありますので、最新のセンターニュースの裏表紙で確認してください。

- ④ 呼出音が高いピーという発信音（キャリア音）に変わるのを確認して、網制御装置等をデータ通信可能な状態にします。

- ・ 網制御装置の場合 ‘ 発信 ’ または ‘ データ ’ ボタンを押し、送受話器を元に戻します。
自動発信型の場合は自動的に切り替わるものもあります。
- ・ 音響カプラ³⁾の場合、送受話器をカプラに固定します。

ただし、これらの操作は機種によって異なりますので御注意ください。

- ⑤ ☐ キーのみを押します。ASTER 端末制御プログラムを使用している場合は、☐ キーを入力する前に ‘ ^ASC ’ を入力して1文字入力にします。
- ⑥ ポートセレクトからメニューが表示され class 番号の問い合わせがあります。

*** COMPUTATION CENTER OSAKA UNIVERSITY ***		
CLASS	S Y S T E M	BPS
1	ACOS&SX(LEVEL0) ⁴⁾	1200
2	ACOS&SX(LEVEL0)	2400
3	ACOS&SX(LEVEL0)	9600
4	ACOS&SX(LEVEL2A) ⁵⁾	2400
5	WORKSTATION	1200
6	WORKSTATION	9600
ENTER CLASS		

（1989年2月現在）

メニューが表示されない場合は☐ キーを2, 3度押してください。

¹⁾ Modulator Demodulator Equipment のことで、計算機および端末が扱うデジタル信号を回線にのせるために交流信号に変換し（変調）、逆にその交流信号をデジタル信号に変換（復調）する装置。

²⁾ 交換回線とモデムを接続するための装置。

³⁾ 交換回線と端末装置を電話機の送受話器を通して接続する装置でモデムの機能を持つ。

⁴⁾ 端末・計算機間でのデータ送受信の伝送制御に関する取り決めの一種で、無手順とも言われ、通信を行う上での必要最小限の取り決めがなされている。

⁵⁾ ISO/R1745 に準拠した伝送制御手順

⑦利用するシステムのクラス番号（1～3）を入力します。

*** COMPUTATION CENTER OSAKA UNIVERSITY ***		
CLASS	S Y S T E M	BPS
1	ACOS&SX(LEVEL0)	1200
2	ACOS&SX(LEVEL0)	2400
3	ACOS&SX(LEVEL0)	9600
4	ACOS&SX(LEVEL2A)	2400
5	WORKSTATION	1200
6	WORKSTATION	9600
ENTER CLASS <u>2</u>		

この例では 2400 bit/second の通信速度で汎用機に接続しています。

⑧ “ GO ” メッセージが出力されれば正常に接続されました。 “ GO ” 以外のメッセージが出力された場合は、うまく接続できなかったので、再びクラス番号を入力します。電話が切れた場合は③からやりなおします。

*** COMPUTATION CENTER OSAKA UNIVERSITY ***		
CLASS	S Y S T E M	BPS
1	ACOS&SX(LEVEL0)	1200
2	ACOS&SX(LEVEL0)	2400
3	ACOS&SX(LEVEL0)	9600
4	ACOS&SX(LEVEL2A)	2400
5	WORKSTATION	1200
6	WORKSTATION	9600
ENTER CLASS <u>3</u>		
UNASSIGNED		
ENTER CLASS <u>3</u>		
GO		

これで通信経路が確立されました。ASTER 端末制御プログラムを使用している場合は、**[ESC]** キーを押して 1 文字入力を終了させます。

【交換回線で汎用機（ACOS2000）と接続】

- ① 端末、変復調装置（モデム）、網制御装置（NCU）などの電源を入れます。
- ② 端末側の通信速度など、端末側で必要な初期設定を行います。
- ③ センターの電話番号をダイヤルします。

モデムの種類と通信速度により電話番号が異なります。

電話番号	通信速度	モデム規格
外線 06(876)5001	1200	VADIC VA3400J 仕様
内線（吹田） 2931	1200	VADIC VA3400J 仕様
2961	1200	V. 22
2911	1200～9600	V. 22, V. 22bis, V. 29 MNP 6

内線（豊中） 2178 1200 VADIC VA3400J 仕様

内線（豊中） 2175 1200～9600 V.22, V.22bis, V.29 MNP 6

なお、これらは変更されることがありますので、最新のセンターニュースの裏表紙で確認してください。

④呼出音が高いピーという発信音（キャリア音）に変わるのを確認して、網制御装置等をデータ通信可能な状態にします。

・網制御装置の場合 ‘発信’ または ‘データ’ ボタンを押し、送受話器を元に戻します。

自動発信型の場合は自動的に切り替わるものもあります。

・音響カプラの場合、送受話器をカプラに固定します。

ただし、これらの操作は機種によって異なりますので御注意ください。

これで通信経路が確立されました。

【専用回線を使用してポートセレクトと接続】

①端末などの周辺機器の電源を入れます。

②端末側の通信速度その他、端末側で必要な初期設定を行います。

③  キーのみを押します。ASTER端末制御プログラムを使用している場合は  キーを入力する前に ‘^ASC’ を入力して1文字入力にします。

④ポートセレクトよりメニューが表示され class 番号の問い合わせがあります。

*** COMPUTATION CENTER OSAKA UNIVERSITY ***		
CLASS	S Y S T E M	BPS
1	ACOS&SX(LEVEL0)	1200
2	ACOS&SX(LEVEL0)	2400
3	ACOS&SX(LEVEL0)	9600
4	ACOS&SX(LEVEL2A)	2400
5	WORKSTATION	1200
6	WORKSTATION	9600
ENTER CLASS 		

(1989年2月現在)

メニューが表示されない場合は  キーを2, 3度押してください。

⑤利用するシステムのクラス番号(1～3)を入力します。

*** COMPUTATION CENTER OSAKA UNIVERSITY ***		
CLASS	S Y S T E M	BPS
1	ACOS&SX(LEVEL0)	1200
2	ACOS&SX(LEVEL0)	2400
3	ACOS&SX(LEVEL0)	9600
4	ACOS&SX(LEVEL2A)	2400
5	WORKSTATION	1200
6	WORKSTATION	9600
ENTER CLASS <u>3</u>		

この例では 9600 bit/second の通信速度で接続しています。

⑥ “GO” メッセージが出力されれば正常に接続されました。“GO” 以外のメッセージが出

力された場合は、うまく接続できなかったのもう一度クラス番号を入力します。

```

*** COMPUTATION CENTER OSAKA UNIVERSITY ***
CLASS          S Y S T E M          BPS
1              ACOS&SX(LEVEL0)      1200
2              ACOS&SX(LEVEL0)      2400
3              ACOS&SX(LEVEL0)      9600
4              ACOS&SX(LEVEL2A)      2400
5              WORKSTATION           1200
6              WORKSTATION           9600
ENTER CLASS 3
UNASSIGNED
ENTER CLASS 3
GO

```

これで通信経路が確立されました。ASTER 端末制御プログラムを使用している場合は **ESC** キーを押して 1 文字入力を終了させます。

【専用回線で汎用機と接続】

端末などの周辺機器の電源を入れます。

専用回線で直結の場合、この操作だけで通信経路が確立された状態となります。

【大学間ネットワーク経由で接続】

通信経路は通常は確立された状態となっています。ただし、各センターによって異なる場合があります。サービス時間も各センターによって異なりますので御注意ください。

(2) 端末の接続 (コネクト)

通信回線の経路を確立し、阪大センターの計算機と回線が接続されると、次に TSS と接続します。

① 接続要求の入力

端末の種類によって入力異なります。

<u>\$\$\$CON, TSS, , KNJ</u>		漢字表示可能な端末
<u>\$\$\$CON, TSS, , ASC</u>		英大文字・小文字表示可能な端末
<u>\$\$\$CON, TSS, , JIS</u>		英大文字のみ表示可能な端末
<u>PF</u> または <u>CTR</u> + <u>△</u> または <u>F-1</u>		センター内の一部の端末

このとき入力する文字はすべて大文字で入力します。小文字で入力したり、誤った文字列が入力されると次のメッセージが出力され接続されません。

```

&&&CON, TSS, , ASC      $$$con, tss, , asc
$ N1020 10:03:22 NOT ACCEPT - NO CON

```

このメッセージは、端末が TSS と接続されていない状態でデータを送ったときに出力されます。

② ログオンメッセージの表示

利用者の端末が TSS に接続されると次のメッセージが表示されます。

HANDAI TSS(R4.0) ON 10/24/88 AT 9:59:10 CHANNEL 0764 LU=F235007U

③利用者番号と支払いコードの入力

ログオンメッセージに続いてシステムから利用者番号¹⁾の問い合わせがあります。

USER ID -

センターから交付された利用者番号と支払いコード²⁾を；で区切って入力します。

USER ID - 利用者番号；支払いコード

誤った利用者番号が入力されると、再度、入力待ちとなります。

ILLEGAL ID-RETYPE-- 利用者番号；支払いコード

もう一度誤るとシステムは端末装置を切断します。①に戻ってやり直してください。

\$ N1041 16:59:28 DIS - CP [DACPRG]

④パスワードの入力

利用者番号が正常に入力されるとパスワード³⁾が要求されます。

PASSWORD--

阪大センターに登録しているパスワードを入力します。

PASSWORD--

パスワード 

誤ったパスワードが入力されると、再度入力待ちとなります。

ILLEGAL PASSWORD-RETYPE--

二度続けて誤ると端末はシステムから切断されます。パスワードが正しく入力されても利用者番号が間違っていれば、やはりパスワードの誤りとみなされます。利用者番号はよく似ていますので注意してください。

¹⁾ 利用者番号とは、大型計算機センターに利用申請を行われたときにセンターから利用者に交付された6桁の番号（例えば A60000）で、一人一人異なります。計算機内ではこの6桁の利用者番号で利用者を識別します。

²⁾ 支払いコードとは、利用者が支払う計算機利用負担金の費目をコード化したものです。一般に振替分（国立学校校費など）は‘A～F’、公私立学校経費は‘G～J’、科研費は‘K～T’と決められています。もちろん1人の利用者が複数の支払いコードを持つことができます。

³⁾ パスワードとは接続要求があった利用者が正当な利用者かどうかを識別するための合言葉です。大切に取り扱ってください。他人に知られると不正使用されたり、大事なファイルが消去されたりする可能性があります。なお、‘PWCHG’コマンドでいつでも自由にパスワードを変更できます。

⑤使用額のチェック

パスワードが正常に受け付けられると予算額¹⁾と使用額のチェックが行われ、利用可能であれば現在までの使用額の合計と利用可能額およびファイル占有量が表示されます。

直前の使用額の合計	利用可能額
↓	↓
<<<<< .. 5050 YEN RESOURCES USED (AVAILABLE .. 2950 YEN) >>>>>	
<<<<< 10 LLINKS FILE SPACE USED >>>>>	
↑	
ファイル占有量	

使用額が予算額(⇒8.5 予算額チェックの方法)を越えていると、次のメッセージが出力され TSS と接続できません。

RESOURCES EXHAUSTED-CANNOT ACCEPT

このメッセージが出力された場合は予算額を増加させる必要があります。所属センター(⇒第8章 利用に必要な手続きと負担金)であれば予算額の変更申請書で、第2センターであれば申請コマンドで変更します(各センターで異なります)。

⑥サブシステムの選択

利用者の正当性が確認された時点で、TSS は利用者に必要なサブシステム²⁾を選ぶように要求してきます。このメッセージが出力されれば正常に TSS と接続できたことになります。

SYSTEM ? サブシステム選択要求

¹⁾ 大型計算機センターを使用するときに、あらかじめ利用できる見込み額。利用申請時に支払コードごとに設定します。

²⁾ サブシステムとは一定の目的に対して一連の処理をするプログラムで、利用者はコマンドでこれらのプログラムを実行できます。

利用できる主なサブシステムには次のようなものがあります。

言語サブシステム.....FORTRAN77, COBOL74

会話型リモートバッチ サブシステム

CARDINサブシステム: TSS端末からバッチジョブが投入できます

JOUT サブシステム : TSS端末からバッチジョブが操作できます

ファイル処理サブシステム

EDITOR: テキストの作成・編集ができます

NEDIT : 画面端末でテキストの作成・編集ができます

【実行例】 阪大センター第二TSS端末室の PC-9801 (ホ-トセリク接続) で ASTER 使用

^ASC

*** COMPUTATION CENTER OSAKA UNIVERSITY ***

CLASS SYSTEM BPS

1	ACOS&SX (LEVEL0)	1200
2	ACOS&SX (LEVEL0)	2400
3	ACOS&SX (LEVEL0)	9600
4	ACOS&SX (LEVEL2A)	2400
5	WORKSTATION	1200
6	WORKSTATION	9600

ENTER CLASS 3

UNASSIGNED		ポートセレクトが端末からのデータを正常に認識できま
ENTER CLASS <u>3</u>		せんでした。ただし、ASTER 端末での WRONG SPEEDの場合、
WRONG SPEED		端末で設定してある通信速度と入力されたクラスが異なっ
ENTER CLASS <u>3</u>		ている時にも出力されます。
DISCONNECTED 		再びキャリッジリターンキーのみを押します。

*** COMPUTATION CENTER OSAKA UNIVERSITY ***

CLASS	S Y S T E M	BPS
1	1	1
2	2	2
3	3	3
4	4	4
5	5	5
6	6	6
7	7	7
8	8	8
9	9	9
10	10	10
11	11	11
12	12	12
13	13	13
14	14	14
15	15	15
16	16	16
17	17	17
18	18	18
19	19	19
20	20	20
21	21	21
22	22	22
23	23	23
24	24	24
25	25	25
26	26	26
27	27	27
28	28	28
29	29	29
30	30	30
31	31	31
32	32	32
33	33	33
34	34	34
35	35	35
36	36	36
37	37	37
38	38	38
39	39	39
40	40	40
41	41	41
42	42	42
43	43	43
44	44	44
45	45	45
46	46	46
47	47	47
48	48	48
49	49	49
50	50	50
51	51	51
52	52	52
53	53	53
54	54	54
55	55	55
56	56	56
57	57	57
58	58	58
59	59	59
60	60	60
61	61	61
62	62	62
63	63	63
64	64	64
65	65	65
66	66	66
67	67	67
68	68	68
69	69	69
70	70	70
71	71	71
72	72	72
73	73	73
74	74	74
75	75	75
76	76	76
77	77	77
78	78	78
79	79	79
80	80	80
81	81	81
82	82	82
83	83	83
84	84	84
85	85	85
86	86	86
87	87	87
88	88	88
89	89	89
90	90	90
91	91	91
92	92	92
93	93	93
94	94	94
95	95	95
96	96	96
97	97	97
98	98	98
99	99	99
100	100	100

1	ACOS&SX (LEVEL0)	1200
2	ACOS&SX (LEVEL0)	2400
3	ACOS&SX (LEVEL0)	9600
4	ACOS&SX (LEVEL2A)	2400
5	WORKSTATION	1200
6	WORKSTATION	9600

ENTER CLASS 3

G0 端末がまだTSSと接続されていない旨のメッセージ

\$\$\$con. tss., knj 入力誤り

\$ N1020 15:01:08 NOT ACCEPT - NO CON

\$\$\$CON. TSS., KNJ

HANDAI TSS(R4.0) ON 06/21/89 AT 15:01:15 CHANNEL 4701 LU=F4A400P1

USER ID -A60000;A

PASSWORD-- 接続直前の使用額の合計 現在の使用可能額

@%&<%#>?#@\$\$%

<<<<< .. 6311 YEN RESOURCES USED (AVAILABLE .. 3869 YEN) >>>>>

```
<<<<< ..... 0 LLINKS FILE SPACE USED >>>>>
```

TSSのサービスは、翌朝8時まで行っています。 ← センターからのお知らせ
なお、TSSサービスの延長は2月末までといたします。

SYSTEM ?

7.2 端末の切断（ログオフ）

TSS の利用を終了するには BYE コマンドを入力します。

SYSTEM ?BYE または *BYE

次のログオフ メッセージが出力され TSS と切断されます。

**USED RESOURCE....CPU=1SEC CON=0.4MIN T-ID=04

**COST: Y7 ← 会話中に要した利用負担金額（バッチジョブ分は含まれない）

TSS からログオフ メッセージが出力された後、システムから端末の切断を示す次のメッセージが出力されます。

\$ N1041 16:59:28 DIS - CP [DACPRG]

これで利用者は端末および周辺機器の電源を切ります。

阪大センターのシステム（ACOS2000）がサービス中に故障したときには、次のいずれかのメッセージが出力される場合があります。

\$ N1041 DIS-CP または \$ N1010 DIS-DIS CMD

‘BYE’ コマンドを入力した後に、次のメッセージが出力された場合は ‘NONE’ を入力してください。

ファイル tempfilename? NONE

これは会話中に使用した一時ファイルを保存するかどうかの問い合わせです。BIOSIS使用後、一時ファイルを保存しても意味がありません。

7.3 ネットワークを経由しての利用

大学間ネットワークを使用して阪大センターの BIOSIS を利用する場合、各大学の計算機に接続した後、TSS コマンド受付可能な状態で NTSS または NVT コマンドを入力し、阪大センターと接続します。大阪大学の『H O S T 名』は ‘ O S A K A ’ です。なお、ネットワークを介して阪大センターを利用する場合にも、あらかじめ阪大センターに利用申請をしておく必要があります。詳しくは、各センターにお問い合わせください。

次に利用例を掲載しますが、使用法が変更されることがあるかもしれませんので各センターの使用法については当該センターにお問い合わせください。

【東京大学からの公衆電話回線による利用の一例】（文献[6]ネットワーク利用の手引 から引用）

JCT54022A ENTER TERMINAL TYPE

J

JCT54012A ENTER LOGON

LOGON、利用者番号

JET12026A ENTER PASSWORD FOR 利用者番号 -

パスワード

JGP3001 利用者番号 , LAST ACCESSED DATE=88.11.23 TIME=17.19.59



この間の操作法の詳細については東京大学
大型計算機センターにお問い合わせください

JET100651 TSS 利用者番号 STARTED TIME=09.57.25 DATE=88.11.24

ENTER YOUR TERMINAL ID

端末名

WELCOME TO M680H.

YOUR LAST ACCOUNT WAS \$100000(\$99350)

>>NTSS

JCJ6501 **WELCOME TO VOS3 N1 TSS**

JCJ6511 WHICH HOST ?+-

OSAKA

JCJ6521 ** OSAKA CONNECTED

HANDAI TSS(R4.0) ON 11/24/88 AT 9:59:10 CHANNEL 0764 LU=F235007U 大阪大学の

USER - ID 利用者番号; 支払いコード

計算機からの出力メッセージ

PASSWORD--

大阪大学の計算機とのやりとりの詳細は

@%&<%#>?#@S\$TXOGWBMWEPVRパスワード

7.1 (2) 端末の接続 を参照ください

<<<< .. 5050 YEN RESOURCES USED (AVAILABLE .. 2950 YEN) >>>>

<<<< 10 LLINKS FILE SPACE USED >>>>

SYSTEM ? BIOS

..... BIOSIS コマンド入力

}

SYSTEM ? BYE

..... 阪大の TSS 終了コマンド

**USED RESOURCE.....CPU=3SEC CON=5.5MIN T-ID=04

**COST: Y24

JCJ6531 ** OSAKA DISCONNECTED

>>

..... 東大センターの計算機に戻ります

【九州大学からの利用の一例】 (文献[7]利用の手引き から引用)

JCET005 SYSTEM READY

LOGON TSS 登録番号*

+ PASSWORD ?

この間の操作法の詳細については九州大学
大型計算機センターにお問い合わせください

パスワード

READY

NVT OSAKA

KCQ101241 CONNECTED TO HOST - OSAKA

HANDAI TSS(R4.0) ON 11/24/88 AT 9:59:10 CHANNEL 0764 LU=F235007U

USER - ID 利用者番号; 支払いコード

..... 大阪大学の計算機とのやりとりの詳細は

PASSWORD--

7.1 (2) 端末の接続 を参照ください

パスワード

<<<< .. 5050 YEN RESOURCES USED (AVAILABLE .. 2950 YEN) >>>>

<<<< 10 LLINKS FILE SPACE USED >>>>

* 利用者番号 6 桁と支払コード 1 桁を組み合わせた 7 桁を登録番号と言います。

```

SYSTEM ? BIOS                      ..... BIOSIS コマンド入力
    }
SYSTEM ? BYE                        ..... 阪大の TSS 終了コマンド
**USED RESOURCES...CPU=3SEC CON=5.5MIN T-ID="3
**COST: $24
KCQ10118I DISCONNECTED LINK BY HOST : OSAKA
NVT                                ..... 九大センターの計算機に戻ります

```

7.4 端末の自動切断

阪大センターのTSS と会話を確立すると、質問あるいは入力要求に対して、30 分以内に応答しなければなりません。これらの制限時間を超過しますと端末はシステムから自動的に切断されます。この場合は次のメッセージが出力されますので、接続からやり直してください。

```
$ 1042 HH:MM:SS DIS - TIME OUT [INPUT]
```

7.5 TSS が利用できない (TSS のエラーメッセージ)

(1) TSS 接続コマンド (\$\$\$CON,TSS,.KNJ その他)を入力しても接続できない(ネットワークを除く)。

① \$ N1007 時刻 UNACCEPTABLE NOW または

```
$ N1000 時刻 TSS WILL NOT START [AT APOXIMATELY tttt]
```

TSS サービスが行われていません。サービス時間外か阪大センターの計算機が故障しているかのどちらかです。サービス時間内であれば阪大センターにお問い合わせください。なお、17 時以降は自動運転でサービスをしていますので、システムに障害が発生した場合はその時点でサービスは中止となります。

水曜日は午前中計算機の保守をおこなっていますのでサービスは午後からとなります。また、水曜日が休日の場合、木曜の午前中が保守となります。ネットワークを利用される場合は各センターのサービス時間にも御注意ください。

表 7.2 阪大センターの TSS サービス時間 (1988 年)

曜 日	3 月～10 月	11 月～ 2 月
月、火、木、金	9:30 ～ 22:00	9:30 ～ 24:00
水	13:00 ～ 22:00	13:00 ～ 24:00
土	9:30 ～ 17:00	9:30 ～ 19:00

なお、この時間帯は季節によって変更されることがあります。1988 年 12 月から 89 年の 2 月の間はオンライン サービス終了時刻を翌朝の 8 時まで延長していました。

② \$ N1000 時刻 xxx IS NOT KNOWN

‘ \$\$\$CON,TSS,.ASC ’ の T S S の文字列が誤っています。

③ \$ N1005 時刻 ALREADY CONNECTED

TSS との接続操作が行なわれ、すでに接続されているにも関わらず再び接続コマンドが送られてきました。そのまま TSS と接続できれば問題はありません。接続できなければ TSS 切断コマンド ‘ \$\$\$DIS ’ を入力して、端末を切り離してから、再び接続操作を行ってください。

\$\$\$CON, TSA, , ASC

\$ N1000 11:43:31 TSA IS NOT KNOWN \$\$\$CON, TSS, , ASC

\$ N1005 11:43:40 ALREADY CONNECTED

\$\$\$DIS

\$ N1010 11:43:44 DIS - DIS CMD \$\$\$CON, TSS, , ASC

④ \$ N1020 11:45:40 NOT ACCEPT - NO CON

まだ TSS と接続されていません。

⑤ 応答が返ってこない。

モデムの電源が入っていない、回線が接続されていない、センターのサービス時間外、などが考えられます。

(2) TSS と接続できたがエラーメッセージが出力される

検索中に出力されるメッセージについては 第9章 エラーメッセージ を参照してください。

① TCMD100 E 指定システム コマンドは存在しません

TCMD101 E 指定コマンドは存在しません

TCMD100 E SYSTEM UNKNOWN

TCMD101 E COMMAND UNKNOWN

『SYSTEM?』または『*』の箇所を入力したコマンドが誤っています。正しい文字列を入力してください。

② N1021 時刻 NOT ACCEPT - NO RCV

システムがなんらかの処理を実行中で入力待ちとなっておりません。入力可能な状態となるまでお待ちください。処理を中断したい場合はブレイク処理を行ないますが端末によって操作が異なります。

7.6 中断処理

検索データを端末に表示中、表示を中止したい場合は **BREAK** キーを押して、処理を中断してください。表示形式の選択箇所に戻ります。ただし、データ表示中以外にブレイク処理が行われると検索システムは終了します。今まで検索した質問式回答番号ファイルも失われてしまいますので、ブレイク処理をされる時は特に御注意ください。 **BREAK** キーは端末によって異なります。

ASTER 端末 **STOP** キーを押します。

N6500/07 端末 画面の最上位行に “ R IDLE KBO ” が表示されているのを確認し (KBX 表示の場合、 **FNC**+PF18 を押します)、 **FNC**+PF16 キーを押します。

第8章 利用に必要な手続きと負担金

8.1 利用申請

大型計算機センター（北大、東北大、東大、名大、京大、阪大、九大）及び学情センターを利用する場合は、その利用するセンターに利用申請書を提出します。申請が認められれば利用者番号が発行されます。最初に申請書が提出され利用者番号を発行したセンターを、「所属センター」と呼び、利用者はそのセンターに「所属する」といいます。一般には計算機をよく利用する近くのセンターを所属センターとしておくのが便利です。所属センター以外のセンターを利用する場合、そのセンターを「第二センター」と呼び、所属センターの TSS コマンドにより利用を申請することができます。

阪大を所属センターとされる方は共同利用掛（☎ 06-877-5111 内線 2814）に利用申請書がありますのでお問い合わせください。

■ 共通利用番号制：全国共同利用の七つの大型計算機センターと学術情報センターを利用するための共通IDの制度です。利用者は8センターの共通の番号により、どのセンターでも利用できますが、利用するセンターには必ず利用申請をしておく必要があります。

8.2 端局設置申請

研究室で端末を利用して阪大センターの TSS を使用する場合（ネットワーク経由を除く）は、端局設置申請が必要です。端末機種によって接続できない場合がありますので、端末機器の購入前に業務掛（☎ 06-877-5111 内線 2810, 2811）まで御相談ください。

8.3 利用負担金

本センターを運営し計算サービスを提供するための基本的な経費に付いては予算措置がなされていますが、利用者の要望に応えられる計算機の運転や計算サービスを提供するためにはこの予算額では不足しています。この不足している経費を利用者の計算機利用量に応じて負担していただくものとして「利用負担金」制度が設けられています。また、この利用負担金については計算機システムの効率的な利用や消耗品の使用の適正化などにも配慮して考えられています。

バッチ処理負担金＝基本負担額*¹＋演算負担額*²

TSS 処理負担金＝演算負担額*³＋接続負担額*⁴

プリンタ出力負担金＝出力負担額*⁵

利用負担金は表 8.1 のようになります。

表 8.1 利用負担金

区 分		負 担 金
基本負担額	バッチ処理* ¹	1 件につき 50 円
		ただし、リモートバッチ 1 件につき 10 円
演算負担額	バッチ処理* ²	CPU 時間 1 秒につき 7 円
		ただし、5 分以上 15 分以内の分については 1 秒につき 3 円 15 分を越える分については 1 秒につき 1 円
	TSS 処理* ³	CPU 時間 1 秒につき 6 円
接続負担額	TSS 処理* ⁴	接続時間 1 分につき 1 円
出力負担額	バッチ処理* ⁵	センター（大阪大学豊中地区及び中之島地区データステーションを含む）に出力した場合、LP、NIP 用紙 1 頁につき 4 円
ファイル	ディスクファイル	1 単位 1 日につき 0.15 円
使用負担額	マステークファイル	1 カートリッジ 1 月につき 1000 円
特殊機器	XYプロッター	XYプロッター使用の計算依頼 1 件につき 50 円
	LASシステム	使用時間 1 分につき 3 円
使用負担額	ワークステーション	使用時間 1 分につき 3 円
	画像処理装置	使用時間 1 分につき 3 円
各区分共通負担額		前期区分に従い算出した利用負担金額を月ごとに集計した合計額に百分の三を乗じて得た額

備考 1. 負担額に関する計測は、システム内蔵の方式によるものとし、端数がでた場合は切り上げる。

2. 各負担額に 1 円未満の端数が生じたときは、負担額毎に、これを 1 円に切り上げる。

3. 大阪大学豊中地区および中之島地区データステーションからのリモートバッチ処理*に関しては、表中基本負担額のただし書きを適用しない。

4. ファイル使用額における 1 単位は、主システムについては 15.36 キロバイト、スーパーコンピュータについては 50 キロバイトの情報量を表わすものとする。

（1989 年 4 月 1 日現在）

次のような簡単な検索をした場合の負担金を示します。

\$\$\$CON, TSS, ASC

HANDAI TSS(R4.0) ON 02/08/89 AT 11:50:39 CHANNEL 4605 LU=F4B08005

USER ID -A60000:A 接続直前の使用額の合計 利用可能額

PASSWORD--

@%&<%#>?#@S%

<<<< .. 8445 YEN RESOURCES USED (AVAILABLE .. 1555 YEN) >>>>

<<<< 0 LLINKS FILE SPACE USED >>>>

TSS のサービスは、翌朝 8 時まで行っています。

なお、TSS サービスの延長は 2 月末までといたします。 } センターからのお知らせ

SYSTEM ?BIOS T=J

}

ファイル占有量。ゼロでないと、何らかのファイルが存在します。毎日、負担金が課されますので注意してください

* TSS 端末や遠隔地に設置されている端局（一般に高速な入出力機器が設置されています）からバッチジョブを投入する方法。リモートバッチ端局は豊中地区に設置されています。

データベース名は <B(BA)/R(RRM)/N(ニュース)/F(終了)>? B

しばらくお待ちください

NO	RECORDSET NAME	COMMENT	
#01	BA80	1980. VOL. 69 & VOL. 70	: 165000REC
#10	BA89	1989. VOL. 87 ISSU 01-04	: 43909REC

レコードセット番号は? 10

レコードセット番号は? (キャリッジリターンで次に進みます) ☒

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),
データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? S

質問式は? SMOKE

#01 22 RECORDS

質問式は? CIGARETTE

#02 54 RECORDS

質問式は? #1 OR #2

#03 66 RECORDS

質問式は? #1 AND #2

#04 10 RECORDS

質問式は? @D

表示形式は Biosis形式(B), 阪大形式(H), Data710形式(D), End, Finish

<B/H/D/E/F>? HC

質問式回答番号は? ☒

表示開始位置は? ☒

表示件数は? 1

CC-number と BC-number を表示しますか <Y(はい)/N(いいえ)>? N

PRINT NO. 1 (1/ 10)

Biosis_NO.87000185 CODEN= JACIB LANGUAGE / EN

TITL : CIGARETTE SMOKE-SENSITIVE ASTHMA CHALLENGE STUDIES

}

ERUM IMMUNOGLOBULIN E ANTIBODY

表示形式は Biosis形式(B), 阪大形式(H), Data710形式(D), End, Finish

<B/H/D/E/F>? E

質問式は? @P

プリント形式は? Biosis形式(B), 阪大形式(H), Data710形式(D), End, Finish

<B/H/D/E/F>? HC

出力結果を連絡所へ郵送しますか <Y(はい)/N(いいえ)>? N

質問式回答番号は? ☒

出力開始位置は? ☒

出力件数は? ☒

CC-number と BC-numberを出力しますか <Y(はい)/N(いいえ)>? N

S N U M B 番号# Q977T ← 発生されたバッチジョブ受け付け番号

質問式は? ☒

キーワード通覧(B), 検索(S), 表示(D), 印刷(P), オプション(O),

データベース切替(E), 終了(F)

<B/S/D/P/O/E/F>? F

BIOSIS データベース終了

CPU 使用時間

TSS 接続時間

SYSTEM ?BYE

**USED RESOURCE.....CPU=2SEC CON=6.8MIN T-ID=05

**COST: Y19 ← 会話に要した負担金額

\$ N1041 11:57:30 DIS - CP DACPRG

この会話で CPU 時間は 2 秒、接続時間は 7 分、PRINT コマンドを使用していますので 1 件のバッチジョブが発生しています。TSS の接続時間はまったく同じ検索をした場合でも計算機の混み具合により変わります。

$$\left. \begin{array}{l} \text{TSS 負担額} = 2 \text{ 秒} \times 6 \text{ 円} + 7 \text{ 分} \times 1 \text{ 円} \\ \text{バッチ負担額} = 10 \text{ 円} + 1 \text{ 秒} \times 6 \text{ 円} \\ \text{出力負担額} = 6 \text{ 枚} \times 4 \text{ 円} \end{array} \right\} \text{ 合計 } 59 \text{ 円}$$

TSS 負担額は 'BYE' コマンドで端末を TSS と切り離したときに、バッチ負担額はバッチジョブが終了したときに、出力負担額は結果がプリンタに出力（印刷）されたときにそれぞれ課金されます。また、ファイルを作成保存されている場合のファイル使用負担額については毎日、占有量に応じて課金されます。円未満の端数がでた場合は、円に切り上げられます。各区分共通負担額は翌月の月初めの負担金計算時に課金されます。

8.4 利用負担額の表示と問い合わせ

利用負担額については、TSS では接続時と切断時に、バッチジョブではプリンタに出力したときに用紙の最後に表示されます。

TSS 端末からは 'SRDISP' コマンドにより使用見込み額（予算額）と使用額を表示させることができます。

【SRDISP使用例】

*SRDISP

RIYOUSHA BANGOU -A61234-		現在使用している利用者番号
MAX LLINKS 12,000		作成できるファイルの合計の最大サイズ
USED LLINKS 781		現在作成しているファイルの合計のサイズ
		1 LLINK=1280文字
ENTER SIHARAI CODE (CR=ALL)?		全ての支払コードについて表示させる
SIHARAI CODE <A> FILE		ファイル課金先の支払コードにFILEが表示される
RESOURCE MAX ¥ 10,000		支払コード A の使用見込み額
RESOURCE USE ¥ 8,445		支払コード A の使用額

8.5 予算額チェックの方法

予算額と使用額のチェックは TSS 端末接続時ならびにバッチジョブ投入時に行われます。予算額から使用額を引いた利用可能額が 1 円でもあれば TSS と接続することも、バッチジョブを投入することも可能です。利用可能額が 1 円の状態で何件ものバッチジョブが投入された場合、1 件のバッチジョブが終了した時点で利用可能額はゼロとなり、新たに TSS と接続したり、バッチジョブを投入したりすることはできなくなります。ただし、すでに投入されているバッチジョブについてはすべて処理されます。処理された分すべての負担金を支払わなければなりませんので、御注意ください。

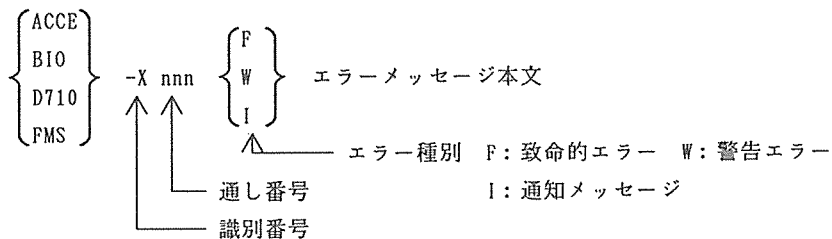
8.6 ネットワーク経由での負担金

ネットワークを経由して BIOSIS を使用した場合、阪大センターの利用負担金以外に各センターの計算機の中を通過しますので、それぞれ通ってきたセンターでの利用負担金等も必要になります。各センターの負担金については当該センターにお問い合わせください。

第9章 エラーメッセージ (検索中)

9.1 エラーの調べ方

BIOSIS データベース使用中なんらかのエラーが発生した場合、次の形式でエラーメッセージが表示されます。



エラーの原因を調べるには、x nnn の部分に着目します。X がなく数字のみのメッセージもあります。先頭1文字のアルファベット順の番号順に並んでいます。

9.2 エラーメッセージ

0 5 3 空ファイルの R E A D 割当はできません。(XXXXXXX)

Read access denied -null file.(XXXXXXX)

ファイルを割り当てようとしたが、空のため割当ができませんでした。

4 1 8 ファイル XXXXXXXX はありません。

File XXXXXXXX is not existent.

指定されたファイルが存在しません。ファイルの名前をチェックしてください。

5 0 1 ファイル XXXXXXXX をリリースしました。

File XXXXXXXX was reliesed.

指定されたファイルが削除されました。復活することはできません。

A 2 1 1 レコードセット名が正しくない。

Recordset name is unknown.

指定されたレコードセット名が登録されていません。正しいレコードセット名または番号を指定します。わからない場合は ;LIST コマンドを入力します。

A 2 2 6 レコードセット名または番号が重複している。

Rcordoset-name is duplicated.

同じレコードセットが二重に指定されました。他のレコードセット名を指定するか、レ

コードセット名の入力を終了させます。

A 2 2 7 一括入力形式が正しくない。

Invalid collective input format.

レコードセット名の一括入力形式がまちがっています。入力形式をチェックし、正しい形で入力してください。

B 1 0 1 コマンド名が正しくない。

Command name is unknown.

指定されたコマンドは存在しません。正しいコマンド名を入力してください。

B 1 0 4 これ以上 S E A R C H コマンドは使えない。

Search command resources are exhausted.

検索処理がすでに 99 回実行されています。一旦検索処理を終了させ、データベースを切り換えてください。(ただし、それまでの検索結果は消去されます。)

B 2 0 1 質問の形式が正しくない。

Form of inquiry is illegal.

質問式の形式が規則にあっていないか、質問式をファイルから入力しようとしたが指定されたファイルがありません。質問式をチェックして正しい形で入力してください。

B 2 0 2 質問式番号が正しくない。

Inquiry number is illegal.

指定された質問式に含まれている回答番号の形式がまちがっています(#NN 形式)。回答番号の指定形式および番号をチェックし、正しい値を指定してください。

B 2 0 3 該当する質問式番号が見つからない。

Inquiry number is unknown.

質問式に使用された回答番号は、まだ作成されていません。すでに検索済みの回答番号を指定してください。

B 2 0 4 項目名が見つからない。

Item name is unknown.

質問式に指定された項目名がまちがっています。正しい項目名を指定してください。項目名 BN, CD, TI, AU, OG, VL, IS, PG, YR, LG, S1, S2, AW, CC, BC

B 2 0 7 2 番目の比較値は 1 番目のものより大きくなければならない。

2nd comparing value must be greater than 1st one.

質問式に W L, O L 比較記号が指定された場合の組は、必ず 2 番目の比較値の方が大きな値でなければなりません。比較値の大小関係をチェックし、再実行してください。

B 2 0 8 一致方法が正しくない。

Hitting method is illegal.

質問式中の比較値に部分一致検索を表わす '\$' 記号が付与されていますが、指定されている場所がまちがっています。部分一致記号は比較値の最後にのみ指定します。

B 2 1 3 該当する語番号が見つからない。

Keyword number is not found.

語番号がまちがっているか、BROWSE コマンドが実行されていません。正しい語番号を指定してください。

B 2 1 6 質問式が長すぎる。

Inquiry is too long.

質問式全体の長さが 200 バイト以上です。200 バイト以内で質問式を指定してください。

B 2 1 7 論理演算子 NOT の使用法が誤っている。

Usage of operator "NOT" is invalid.

NOT 論理演算子の作用範囲を示す括弧が指定されていません。作用範囲を示す括弧を正しく指定した後、再実行してください。

B 2 1 8 質問式解析テーブルがオーバーフローした。

Inquiry analyze table is overflowed.

質問式の解析処理用の領域が足りなくなりました。質問式を分割して指定するか、比較値のみの検索を中止してください。

B 2 2 4 条件値の個数が大きすぎる。(MAX 9)

Number of value is too large. (MAX 9)

質問式中に指定されている比較値の数が多すぎます。比較値の個数を減らして質問式を入力してください。

B 2 3 6 マスク文字の位置が正しくない。

Position of mask character is illegal.

比較値にマスク文字 ' ? ' が指定されていますが、指定位置が先頭または終わりの位置に指定されています。マスク文字の位置を修正するか、前方比較、後方比較のための部分比較記号 ' \$ ' に置き換えて指定してください。

B 2 6 7 この項目にはすでに条件が設定されている。

This item has already been conditioned.

同一項目に対する質問式がすでに指定されています。別の項目に対する質問式を指定するか、質問式の入力を終了させます。

B 3 1 3 質問式は登録されていない。

Inquiry isn't entered.

履歴通覧機能が選択されたが、検索処理が 1 回も実行されていません。

B 4 0 1 該当する質問式は見つからない。

Inquiry number is unknown.

指定された回答番号の形式が正しくないか、あるいは指定された回答番号は、まだ SEARCH コマンドで作成されていません。省略すれば最新の番号が指定されたものとみなれます。中止する場合は ' E ' を入力します。

B 4 0 2 表示開始番号の指定に誤りがある。

Display starting point is invalid.

指定された表示開始番号の形式が正しくないか、検索されている件数よりも大きな値が指定された。正しい開始番号を指定してください。先頭から表示する場合は省略できます。中止する場合は ' E ' を入力します。

B 4 0 3 表示件数が正しくない。

Number of records to be displayed is invalid.

指定された表示件数の値の形式が正しくないか、検索されている件数よりも開始位置と

表示件数の合計値が大きい。正しい表示件数を指定するか、すべてを表示するように省略応答してください。中止する場合は‘E’を入力します。

B 4 0 5 表示形式が正しくない。

Display form is invalid.

表示形式の指定がまちがっています。正しい応答を返してください。

B 4 0 9 この項目はすでに選択されている。

This item already selected.

DATA710 形式で表示時、項目選択の促進に対して、すでに指定されている項目が再び指定されました。他の項目を指定するか、項目選択を終了させてください。

B 5 7 7 出力開始番号が正しくない。

Invalid output starting point.

指定された値の形式が正しくないか、指定された値が検索されている値よりも大きな値が指定されています。正しい出力開始番号を指定するか、あるいは最初から出力するのであれば省略応答します。中止する場合は‘E’を入力します。

B 5 7 8 出力件数が正しくない。

Invalid output count.

指定された値の形式が正しくないか、開始位置と指定された合計の値が検索されている件数よりも大きい。正しい件数を指定するか、すべてを出力するために省略応答してください。中止する場合は‘E’を入力します。

B 6 0 4 質問式番号が正しくない。

Inquiry number is not correct.

指定された値の形式が正しくないか、指定された回答番号はまだ作成されていません。正しい回答番号を入力してください。あるいは最新の番号を選択するため省略応答します。中止する場合は‘E’を入力します。

B 8 5 7 出力形式が正しくない。

Form of printing is invalid.

指定された値が正しくない。正しい値を入力してください。

B 8 6 2 項目名が見つからない。

Item name is unknown.

項目名がまちがっています。正しい項目名を指定してください。

B 8 9 0 一度も項目名が指定されていません。

Input item name at least once.

項目名の選択で一度も項目名が選択されていません。

B 9 6 0 入力されたデータに誤りがあります。

Invalid input data.

正しいデータを入力してください。

H 1 0 0 ファイル名も同時に指定してください。

Enter file name after < or /.

ファイルを使用するときはファイルの名前も同時に指定してください。

H 1 0 2 ファイルが作成できません。

File can not creat.

ファイルが作成できませんでした。ファイル名に誤りがあるか容量が無いかのどちらかだと思われます。システム管理掛まで御連絡ください。

H 1 0 5 ファイルが割当てできません。

File access error.

ファイルから読み込みあるいは書き込もうとしましたが、正常に実行できませんでした。ファイル名に誤りがあるか容量が無いかのどちらかだと思われますがシステム管理掛まで御連絡ください。

H 1 1 0 ファイルが見つかりません。

File not found.

指定されたファイルがありません。正しいファイルの名前を指定してください。

H 1 5 0 今までの質問式がファイルに保存できません。

Too many inquiry. Inquiry can not save at file.

入力された質問式の数が多いので、これ以上質問式を入力すると最初からここまでの質問式はファイルに保存することができません。ここで質問式を保存したい場合は 01S サブコマンドを使用してください。

H 2 0 0 一度も検索が行われていません。

Inquiry number is unknown.

一度も質問式が作成されていません。

H 2 1 0 サブコマンド名が正しくない。

Sub command name is unknown.

指定されたサブコマンドがまちがっています。正しいサブコマンド名を指定してください。

H 2 2 0 ファンクション名が正しくない。

Function name is unknown.

正しいファンクション名を指定してください。

H 3 0 0 文字数が数値ではありません。

Line length is not numeric.

文字数は数値でないといけません。

H 3 0 1 文字数が制限値を越えています。

Nuber of line length exceeds limits.

日本語端末では一行 39 文字、英数字端末では一行 132 文字以内で指定してください。

N 1 0 2 1 HH:MM:SS NOT ACCEPT - NO RCV

処理中で、検索システムがデータを受け取る状況（端末から文字列を入力し␣キーを押す）にありません。そのままお待ちください。

Z 1 0 0 DATA-710 システムエラーが発生した。

DATA-710 System error has occurrd.

システム管理掛まで御連絡ください。☎ 06-877-5111 内線 2823

ここに掲載されていない検索時のエラーメッセージについては「ACOS-6/MVX データ応用システムエラーメッセージ説明書」を御覧ください。

問い合わせ先

各種申請受付	共同利用掛 (☎ 06-877-5111 内線 2814, 2815)
端末の操作、端末の設置	業務掛 (☎ " 2810)
BIOSIS データベースの使用法	システム管理掛 (☎ " 2835)

参考文献

この手引を作成するに当たり、次のマニュアル・手引を参考にさせていただきました。

- [1] BIOSIS: BIOSIS SEARCH GUIDE, (1984)
- [2] BIOSIS: BIOSIS CATALOG, (1989)
- [3] 日本電気: データ応用システム検索説明書, FXK78-2, (1988)
- [4] 日本電気: データ応用システムエラーメッセージ説明書, FXK80-2, (1988)
- [5] 東京大学大型計算機センター: 利用の手引 (改訂版), (1987年10月)
- [6] 東京大学大型計算機センター: ネットワーク利用の手引 (第2版), (昭和62年10月)
- [7] 九州大学大型計算機センター: 利用の手引 ネットワーク編, (1988年10月)
- [8] 大阪大学大型計算機センター: ASTER の使い勝手, センターニュース, Vol. 18, No. 2 (1988年)

付録

略語一覧

使用されている略記号を次に示します。(BIOSIS SEARCH GUIDEより引用)

ABBREVIATIONS

ACTH	adrenocorticotropic hormone, adrenocorticotrooin
ADP	adenosine diphosphate
ADPase	adenosine diphosphatase
AMP	adenosine monophosphate
AMPase	adenosine monophosphatase
ASSR	Autonomous Soviet Socialist Republic(following a name)
ATP	adenosine triphosphate
ATPase	adenosine triphosphatase
Bcell	bone marrow-derived(or bursa-derived)cell
BCG	bacille Calmette Guerin
BHC	benzene hexachloride(hexachlorocyclohexane)
CDP	cytidine diphosphate
CMP	cytidine monophosphate
CRT	cathode ray tube
CTP	cytidine triphosphate
D ¹¹	dextro(configuration;preceding a chemical name)
DDD	dichlorodiphenyldichloroethane

DDE	dichlorodiphenyldichloroethylene
DDT	dichlorodiphenyltrichloroethane
DEAEcellulose	diethylaminoethyl cellulose
DFP	diisopropyl fluorophosphate (diisopropylphosphorofluoridate)
DL	racemic(configuration;preceding a chemical name)
DMSO	dimethyl sulfoxide
DNA	deoxyribonucleic acid
DNase	deoxyribonuclease
dopa	dihydroxyphenylalanine
dopamine	dihydroxyphenethylamine
DPN	diphosphopyridine nucleotide
DPNH	reduced diphosphopyridine nucleotide
ED ₅₀	median effective dose
EDTA	ethylenediaminetetraacetic acid
EGTA	ethylene glycol bis(β -aminoethyl ether) <i>N,N,N',N'</i> -tetraacetic acid
ELISA	enzyme-linked immunosorbent assay
EPA	Environmental Protection Agency(USA)
EPR	electron paramagnetic resonance
f.	forma(following a specific epithet)
f. sp.	forma specialis(following a specific epithet)
F ₁ , F ₂	first filial generation, second dilial generation, etc.
FAD	flavin-adenine dinucleotide
FADH ₂	reduced flavin-adenine dinucleotide
FAO	Food and Agriculture Organization
FD 着色剤 C	Food, Drug and Cosmetic(coloring agent)
FDA	Food and Drug Administration(USA)
FMN	flavin mononucleotide
FMNH ₂	reduced flavin mononucleotide
FSH	follicle stimulating hormone
FTC	Federal Trade Commission(USA)
GDP	guanosine diphosphate
GMP	guanosine monophosphate
GTP	guanosine triphosphate
HLA	human histocompatibility antigen
HMO	health maintenance organization
Ia	immune-response associated
IAA	indoleacetic acid
IBA	indolebutyric acid
IDP	inosine diphosphate
IMP	inosine monophosphate

IQ	intelligence quotient
IR	infrared
ITP	inosine triphosphate
IU	international unit
L ⁽¹⁾	levo(configuration;preceding a chemical name)
L dopa ¹⁾	levodopa
LC ₅₀	median lethal concentration
LD ₅₀	median lethal dose
LHRF	luteinizing hormone releasing factor
LHRH	luteinizing hormone releasing hormone
Ln, log _e	natural logarithm
log	logarithm
LSD	lysergic acid diethylamide
m.	morpha(following a specific epithet)
m ¹⁾	meta(position;preceding a chemical name)
MLD	minimum lethal dose
MSH	melanocyte stimulating hormone
n ⁽¹⁾	normal(preseding a chemical name)
NAD	nicotinamide adenine dinucleotide
NADH	reduced nicotinamide adenine dinucleotide
NADP	nicotinamide adenine dinucleotide phosphate
NADPH	reduced nicotinamide adenine dinucleotide phosphate
NASA	National Aeronautics and Space Administration(USA)
NATO	North Atlantic Treaty Organization
Neodymium-YAG	neodymium-yttrium, aluminum, garnet(laser)
NIOSH	National Institute for Occupational Safty and Health(USA)
nm.	nothomorph(following a specific epithet only)
NMN	nicotinamide mononucleotide
NMR	nuclear magnetic resonance
o ¹⁾	ortho(position;preceding a chemical name)
OSHA	occupational Safety and Health Act(USA)
p ¹⁾	para(position;preceding a chemical name)
pH	negative log of hydrogen-ion concentration
pK	negative log of dissociation constant
PMR	proton magnetic resonance
PPL0	pleuropneumonia-like organism
Q ₁₀	increase in rate of a chemical reaction when temperature is increased 10° C
R ¹⁾	rectus(configuration;preceding a chemical name)
RES	reticuloendothelial system

R _r	retardation factor(chromatograph)
RNA	ribonucleic acid
RNase	ribonuclease
R-S	racemic(preceding a chemical name)
S ¹¹	sinister(preceding a chemical name)
SDS	sodium dodecyl sulfate
SFSR	Sovet Federated Socialist Republic(following a name)
sp., spp.	species(following a generic name or numeral)
ssp., sspp.	subspecies(following a specific epithet or numeral)
SSR	Soviet Socialist Republic(following a name)
St.	Saint(name)
SV-40	simian virus40
T cell ¹¹	thymus-derived cell
TDP	ribosylthymine diphosphate/thymidine diphosphate
TEAEcellulose	triethylaminoethyl cellulose
tert	tertiary(preceding a chemical name)
thiotepa	triethylenethiophosphoramide
TMP	ribosylthymine monophosphate/thymidine monophosphate
TPN	triphosphopyridine nucleotide
TPNH	reduced triphosphopyridine nucleotide
TRF	thyrotropin releasing factor
TRH	thyrotropin releasing hormone
TSH	thyroid stimulating hormone
TTP	ribosylthymine triphosphate/thymidine triphosphate
UDP	uridine diphosphate
UK	United Kingdom(of Great Britain and Northern Ireland)
UMP	uridine monophosphate
UNESCO	United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization
USA;US(patents)	United States of America
USCL	United States Classification number(patents)
USP	United States Pharmacopeia
USSR	Union of Soviet Socialist Republics
UTP	uridine triphosphate
UV	ultraviolet
var.	varietas(variety;following a specific epithet)
VDT	video display terminal
WHO ²¹	World Health Organization
XDP	xanthosine diphosphate
XMP	xanthosine monophosphate
XTP	xanthosine triphosphate

2,4-D ³⁾	2,4-dichlorophenoxyacetic acid
2,4,5-t ³⁾	2,4,5-trichlorophenoxyacetic acid

- ¹⁾ 1 文字のデータは不要語と定義されていますのでキーワードとして抽出されていません。
- ²⁾ WHO は不要語と定義されていますのでキーワードとしては抽出されません。
- ³⁾ コンマ (,) 及びピリオド (.) は区切り文字となっていますのでキーワードとしては抽出されていません。

BIOSIS PREVIEWS Commonly used Author Address Abbreviations

(BIOSIS SEARCH GUIDEより)

Geographic Names	Abbr.	Geographic Names	Abbr.
Alabama	Ala.	Nevada	Nev.
Argentina	Argent.	New Brunswick	N. B.
Arizona	Ariz.	Newfoundland	Newfoundl.
Australia	Aust.	New Hampshire	N. H.
Belgium	Belg.	New Jersey	N. J.
British Columbia	B. C.	New Mexico	N. M.
Brazil	Braz.	New York	N. Y.
Bulgaria	Bulg.	New Zealand	N. Z.
California	Calif.	North Carolina	N. C.
Canada	Can.	North Dakota	N. D.
Colombia	Colomb.	Norway	Norw.
Colorado	Colo.	Nova Scotia	N. S.
Connecticut	Conn.	Oklahoma	Okla.
Czechoslovakia	Czech.	Ontario	Ont.
Delaware	Del.	Oregon	Oreg.
Denmark	Den.	Pennsylvania	Pa.
District of Columbia	D. C.	Poland	Pol.
England	Engl.	Portugal	Port.
Finland	Finl.	Puerto Rico	P. r.
Florida	Fla.	Quebec	Que.
France	Fr.	Rhode Island	R. I.
Georgia	Ga.	Rhodesia	Rhod.
Germany, East	E. Ger.	Romania	Rom.
Germany, West	W. Ger.	Saskatchewan	Sask.
Hungary	Hung.	Scotland	Scotl.
Illinois	Ill.	South Africa	S. Afr.
Ireland	Irel.	South Carolina	S. C.

Israel	Isr.	South Dakota	S.d.
Japan	Jpn.	Sweden	Swed.
Kansas	Kans.	Switzerland	Swiz.
Kentucky	Ky.	Tennessee	Tenn.
Korea, North	N. Korea	Texas	Tex.
Korea, South	S. Korea	Turkey	Turk.
Louisiana	La.	Union of Soviet Socialist Republics	USSR
Manitoba	Manit.	United Kingdom	Uk
Maryland	Md.	United Satates of America	USA
Massachusetts	Mass.	Uruguay	Urug.
Mexico	Mex.	Venezuela	Venez.
Michigan	Mich.	Vermont	Vt.
Minnesota	Minn.	Virginia	Va.
Mississippi	Miss.	Washington	Wash.
Missouri	Mo.	Weat Virginia	W. Va.
Montana	Mont.	Wisconsin	Wis.
Nebraska	Nebr.	Wyoming	Wyo.
Netherlands	Neth.	yugoslavia	Yugosl.

アルファベット順索引

```

ALREADY CONNECTED .....186, 187
ADJ .....109, 123, 127, 128
ASTER .....150, 173, 183, 187
BIOSIS ABSTRACTS 印刷冊子体 .....172
BIOS コマンド .....100, 117, 154
BIOSIS 形式 .....113, 136, 138, 140, 141
BROWSE コマンド .....105, 119, 123
CA サブコマンド .....150
CAPI オプション .....118
CODEN .....105, 120, 136, 162
COMMAND UNKNOWN .....100, 187
DATA710 形式 .....137, 138, 140, 141, 158
DF サブコマンド .....152
DISPLAY コマンド .....113, 135, 138, 147
E サブコマンド .....144
FILE オプション .....119
HELP .....105, 153
HI サブコマンド .....145
Hyphenation .....163, 169
IBM .....175
IS サブコマンド .....145
JM サブコマンド .....150
LC サブコマンド .....152, 158
LF サブコマンド .....151, 158

```

LL サブコマンド	149
ME サブコマンド	146
MESS オプション	119
NCU	177
NE サブコマンド	152
NOT ACCEPT	180, 183, 187
NOT KNOWN	186, 187
NOT START	186
NUMBEN	105, 120, 162
OPTION コマンド	143
PA サブコマンド	147
PRINT コマンド	140, 191
PWCHG	181
RDISP	191
SEARCH コマンド	108, 109, 122, 128
SNUMB 番号	140, 141
SO サブコマンド	149, 159
SYSTEM UNKNOWN	100, 187
TERM オプション	118
TSS	99, 105, 150, 176, 180, 184 186, 188, 191
UNACCEPTABLE NOW	186
Word Segmentation	163, 169

五十音索引

【あ】

一次検索122
印刷140, 191
受け付け番号140, 141, 142
エミュレータ150
エラーメッセージ100, 186, 192
応答時間113, 122, 135, 174
送り先141
オブションファイル144, 154
音響カプラ177, 179

【か】

概念コード120, 136, 138, 141, 169
 カタログ143, 152, 158
 カレントレコードセット116, 171, 173
 完全一致123, 129, 130
 巻番号136, 161, 167
 キー検索122, 127, 135, 174
 キー検索用質問式122
 キーワード104, 105, 106, 108, 109, 120
 123, 124, 126, 127, 163, 201
 キーワード抽出163
 起動時オプション118

キャリッジリターン	98	第3水準	170
共通利用番号制	188	端末制御プログラム	150
区切り文字	127, 163	中間一致	129, 130
継続行	124, 160	中心主題	170
言語コード	136, 161, 168	中断処理	98, 187
検索キー	124	著者所属機関	136, 165
検索規則	129	著者名	136, 165
検索コマンド	105, 117	通信回線漢字シフトコード	173
交換回線	176	通覧	105, 119, 125, 145, 174
降順	149, 159	データ検索	122, 127, 130, 135
後方一致	129, 130	データ検索用質問式	128
語番号	106, 109, 120, 123, 125, 157, 174	問い合わせ先	197
コネクト	180	登録番号	185
コマンド	99, 105, 117, 130, 143, 154	特殊文字	108, 121, 124, 165, 167, 170
【さ】		【な】	
サービス時間	180, 186	二次検索	122
雑誌名	136, 166	ネットワーク	176, 180, 184, 186, 192
サブシステム	100, 182	【は】	
参照番号	161, 162	パーマネントファイル	143
質問式回答番号	108, 122, 123, 124 128, 136, 138, 140, 141, 157	パスワード	181
質問式履歴の通覧	145	パソコン端末	118, 150
支払いコード	181	発行年	136, 167
条件記号	128	発行番号	136, 167
条件値	128, 129	バッチジョブ	140, 182, 191
昇順	149, 160	バッチジョブ保存日数	141
抄録番号	136, 149, 159, 161	バッチ処理	188, 189
使用額	182, 189, 191	範囲指定	127
所属センター	182, 188	阪大形式	136, 138, 141, 147
新種	170	汎用機	176
スーパーコンピュータ	176	比較記号	123
生物分類コード	114, 136, 138, 141 161, 170	比較式	122, 123, 124
前方一致	108, 123, 126, 129, 130	比較値	123, 124
専用回線	176, 179, 180	ヒット	108, 127, 130, 157
【た】		表示形式	113, 136, 138
第1水準	170	標題	136, 163, 165, 169
大学間ネットワーク	176, 180, 184	ビルドモード	117
第2水準	170	ファイル	119, 138, 141, 143, 144, 145 154, 155, 156, 157, 182, 189, 191
第2センター	188	ファイル内容表示	151
		ファイル名表示	152

付加語	136, 169
不要語	109, 127, 163, 164
ブレイク処理	114, 187
プリント形式	140
ページ数	136, 167
ヘルプメッセージ	153
変復調装置	177
ポートセクタ	176, 183
【ま】	
マスク	129
網制御装置	177
【や】	
予算額	182, 191
【ら】	

利用可能額	182, 189, 191
利用者番号	143, 152, 158, 181, 188, 191
利用申請	184, 188
利用負担金	181, 184, 188, 189, 192
隣接文字列	127
レコードセット	102, 117, 171, 174
レベル指示子	170
連絡所	140, 141
ログオフ	184
ログオン	176, 181
論理関係	122, 123, 124, 125, 126, 129, 130
論理演算子	109, 122, 125
【わ】	
ワークステーション	176